



<http://www.wakayama-u.ac.jp/>



2014

outline of
wakayama
univ.

和歌山大学概要

outline of wakayama univ.

生涯 あなたの人生を 応援します。

和歌山大学は「生涯あなたの人生を応援します」というメッセージを発信しています。これは、学生たちが入学までに生きてきたこれまでの十八年間をそのまま受入れ、しっかりと受け止めるという入学前の“生涯”。また在学中の教育・研究支援を通じて学生が的確な進路選択を行うとともに、もしやり直したいと思った時にも大学に戻ってやり直すことを支援していくという卒業後の“生涯”。この二つの“生涯”を含めた学生の永き人生を支援していける大学となる事を目指し、このメッセージを掲げています。

生涯 あなたの人生を 応援します。

目次

1. 教育・研究目的 大学の教育研究上の目的に関すること	
・和歌山大学の目的及び使命.....	2
2. 教育・研究組織 教育研究上の基本組織に関すること	
・機構図.....	7
・学部・大学院・特別専攻科.....	8
・附属機関.....	13
3. 教職員数・活動体制 教育組織、教員の数等に関すること	
・教職員数.....	22
・役職員一覧.....	24
・役員会等.....	25
・各組織間の連携を図る体制、委員会等.....	26
4. 学生の実入・進路状況 入学者に関する実入方針及び入学者の数、取消化員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数、並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること	
・アドミッションポリシー、選抜状況、入学者数....	27
・学生数.....	29
・卒業生・修了者数.....	32
・進路状況.....	33
5. 授業科目・計画 科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること	
・各学部のカリキュラム.....	36
6. 卒業・修了評価基準 学修の成果にかかる評価及び卒業または修了の認定に当たったの基準に関すること	
・各学部・大学院の単位認定・成績評価基準.....	48
・各学部の卒業要件・判定基準、大学院の修了要件・認定基準.....	49
7. キャンパス・教育研究施設 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること	
・キャンパスマップ.....	50
・学生支援施設、体育施設.....	52
・課外活動施設、休息のとれる施設など.....	53
・土地・建物 一覧.....	54
8. 授業料・入学金 授業料、入学金、その他の大学が徴収する費用に関すること	
・検定料・入学金・授業料.....	56
・学生寮、下宿等の費用.....	56
9. 学生の修学及び生活支援 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること	
・授業料免除、奨学金等.....	56
・各種支援窓口.....	57
10. 各種資料	58

平成26年度 学年暦

平成26年	12月23日(火) 休日(天皇誕生日)
4月 1日(火) 第1学期開始	25日(木) 代替授業日:月曜日授業実施
5日(土) 入学式	27日(土) 冬季休業開始
7日(月) ガイダンス	
8日(火) //	平成27年
9日(水) 第1学期授業開始	1月 1日(木) 休日(元旦)
16日(水) 第1学期履修登録締切	5日(月) 冬季休業終了
29日(火) 休日(昭和の日)	8日(木) 代替授業日:月曜日授業実施
5月 3日(土) 休日(憲法記念日)	12日(月) 休日(成人の日)
4日(日) 休日(みどりの日)	16日(金) 授業休止5・6限(センター試験準備)
5日(月) 休日(こどもの日)	17日(土) 大学入試センター試験実施
6日(火) 休日(振替休日)	※(関係者以外入構禁止)
6月 1日(日) 創立記念日	18日(日) 大学入試センター試験実施
25日(水) 授業休止日(学生大会)	※(関係者以外入構禁止)
7月 18日(金) 第1学期試験時間割発表	20日(火) 第2学期試験時間割発表
21日(月) 休日(海の日)	28日(水) 代替授業日:月曜日授業実施
24日(木) 代替授業日:月曜日授業実施	30日(金) 予備日(1/16代替授業5・6限)
25日(金) 代替授業日:火曜日授業実施	2月 2日(月) 予備日
30日(水) 予備日	3日(火) 第2学期補講・試験期間開始
31日(木) 予備日	9日(月) 第2学期補講・試験期間終了
8月 1日(金) 第1学期補講・試験期間開始	10日(火) 予備日
7日(木) 第1学期補講・試験期間終了	11日(水) 休日(建国記念の日)
8日(金) 予備日	25日(水) 前期日程入学試験実施
10日(日) 夏季休業開始	※(関係者以外入構禁止)
11日(月) 夏季一斉休業開始	※(関係者以外入構禁止)
15日(金) 夏季一斉休業終了	16日(月) 春季休業開始
9月 15日(月) 休日(敬老の日)	21日(土) 休日(春分の日)
18日(木) 夏季休業終了	25日(水) 学位記・修了証書授与式
23日(火) 休日(秋分の日)	31日(火) 第2学期終了
30日(火) 第1学期終了	春季休業終了
10月 1日(水) 第2学期開始	
第2学期授業開始	
8日(水) 第2学期履修登録締切	
13日(月) 休日(体育の日)	
11月 3日(月) 休日(文化の日)	
21日(金) 授業休止日(大学祭準備)	
22日(土) 大学祭	
23日(日) 休日(勤労感謝の日)	
大学祭	
24日(月) 休日(振替休日)(大学祭後片付)	
26日(水) 代替授業日:月曜日授業実施	



山本 健慈

Kenji Yamamoto

1948年、山口県生まれ。京大教育卒、同院博士課程単位取得退学。専攻は社会教育・生涯学習論、子育て支援システム論。2009年から学長。文部科学省中央教育審議会臨時委員（生涯学習分科会）

和歌山大学は、 学生(卒業生を含む)の人生を応援し、 地域を支える大学を目指しています

和歌山大学は、1949年（昭和24年）5月、和歌山師範学校（男子部・女子部）、和歌山青年師範学校及び和歌山経済専門学校を包括し、学芸学部（現・教育学部）・経済学部の2学部をもって発足しました。1995年（平成7年）10月にシステム工学部を開設、2004年には法人化により国立大学法人和歌山大学となり、その後2008年（平成20年）4月には、経済学部観光学科を母体に観光学部を設置し、現在は、4学部4大学院研究科（システム工学研究科及び観光学研究科は博士課程）からなる中規模総合大学となっています。

また、2014年4月には観光学研究科に博士課程を開設し、学士課程から大学院博士課程までの観光学教育によって、深く多様な学識と鋭い現実分析の方法をもつ観光立国日本を担う人材を養成する唯一の国立大学となりました。

法人化後10年が経過し、現在は第2期（2010年～2015年）中期目標・中期計画に基づいて運営しています。

第2期中期目標の〈基本的な目標〉は以下のとおりです。

和歌山大学は、高野・熊野世界文化遺産など豊かな歴史と環境に育まれた和歌山県唯一の国立総合大学として「地域を支え、地域に支えられる大学」であるとともに、持続可能な社会の実現に寄与することを宣言します。

その実現のため、3つの基本目標を掲げます。

- ① 和歌山大学は、現代の学生の、青年期に至る人間形成上の諸課題を深く認識し、教養教育、専門教育によって「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与できる人間を育てます。
- ② 和歌山大学は、紀伊半島を含む黒潮文化圏という歴史、自然、経済、文化を活かした研究活動によって創造された知見を活かし、地域から日本と世界の発展に寄与します。
- ③ 和歌山大学は、教員の多様な問題関心に基づく諸活動を尊重し、職員の主体的な職務遂行を支え、学生が高度な理論と実践力を修得するとともに「学生満足」が充足される大学生活を送ることができるよう支援を強化します。

また、教員・職員・学生相互の信頼関係のもとでの協働と参画を通じて、「自主・自律・共生の気風にあふれる大学」であることを目指します。

2013年（平成25年）5月には、第2期中期目標・中期計画の後半の諸課題を凝縮し、2015年3月までの達成を目指す8つの重点課題（23項目）を『和歌山大学8つの行動宣言2013～2015』*として公表し、さらなる発展を期しています。

また、2014年4月には『教育活動宣言』**を公表し、教職員が学生をどのように受け止め、学生の学びや人間としての成長のためにどのように教育・支援しているかという姿勢を表明しています。

本冊子が、皆様に和歌山大学をご理解していただく手がかりになれば幸いです。なお最新情報につきましては、和歌山大学ホームページ（<http://www.wakayama-u.ac.jp>）をご覧ください。

* P3～P4 参照 ** P6 参照

1 教育・研究目的

大学の教育研究上の目的に関すること

■和歌山大学の目的及び使命

国立大学法人和歌山大学が設置する和歌山大学は、学術文化の中心として広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究、教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、社会に寄与する有為な人材を育成することを使命とする。(和歌山大学学則第1章第1条)

■大学の基本的な目標（中期目標前文）

和歌山大学は、高野・熊野世界文化遺産など豊かな歴史と環境に育まれた和歌山県唯一の国立総合大学として「地域を支え、地域に支えられる大学」であるとともに、持続可能な社会の実現に寄与することを宣言する。

その実現のため、3つの基本目標を掲げる。

1. 和歌山大学は、現代の学生の、青年期に至る人間形成上の諸課題を深く認識し、教養教育、専門教育によって「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与できる人間を育てる。
2. 和歌山大学は、紀伊半島を含む黒潮文化圏という歴史、自然、経済、文化を活かした研究活動によって創造された知見を活かし、地域から日本と世界の発展に寄与する。
3. 和歌山大学は、教員の多様な問題関心に基づく諸活動を尊重し、職員の主体的な職務遂行を支援、学生が高度な理論と実践力を修得するとともに「学生満足」が充足される大学生活を送ることができるよう支援を強化する。また、教員・職員・学生相互の信頼関係のもとでの協働と参画を通じて、「自主・自律・共生の気風にあふれる大学」であることを目指す。



■和歌山大学 2013～2015 行動宣言

国立大学法人和歌山大学は、この間第2期(2010年4月～2016年3月)の中期目標・中期計画に基づいて教育、研究、大学経営を展開してきました。

特に2011年1月以来、第2期中期目標・中期計画の重要諸課題を絞り込んだ「2011-2013 行動宣言」は、和歌山大学改革のシンボルとして学内外の大きな共感をえて、予算獲得も含めて多くの成果を上げました。

2013-2015年行動宣言は、前宣言の成果・到達をふまえ、第2期後半期の焦点的課題を明示したものです。和歌山大学は、この8つの課題の実現を強く意識しつつ、全構成員の参画と協働で第2期中期目標・中期計画の諸課題を総合的に実現するべく大学経営を遂行します。

これまでの研究成果の蓄積及び専門教育の深化と連動しつつ、 時代と社会が求める深い教養と、自ら考え、自ら行動し、 他者とともに問題解決に取り組むことのできる実践力をもつ人間を育てます。

- ①各学部・研究科における特色あるカリキュラムの実践とともに、2012年10月には教養教育に責任を持つ組織として「教養の森」センターを設置し、本格的な教養教育改革に着手しました。大学の構成員(教員・職員・学生)間の連携強化を図りつつ、2014年4月からの教養科目の再編成を目指します。
- ②キャリア支援・キャリア教育、国内外のインターンシップなどにおいても、問題解決に取り組むことのできる実践力の養成に努めました。今後は、アクティブラーニングなどの手法を導入するとともに、学部・専門領域を超えた協働型の教育プログラムの開発に取り組みます。
- ③学生の異文化理解力を養うために ASEAN 諸国における体験型学習プログラムの拡充を図るなど、学生が主体的に学び続けることができる環境づくりやそのための教育組織・体制の整備を行います。

教育・研究・地域貢献を三位一体として

『地(知)の拠点形成事業(COC)』に取り組み、学生が大学での学びを通して 地域の課題等の認識を深め、解決に向けて主体的に行動できる学生を 育成するとともに、地域再生・活性化の拠点となる地方国立大学を形成します。

- ①「地域を支え、地域に支えられる大学」として、これまでに取り組んで来た教育・研究・地域貢献に関する知識と経験を生かし、和歌山圏域の抱える人口の減少や高齢化、地域産業の活力の低下などの課題解決のため、個人・学部の枠を越えた全学的取り組みとして『地(知)の拠点形成事業』を展開します。
- ②本事業を和歌山大学の重点事業のひとつとして、これらに取り組む学内組織・教職員及び地域における関係機関、企業、NPO 法人等を積極的に支援します。
- ③本事業における研究及びフィールドワークなどの成果に基づき、新たな学生の教育プログラムを構築します。

和歌山大学の教育・研究拠点の整備を進めるため、図書館の施設・設備・機能を さらに充実させるとともに、教養教育、わかやま学、グローバル教育などの 連携を深め、和歌山に育ち世界に羽ばたく優秀な人材の発信基地とします。

- ①学生が集まる場所、主体的な学習の場所として、図書館を活性化するため、施設の増・改築、設備の充実などを行うとともに、教養科目の「教養の森ゼミナール」を図書館内で開講するなど教養教育との連携を図ることなどにより、図書館機能を強化しています。
- ②今後とも、各学部における専門教育の深化、教養教育改革の拠点として、また紀州経済史文化史研究所を中心とした『わかやま学』の充実、国際教育研究センターを中心としたグローバル教育の進展とも連動しながら、さらなる教育・研究機能の充実に努めます。
- ③これらの図書館機能の強化により、図書館の利用者数は増加傾向にあります。引き続き、全ての利用者の関心に応えられるレファレンスを重視した図書館運営に努めます。

教育及び地域貢献の基礎となり、和歌山大学という高等教育機関の存立の 基盤である研究の充実を図りイノベーションの創出を支援するとともに、 学内及び国内外との共同研究や企業・自治体等との研究上の連携を強化します。

- ①観光学研究の中心拠点の構築と世界レベルの研究への発展、文部科学省が策定する「理工系人材養成戦略(仮称)」に対応した研究の充実や大学院への社会人受け入れの促進など、時機に適したさまざまな課題に積極的に取り組みます。
- ②教育組織と教員(研究)組織を分離し、限られた学内資源を有機的連携のもとに有効活用することにより研究交流及び共同研究を促進するなど、研究環境の改善に努めます。
- ③新たな発想を生みだし、それらが成熟した研究プロジェクトに至るまでの過程において、より円滑に研究活動を発展させることができるよう、引き続き、研究組織及び研究支援システム等のあり方について検討します。

和歌山の地域と世界にとって不可欠な防災・災害時支援及び農・林にかかわる教育・研究の充実など地域創造支援事業に全体的に取り組みます。

- ①和歌山という地域の重要な財産である農業や林業および食、健康、環境にかかわる事業の発展に寄与する研究プロジェクトを推進します。
- ②和歌山はもとより、我が国及び世界にとって優先すべき課題のひとつである防災・災害時支援等に関する教育・研究プロジェクトについて全学的な取り組みを進めるとともに、関係機関等との連携を図り、外部の有識者等による委員会を立ち上げつつ、地域全体で推進する体制を構築します。

『ミッションの再定義』を踏まえて、和歌山大学の強みや特色を活かしつつ、社会のニーズに的確に対応した教育・研究体制及び組織を再編し、そのために必要な教員組織及び事務組織の改革を実行します。また大学経営・運営の本質を見つめ、次代を担う人材を養成します。

- ①『ミッションの再定義』により明確化される和歌山大学の強みや特色を活かし、学長を中心として全学的な教育改革の方針及び実現へのプロセスなどを早急に取りまとめます。
- ②国立大学法人を取り巻く環境が大きく変化している中で、社会の要請に対応可能な教育・研究体制を再編するため、学部、大学院等教育組織、センター等共同教育研究組織、事務系組織等の改革を進め、限られた学内資源を有効活用することを可能にします。これにより、学生・教職員がそれぞれメリットを享受できるよう配慮し、努力します。
- ③大学経営・大学運営の本質を見つめ、困難な時代に積極的に立ち向かうことのできる、次の時代を担う人材を養成します。近い将来に大学法人経営に役員として参画できる職員を生み出すこと、合わせて男女共同参画の実現を目指します。

大学が保有する知的、人的、物的な財産を十二分に活用・広報し、小・中学生、高校生が憧れと入学の希望をもち、地域の人々の声援を受け、地域の誇りとなる大学を目指します。

- ①和歌山大学の貴重な財産ともいえるべき、教育、研究、人、施設、文化財などに関する情報の交流を円滑に行うことができるような定期的な研究交流・情報交流などの場を設けます。
- ②それらの情報を積極的に発信し、地域の皆様に愛される和歌山大学を目指します。また、和歌山の人々に「我がふるさとに和大有り」と思ってもらえるよう、和歌山大学ブランドの形成に努めます。
- ③小・中学生、高校生が和歌山大学に対する関心と憧れをさらに抱いてくれるよう、「おもしろ科学まつり」「公開体験学習会」「出前授業」等への参加、「学習補充教室推進事業」の受託、オープンキャンパスの充実、図書館見学の受け入れなどを積極的に推移します。

大学と同窓会等、同窓会等相互の連携を促し、学年・卒業生の生涯を支援します。

- ①和歌山大学は1949年からはじまる新制大学以前からの歴史の中で、輩出された有為な人材、母校への高い誇りを持つ卒業生、同窓生とともに、真の「就業力」形成に取り組み、学生が人生の自己決定をできるよう支援します。
- ②学部ごとにおかれている同窓会、後援会の支部及びそれぞれにおける世代を越えた交流・連携を促進するため、同窓会連携室を設置して具体的な方策を検討・実施します。
- ③自校の伝統と歴史、文化を掘り起こし、自校史教育を学生の教育プログラムに取り込みます。また、継承された貴重な資料等を整理し、広く公開することにより、自校への愛着や誇りを醸成します。



■和歌山大学の教育目的

和歌山大学は、和歌山、南大阪地域の学術文化の中心として広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究、教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、社会に寄与する有為な人材を育成します。このたび、この目的を達成するための教育における3つの方針を策定しました。

●〈学部・大学院 共通〉●

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 学問への探究心にあふれ、課題解決のため意欲的に取り組むことのできる人
2. 明確な目的意識をもつ人
3. 新しいことに積極的に挑戦する意欲をもつ人

●〈学部〉●

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 教養教育、専門教育によって「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与する能力を備えている。
2. 幅広い知識とコミュニケーションで他者とともに問題解決に取り組む能力を備えている。
3. 獲得した知識や技能を社会に役立てる実践的能力を備えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 豊かな知性と人間性を育み、基本的な学習能力を獲得するため、すべての学生を対象に学生の現状と、時代と社会が求める人間像を踏まえた教養教育を実施する。
2. 専門的知識と実践力を体系的に学ぶために、学部の人材養成に照らした専門教育を実施する。
3. 最先端の研究活動や社会的活動の実施、あるいは教員・学生間のコミュニケーションを通じて、専門的知識を社会に役立てるための教育を実施する。
4. 学んだ知識やスキルを統合し、問題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する少人数教育を実施する。
5. 国際的視野や異文化理解能力、コミュニケーション能力を養う体験型プログラム等の教育を実施する。

●〈大学院〉●

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 各専門分野に通じ、時代と社会が求める高度な専門性と学際性を備えている。
2. 幅広い見識と深い学識を基に、高度な分析能力や応用能力、他者に平易かつ論理的に表現する能力を備えている。
3. 問題解決のために必要な高度の専門知識を自主的に学習し、高い水準で獲得する能力を備えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 各分野に通じ、高度な専門性と学際性を総合的に推進するカリキュラムを実施する。
2. 幅広い見識と深い学識を論理的実践的に自ら追求するため、専門的知識と実践力を体系的に学ぶための専門教育を実施する。
3. 先見性・創造性の伴う思考力と対応力を育成する教育を実施する。
4. 高度な分析能力を身につけ、専門知識、技能を展開して問題解決にあたる能力を培うため少人数による演習形式による授業を実施する。

■教育活動宣言

和歌山大学教職員は、

- ・ 本学に入学者の多様な思いを深く理解します。
- ・ 学生それぞれの個性に応じたキャリアパスをともに考え、教育を推進します。
- ・ 授業改善と学生の自立支援に取り組み、自己研鑽と自己変革を続けます。

実施項目

- ・ 大学生としての自覚を促す導入教育
- ・ 豊かな人間性を育てる教養教育
- ・ 柔軟な社会性と対人関係力を育てる協働教育
- ・ 地域や世界と対話できる能力を磨くグローバル教育
- ・ さまざまな分野を牽引し活躍できる人材を育成する専門教育
- ・ 主体性をもって社会に参画する人間力を身につけるキャリア教育

教育活動宣言の公表にあたって

2014年4月5日

学長 山本健慈

理事 池際博行

本日入学式における学長式辞のなかで、「私たち和歌山大学教職員は、皆さんが、未来を自らの手で創りだすことを応援したいと思います。そして、その姿勢を明らかにするものとして、学生の皆さんに向かい合う教職員の姿勢を宣言する「教育活動宣言」を、本日ここで、教育学生支援担当理事より公表いたします。この宣言にそって、教員は、学生の皆さんの教育研究指導にあたり、職員は、学生の生活にかかわる支援にあたります。

社会は、「大学教育の質保証」という課題に関心を寄せています。この「宣言」は、この課題に対する私たちの基本的な姿勢の表明です。本学の教職員が、どのような姿勢で学生を受け止め、日常的に学生の学びの支援と人間としての成長のために教育支援しているかという「現在の姿勢、努力」を伝え、またそれが個人としてだけでなく、教職員が協力協働する組織として取り組んでいることを伝えるものです。

本学のすべての教職員は、学生の教育および学生支援を、この宣言に基づいて行い、また学生の参加をえて、学生とともに、社会から信頼される「教育の質」を創りだしていききたいと思います。

教育活動宣言

2014年4月5日

和歌山大学教職員は、

- ・ 本学に入学者の多様な思いを深く理解します。
- ・ 学生それぞれの個性に応じたキャリアパスをともに考え、教育を推進します。
- ・ 授業改善と学生の自立支援に取り組み、自己研鑽と自己変革を続けます。univ.

和歌山大学

実施項目

2014年4月5日

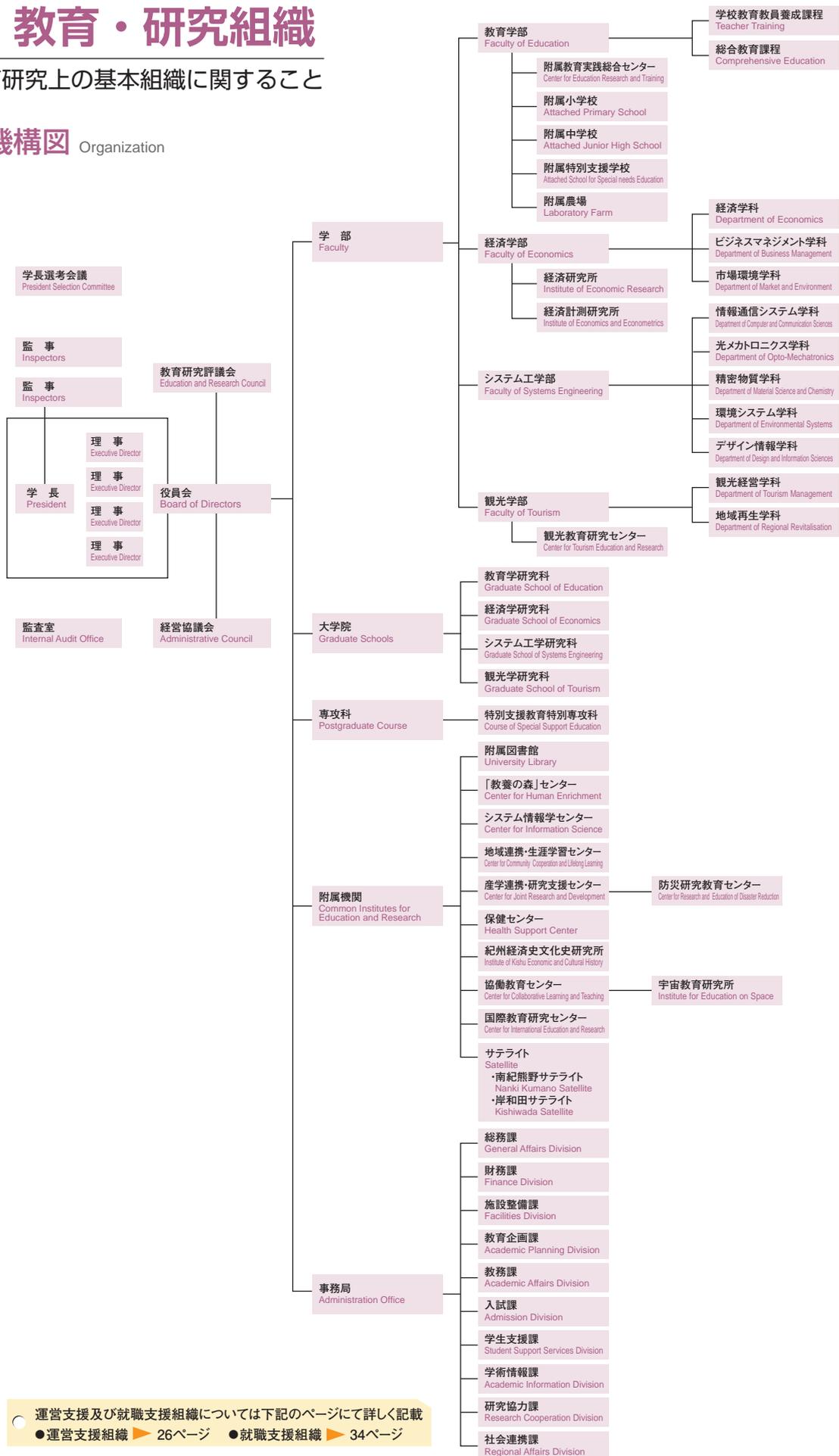
- ・ 大学生としての自覚を促す **導入教育**
- ・ 豊かな人間性を育てる **教養教育**
- ・ 柔軟な社会性と対人関係力を育てる **協働教育**
- ・ 地域や世界と対話できる能力を磨く **グローバル教育**
- ・ さまざまな分野を牽引し活躍できる人材を育成する **専門教育**
- ・ 主体性をもって社会に参画する人間力を身につける **キャリア教育**



2 教育・研究組織

教育研究上の基本組織に関すること

■ 機構図 Organization



● 運営支援及び就職支援組織については下記のページにて詳しく記載
 ● 運営支援組織 ▶ 26ページ ● 就職支援組織 ▶ 34ページ

学部・大学院・特別専攻科 Faculties, Graduate Schools, Postgraduate Course

学部 Faculty

学部	学科	コース・科目
教育学部 Faculty of Education	学校教育教員養成課程 Teacher Training	<ul style="list-style-type: none"> ・教育科学コース Education Science Course ・教科教育コース Subject Teaching Course ・児童教育コース Primary Education Course
	総合教育課程 Comprehensive Education	<ul style="list-style-type: none"> ・文化研究プログラム Program in Cultural Studies ・環境教育プログラム Program in Environmental Education
経済学部 Faculty of Economics	経済学科 Department of Economics	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会理論科目群 Socio-Economics ・政策科学科目群 Economic and Social Policy ・応用社会分析科目群 Applied Socio-Economic Analysis
	ビジネスマネジメント学科 Department of Business Management	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント科目群 Management ・会計科目群 Accounting ・情報科目群 Information Technology
	市場環境学科 Department of Market and Environment	<ul style="list-style-type: none"> ・流通システム科目群 Commercial System ・経済環境科目群 Economic Environment ・法律科目群 Law
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	情報通信システム学科 Department of Computer and Communication Sciences	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理システム Media and Information Systems ・情報通信ネットワーク Information and Communication Network ・知能情報処理 Artificial Intelligence and Knowledge Engineering
	光メカトロニクス学科 Department of Opto-Mechatronics	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械 Micro-Mechanical System ・電子制御 Mechatronics and Control ・光電計測 Optoelectronic Instrumentation
	精密物質学科 Department of Material Science and Chemistry	<ul style="list-style-type: none"> ・先端物質科学 Advanced Materials Science ・応用精密化学 Organic Materials Chemistry
	環境システム学科 Department of Environmental Systems	<ul style="list-style-type: none"> ・環境計画 Environmental Planning ・自然環境システム Ecological Planning and Technology
	デザイン情報学科 Department of Design and Information Sciences	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ支援設計 Computer Aided Design ・メディア情報設計 Media Information Design ・デザイン基礎学 Design Fundamentals
観光学部 Faculty of Tourism	観光経営学科 Department of Tourism Management	<ul style="list-style-type: none"> ・観光マネジメントコース Tourism Management ・観光マーケティングコース Tourism Marketing
	地域再生学科 Department of Regional Revitalisation	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくりコース Tourism & Regional Revitalisation ・観光文化コース Tourism & Culture ・観光コンテンツコース Tourism & Contents

＜学部・課程の教育目的＞

学部は、教育と関わる職業人の養成を目的とし、学校教育教員養成課程では、人間と教育、科学や芸術に関する専門的知識と教育実践力を備えた教育に関わる人材を養成し、総合教育課程では、文化と環境についての幅広い知識を備え、それを活かして社会の様々な教育関連の仕事に携わる、豊かな教養のある人材を養成する。(教育学部規則 第1条の2)

学校教育教員養成課程 Teacher Training ・教育科学コース Education Science Course ・教科教育コース Subject Teaching Course ・児童教育コース Primary Education Course	総合教育課程 Comprehensive Education ・文化研究プログラム Program in Cultural Studies ・環境教育プログラム Program in Environmental Education
--	--

時代が求める教育者を育成。

～実践を重視したカリキュラムで、教育現場に求められる素養を身につけます。～

全国的に優れた教員就職実績を誇る教育学部では、教育現場に求められる専門知識と実践的な素養を備えた教育者の育成に取り組んでいます。附属の小、中、特別支援学校をはじめ、実際の教育現場で学ぶ機会がきわめて豊富で、山間・へき地が多い和歌山ならではの「へき地・複式教育実習」など、特色ある取り組みも盛んです。また、教員免許状取得を卒業要件としない総合教育課程もあり、教育学部では、多様な分野に対応したカリキュラム、各分野の専門家である教員を備えており、さまざまな分野に触れてから自分が専門的に学びたい分野を選べるのも大きな特色です。

＜学部の教育目的＞

学部は、広い視野と専門領域に応じた基礎学力及び経済社会を体系的に理解できる能力をもち、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、的確に判断し創造的・実践的に対応できる人材を育成することを目的とする。(経済学部規則 第1条の2)

経済学科 Department of Economics ・経済社会理論科目群 Socio-Economics ・政策科学科目群 Economic and Social Policy ・応用社会分析科目群 Applied Socio-Economic Analysis	(学科の教育目的) 経済学科は、経済現象とそれを生み出すメカニズムを分析するとともに、経済現象と社会的文化的諸現象との相互の結びつきを分析して、現代社会が抱える多様な諸問題を解明するための研究と教育を行い、幅広い視野に立って判断し行動できる創造的な人材の育成を行う。(経済学部規則 第2条の2)
ビジネスマネジメント学科 Department of Business Management ・マネジメント科目群 Management ・会計科目群 Accounting ・情報科目群 Information Technology	(学科の教育目的) ビジネスマネジメント学科は、多角的な教育により、社会貢献や情報化社会への対応が求められる現代の企業において、時代の変化に応じ、組織原理や経営行動の創造的変革に対応できる人材の養成を目指す。(経済学部規則 第2条の2)
市場環境学科 Department of Market and Environment ・流通システム科目群 Commercial System ・経済環境科目群 Economic Environment ・法律科目群 Law	(学科の教育目的) 市場環境学科は、市場及びそれを取り巻く環境について、流通・経済・法律・情報・文化等の各分野から多角的に考察・研究することを通じ、市場のシステムを把握し、市場の動きを予測できる冷静かつ柔軟な思考力と判断力等の能力を有する人材の育成を目指す。(経済学部規則 第2条の2)

経済で「世界」を読み解く。

～経済学的な視点から社会を分析し、未来を切り開く力を養います。～

経済について理解を深めることは、ビジネスに強くなるだけではなく、社会の全体像への理解を深めることにつながっています。和歌山大学経済学部では、経済学科、ビジネスマネジメント学科、市場環境学科という3つの学科を設け、さまざまな角度から現代社会の課題にアプローチします。社会のあらゆる分野で活用することができる知識とスキル、そして経済学的な考え方を習得することができます。また、近年のグローバル化、高度情報化にいち早く対応し、国際的な視点に立った教育、情報技術を習得する授業などが充実しています。

システム工学部 Faculty of Systems Engineering

<学部の教育目的>

システム工学は、科学技術相互の関係を解き明かし、個々の要素技術を調和・融合することによって、新しい産業や研究分野を開拓し、幅広い工学的な問題を解決する学問である。

システム工学部の教育目的は、複数の領域の知識を身につけ、その知識を自ら活用することで、創造性を発揮し、様々な人とのコミュニケーションを通して、課題の探求と問題解決を行い、自然や人間社会に貢献できる専門的技術者・研究者を養成することにある。(システム工学部規則 第1条の2)

情報通信システム学科 Department of Computer and Communication Sciences ・ 情報処理システム Media and Information Systems ・ 情報通信ネットワーク Information and Communications Network ・ 知能情報処理 Artificial Intelligence and Knowledge Engineering	(学科の教育目的) 情報通信システム学科は、情報通信に関する基礎知識やプログラミング技術、問題発見・解決能力、英語の能力、プレゼンテーション能力、技術者倫理の習得をはじめ、幅広い領域の知識を身につけた人材を育成することを目的とする。(システム工学部規則 第1条の2 第2項)
光メカトロニクス学科 Department of Opto-Mechatronics ・ 精密機械 Micro-Mechanical System ・ 電子制御 Mechatronics and Control ・ 光電計測 Optoelectronic Instrumentation	(学科の教育目的) 光メカトロニクス学科は、最先端機器を構成するために不可欠な要素技術や応用技術を講義や実験を通して教育することで、複合的な応用力・実践力を身につけたエンジニアを育てることを目的とする。(システム工学部規則 第1条の2 第3項)
精密物質学科 Department of Material Science and Chemistry ・ 先端物質科学 Advanced Materials Science ・ 応用精密化学 Organic Materials Chemistry	(学科の教育目的) 精密物質学科は、物質に関する基本的法則から先端的知識までを学ぶとともに研究開発に関する基礎技術と健全な物質観・倫理観を身につけた技術者・研究者を育成することを目的とする。(システム工学部規則 第1条の2 第4項)
環境システム学科 Department of Environmental Systems ・ 環境計画 Environmental Planning ・ 自然環境システム Ecological Planning and Technology	(学科の教育目的) 環境システム学科は、ひと、まち、山林、河川などをフィールドとした実践的な演習を重視したカリキュラムのもとで、確かな基礎力と豊かな応用力のある環境エンジニアを育成することを目的とする。(システム工学部規則 第1条の2 第5項)
デザイン情報学科 Department of Design and Information Sciences ・ コンピュータ支援設計 Computer Aided Design ・ メディア情報設計 Media Information Design ・ デザイン基礎学 Design Fundamentals	(学科の教育目的) デザイン情報学科では、最新の情報科学とヒューマンサイエンスの教育と研究を通じ、情報とデザインの融合による新しい可能性を探求するとともに、豊かな感性と論理的思考能力を備え国内外で活躍できる人材を育てる。(システム工学部規則 第1条の2 第6項)

複合的な研究分野から、未来を切り開くエンジニアへ。

システム工学部では複合的な分野を研究する5つの学科から、既存の枠組みにとられない領域にアプローチします。技術、社会、環境、人間の調和をはかるシステム技術を創造し、現代社会の多様な工学領域で即戦力となるエンジニアを育成します。

観光学部 Faculty of Tourism

<学部の教育目的>

学部は、今日の観光を支えるにふさわしい幅広い教養、日本文化に対する理解と知識、ITスキル、そして高度な外国語運用能力をバランス良く備えた人材の育成を目的とする。(観光学部規則 第1条の2)

観光経営学科 Department of Tourism Management ・ 観光マネジメントコース Tourism Management ・ 観光マーケティングコース Tourism Marketing	(学科の教育目的) 観光経営学科は、観光産業や関連集客交流産業のリーダーとして活躍する人材を育成する。(観光学部規則 第2条の2)
地域再生学科 Department of Regional Revitalisation ・ 観光まちづくりコース Tourism & Regional Revitalisation ・ 観光文化コース Tourism & Culture ・ 観光コンテンツコース Tourism & Contents	(学科の教育目的) 地域再生学科は、観光資源の開発や地域を再生・創造するプランナーとして活躍する人材を育成する。(観光学部規則 第2条の2)

観光のエキスパートを育成。

～和歌山という地の利を活かし、新しい観光学を創造します。～

近年、わが国は「観光」を戦略産業と位置づけ、観光立国に向けて官民一体で取り組んでいます。和歌山県においては、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録で、国際的に注目を集めるなか、「観光立国宣言」を掲げ、「観光」を核とした地域再生に積極的に取り組んでいます。和歌山大学観光学部はこれら恵まれた環境を活かし、全国、そして世界をフィールドに、観光産業・行政の現場と密接に連携した新しい観光学を創造します。また、観光を支えるにふさわしい豊かな教養と専門性を備えたエキスパートを育成します。

○大学院 Graduate Schools

研究科	課程・専攻
教育学研究科 Graduate School of Education	修士課程 Master's Programs ・学校教育専攻 Course Specializing in General School Education ・教科教育専攻 Course Specializing in Individual Subject Education
経済学研究科 Graduate School of Economics	修士課程 Master's Programs ・経済学専攻 Course Specializing in Economics ・経営学専攻 Course Specializing in Business Administration ・市場環境学専攻 Course Specializing in Market and Environment
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	博士前期課程 Master's Programs ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering 博士後期課程 Doctoral Programs ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering
観光学研究科 Graduate School of Tourism	博士前期課程 Master's Programs ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism 博士後期課程 Doctoral Programs ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism

○専攻科 Postgraduate Course

	課程・専攻
特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education	発達障害教育専攻 Developmental Disorders

教育学研究科 Graduate School of Education

教育学研究科 Graduate School of Education 修士課程 Master's Programs ・学校教育専攻 Course Specializing in General School Education ・教科教育専攻 Course Specializing in Individual Subject Education	<研究科の教育目的> 研究科は、学術文化の高度な研究能力及び教育者としての高い実践力・指導力を備えた高度専門職業人の養成を目的とする。(大学院教育学研究科規則 第1条の2)
---	---

高度な専門知識を持つ教育実践者を養成。

特別支援教育を含めた教育全般について研究する学校教育専攻と、各教科の教育力を高める教科教育専攻の2専攻を設け、高度な専門知識と実践的な教育スキルの育成に取り組んでいます。また、人間そのものへの理解を深める教養教育も重視し、不登校やいじめといった現代的な課題に適切に対処できる力を培います。本研究科には、教育者としての人格と技量を高めたいという志を持った現役の教員も学んでいます。

経済学研究科 Graduate School of Economics

経済学研究科 Graduate School of Economics 修士課程 Master's Programs ・経済学専攻 Course Specializing in Economics ・経営学専攻 Course Specializing in Business Administration ・市場環境学専攻 Course Specializing in Market and Environment	<研究科の教育目的> 研究科は、高い専門能力を持ち経済社会において指導的役割を担える人材、優れた分析能力に基づいて戦略的意思決定を担う高度な専門的職業人、及び厳密な学問方法論や幅広い見識を身につけた研究職従事者を育成するとともに、一層のキャリア・アップを目指す社会人または職業人及び将来諸外国との架け橋となるべく期待される留学生を積極的に受け入れ、それらに相応しい専門教育を提供することを目的とする。(大学院経済学研究科規則 第1条の2)
--	--

学識に裏付けられた高い専門能力で指導的役割を担う人材を養成。

経済学専攻・経営学専攻・市場環境学専攻の各専門的分野の研究を深めることと並んで、高度な専門的知識と能力を有する専門職業人を養成・再教育することを目指しています。

システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering

<p>システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering</p> <p>博士前期課程 Master's Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering <p>博士後期課程 Doctoral Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering 	<p><研究科の教育目的> システム工学は、さまざまな工学技術の集積と複合によって成るシステムを対象とする工学である。 したがってその重心は二つある。ひとつは個別要素技術を学び進歩させること、もうひとつはそれらに共通した概念の理解によって、システム全体の連携と調和をはかる方策を学び研究することにある。 しかも原理、理論の追求に終わることなく、応用と実践の方法を求め、それを実際に適用する実学の姿勢を貫く。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2)</p> <p>研究科博士前期課程は、社会からの複数の分野を理解し活用出来る人材の求めに応じるため、従来からの工学のような狭い専門分野を深く追求するだけでなく、広い視野から時代の要請に応え、それらを解決できる新しいタイプの研究者や技術者を養成する。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2 第2項)</p> <p>研究科博士後期課程は、より複雑な要因からなる課題とその周辺状況の全体を把握し、目的・目標を的確に設定して、部分問題への展開及び個別解決の再統合ができるような能力を開発し、システム工学の頂点を究め、社会環境の改善と技術立国の推進に資することを目的とする。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2 第3項)</p>
---	---

先端性の高い、また領域横断の研究を通して、より「人間力」の高いエンジニアを養成。

大学院は普通、学科の上に専攻と呼ぶ固定的な組織を積み上げるものですが、本研究科ではもっとしなやかに教育研究グループを構成できる仕組みになっています。

学部より先端性の高い大学院では、特定の目標に焦点をあわせた研究を推進することも、新たな発想を領域横断で追求することも、同時に求められます。本研究科では既定の枠組みにとらわれることなく、その両方を実現しています。このような教育研究環境のなかで、より「人間力」の高い人材を社会に送り出します。

観光学研究科 Graduate School of Tourism

<p>観光学研究科 Graduate School of Tourism</p> <p>博士前期課程 Master's Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism <p>博士後期課程 Doctoral Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism 	<p><研究科の教育目的> 博士前期課程は、現代における観光が位置付けられている状況を踏まえ、この事態を学際的な観点から科学的に解明する高い専門知識を持ち、応用力、創造力に富み、国際的視野で行動できる人材を育成することを目的とする。(大学院観光学研究科規則第3条第1項)</p> <p>博士後期課程は、わが国における観光学の確立と観光教育研究の世界水準の高度化・国際化を速やかに達成することを通じ、観光に関わる多様な社会的実践に際し、リーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とする。(大学院観光学研究科規則第3条第2項)</p>
--	--

観光に関する高度な専門性と学際性をもつ人材を育成。

観光学の全体像の習得を前提に、観光経営・地域再生・観光文化の3つの領域において、そのいずれかに精通しつつ高度な専門性を獲得でき、かつ全体に目配りした学際的・汎用的な能力を養います。

特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education

<p>特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害教育専攻 Developmental Disorders 	<p><専攻科の教育目的> 特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するため、主として現職教員を対象として特別支援教育に関する専門の事項を教授し、特別支援教育に対する深い理解と優れた資質を備えた指導的人材を養成することを目的とする。(和歌山大学学則 第5章第91条)</p>
--	---

全国的に高く評価されている特別支援教育の専門課程。

特別支援教育の専門家育成は、国の重要課題の一つです。和歌山大学はこうした社会的要請を受け、特別支援教育特別専攻科を設立しました。本専攻科は、主に現職教員を対象に特別支援教育に関する専門的な知識と深い教養、そして教育現場ですぐに活用できる実践的能力の育成に取り組んでいます。特別支援教育特別専攻科では、特別支援教育に関する教育学、臨床学、医学、心理学、福祉学などさまざまな領域で教育・研究活動を展開しています。

■ 附属機関

Common Institutes for Education and Research

○ 全学 ▶ 13ページ

附属図書館 University Library
「教養の森」センター Center for Human Enrichment
システム情報学センター Center for Information Science
産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development ・防災研究教育センター Center for Research and Education of Disaster Reduction
地域連携・生涯学習センター Center for Community Cooperation and Lifelong Learning
保健センター Health Support Center
紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching ・宇宙教育研究所 Institute for Education on Space
国際教育研究センター Center for International Education and Research
サテライト Satellite ・南紀熊野サテライト Nanki Kumano Satellite ・岸和田サテライト Kishiwada Satellite

○ 教育学部 ▶ 20ページ

附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training
附属小学校 Attached Primary School
附属中学校 Attached Junior High School
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education
附属農場 Laboratory Farm

○ 経済学部 ▶ 21ページ

経済研究所 Institute of Economic Research
経済計測研究所 Institute of Economics and Econometrics

○ 観光学部 ▶ 21ページ

観光教育研究センター Center for Tourism Education and Research

就職支援組織については
34ページにて詳しく記載

全学附属機関

附属図書館 University Library

教育・研究に有用な資料の収集を行い、利用者に提供しています。また、近年増加する電子資料等の有効活用を図るためPCや視聴覚機器を充実させています。また学習を支援するための環境（ラーニング・commons、マルチルーム、メディアルーム、グループ学習室）や、必要な文献・資料探しのサポートを行うレファレンスコーナー、多様な学習の相談、情報を受けるクロスカル情報室を設置しています。さらに、一般市民の利用、館外カウンター、地域コンソーシアム図書館等、地域に根差した図書館の役割も担っています。

○ 図書冊数 Books (視聴覚資料除く)

区分 Classification	冊数 Holding
和漢書 Japanese and Chinese	534,031
洋書 Foreign	205,362
計 Total	739,393

○ 電子ブック数 E-Books

区分 Classification	冊数 Holding
和書 Japanese	40
洋書 Foreign	9,282
計 Total	9,322

○ 雑誌タイトル数 Journals

区分 Classification	タイトル数 Holding
和雑誌 Japanese	4,812 (1,372)
洋雑誌 Foreign	2,273 (153)
計 Total	7,085 (1,525)

() 内は現在の受入タイトル数で内数
The number in brackets is the number of current journal's titles

○ 電子ジャーナルタイトル数 E-Journals

区分 Classification	タイトル数 Holding
和雑誌 Japanese	90
洋雑誌 Foreign	2,557
計 Total	2,647



○ 視聴覚タイトル数 Multimedia

区分 Classification	本数 Holding
CD (Music)	1,232
DVD・BD (Movie)	2,516
Video tape (Movie)	2,367
計 Total	6,115

数字はすべて平成26年4月1日現在

○ 年度別利用状況 The Use Situation by Year

区分 Classification	平成21年度 2009	平成22年度 2010	平成23年度 2011	平成24年度 2012	平成25年度 2013
入館者数 Visitors	201,996	237,601	189,979	228,705	266,151
貸出冊数 Loan Volumes (うち学生) (Students) 【うち一般市民等】 [General Citizen etc]	24,471 (20,852) [514]	24,166 (20,713) [475]	25,834 (22,700) [1,114]	28,548 (24,316) [1,133]	24,056 (20,186) [1,231]

「教養の森」センター Center for Human Enrichment

全学で共通に実施する教養教育の充実および教養教育と専門教育の有機的連携を図り、本学の教育目標を達成するため、教養教育に係る企画、運営等を行い、本学の教育の質的充実に質することを目的として、平成24年10月に設置されました。



■主要業務

- ・教養科目の授業実施に係る企画・運営に関すること
- ・教養教育の改革・改善、調査研究に関すること
- ・その他センターの目的を達成するために必要な業務に関すること

システム情報学センター Center for Information Science

「情報専門教育、情報一般教育、計算機利用環境の提供、研究支援等に資する」ことを目的として、平成9年4月に発足した学内共同教育研究施設です。

現在は、全学の情報戦略や実施に関する事項も取り扱っています。



■主要業務

- ・情報専門教育並びにそれに必要な計算機利用環境の提供
- ・情報一般教育及び人材育成並びにそれに必要な計算機利用環境の提供
- ・計算機システムやネットワークシステムの利用支援及び研究支援及び保守管理
- ・計算機システムやネットワークに関する研究開発
- ・全学のデータベース設計、構築支援
- ・情報戦略の企画立案及び実施
- ・情報セキュリティの整備及び維持管理並びに情報セキュリティ関係の教育の実施に係る支援

地域連携・生涯学習センター Center for Community Cooperation and Lifelong Learning



地域連携・生涯学習センターは、平成10年4月に発足した学内共同教育研究施設です。「地域連携・社会貢献」を教育・研究に並ぶ大学の第3の柱と位置づけ、次の5つの特徴により、多彩な事業を展開しています。

- (1) 市街地に存在する「まちの中の大学」
- (2) 学内外の人的ネットワークを駆使して学習事業化
- (3) 地域課題に取り組む住民参加型セミナーの実施
- (4) 地域・市民の意欲と大学の人材・資源の融合化
- (5) 兼務教員・客員教員・事務スタッフが支える多彩な事業展開

産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development

先端的・独創的研究の推進をめざし、重点領域を定めて、研究拠点の育成を図ります。研究面における産学官連携活動を通じて、研究成果を広く社会に還元する事を目的とします。



■主要業務

- (1) 本学における研究戦略の企画・推進
- (2) 外部の機関との共同研究及び受託研究の促進、本学の研究成果等に基づいた実用化研究及び起業の推進及び支援その他産学官学連携活動
- (3) 新たな「知」の創出やイノベーションに繋がる研究開発の推進及び支援
- (4) 学生の独創的な研究開発の推進
- (5) 知的財産の創出、取得、管理及び活用
- (6) 技術移転の推進 等



●防災研究教育センター

Center for Research and Education of Disaster Reduction

地域の防災研究教育拠点として平成 22 年 4 月に設置されました。東南海・南海地震などの大災害に備え、災害に強いまちづくり、防災によるまちづくり、地域の活性化を目指し、県内外の自治体・学校・関係機関などと連携をしながら、地域防災力の向上を図っています。平成 26 年 1 月に学外の有識者の方に提言をいただき、地域に貢献する研究を進め、学校教育・市民教育現場での講座開催等を行い、大学の使命である教育・研究及び社会貢献を推進しています。

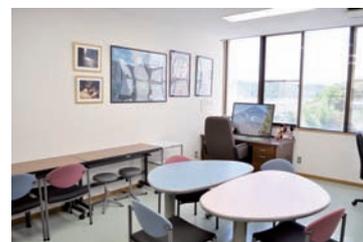
保健センター Health Support Center

保健センターは、心身の健康管理を専門的・統一的に行うことにより疾病の発症を予知・予防し、学生や教職員が無事学業、あるいは職務を遂行するための支援を主な目的とする施設です。

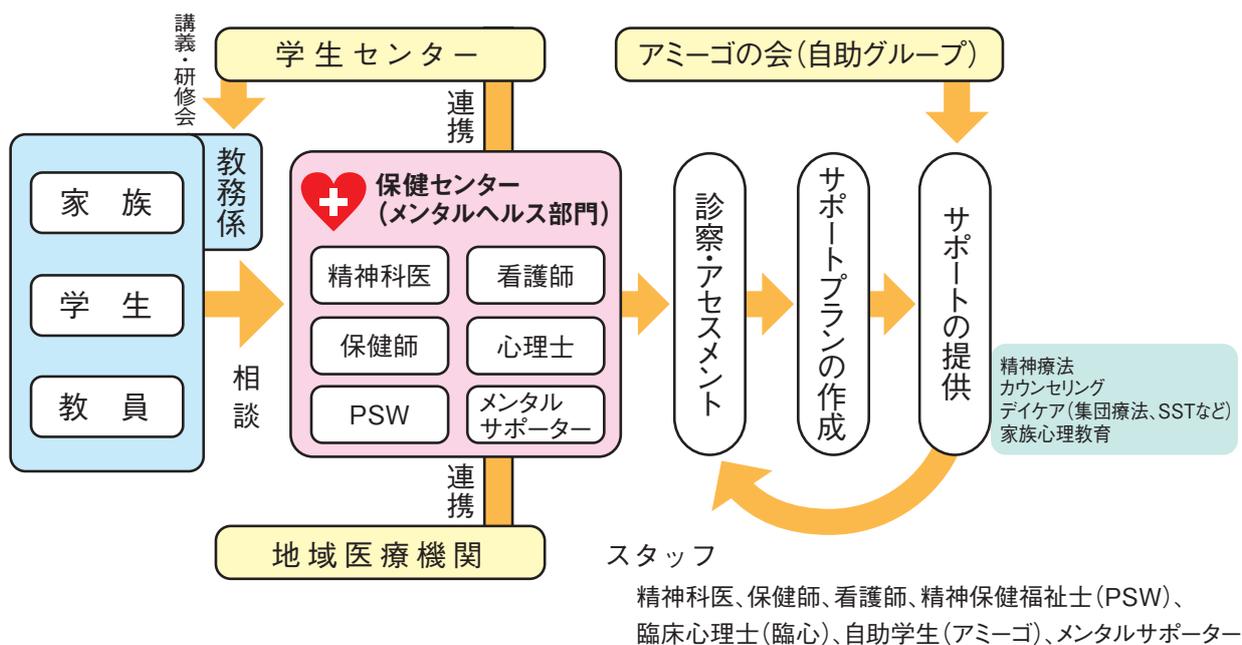
特に、近年全入学時代を迎えこころの病による障害をかかえる学生は増加しています。また、ひきこもり状態など学業への不適応をきたし、修学に困難をきたす学生の数も年々増加傾向にあります。これらが原因となり、休学・留年、そして、卒業後も未就労である学生は全国的に増加しつつあります。

保健センターでは、4 年間一貫した学生のメンタルサポート体制を充実させ、こころと身体のバリアフリーのキャンパスを目指して以下のような取り組みを実施しています。

1. こころの病をかかえた学生の入学から就労までを支援する大学でのキャンパス・デイケアの実施。
2. ひきこもりなど、学業への不適応の原因と考えられる人間関係を含めたキャンパス・スキル向上を図ることを目的とした集団療法の実施や自助グループ（アミーゴの会）の育成。
3. ひきこもりやこころの病を克服した卒業生をメンタルサポーターとして雇用し、後輩の相談やサポートにあたっている。



♥ 和歌山大学メンタルサポートシステム



紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History

紀州経済史文化史研究所は、「紀州地域の経済、文化の史的研究及び自然に関する基礎的研究並びにそれらに関する資料の収集及び公開を行い「知」の提供を通じて地域社会の発展に寄与すること」を目的とした施設です。昭和26年に設立され、現在は図書館棟3階にあります。伝統もあり、全国的にも著名な施設です。

平成19年には、博物館相当施設となり、常設展や特別展なども開催しています。

主な事業は、紀州地域の史的研究や資料収集、フィールドミュージアムを基盤にすえた地域との共同研究、史料保存及び展示の開催、史料等の閲覧サービス、研究紀要の刊行、公開研究会の開催などで、地域史研究などの核となる活動をしています。



協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching

協働教育センターは、若者の自主的・創造的科学的活動を促進するために、建物、設備、指導者、資金などの面で支援を行う日本で初めてのセンターです。

自主演習や公開体験学習会・おもしろ科学まつりなどのユニークな活動が評価され、平成15年度の文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」、平成19年度の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の指定を続けて受けました。

総合研究棟1階にあるセンターでは、本格的な金属加工・電気工作が可能なものづくり室・機械加工室に加えて、映像制作、ポスター制作、製本などができるところづくり室を用意して全学の学生の自主活動のために設備を公開しています。

これらの設備を活用したクリエプロジェクトも多数行われており、全国レベルの大会で優秀な成績を残すなど活躍しています。



●宇宙教育研究所

Institute for Education on Space

『まかせられる人材育成』をテーマに、宇宙を利用した様々な教育プログラムの開発・実践を行っています。学生が自主・自律的に、宇宙のようなフロンティアへの夢と希望に向かいチームを作りマネジメントを行い、自分達の手で成果を作り出せる人材育成が目的です。当研究所で開発された教育プログラムは学内の全学部で活用され、受講が可能です。また全国の大学・研究開発機関と協力し、日本全体の宇宙教育の中心拠点として、実験場の整備や教育プログラムの開発を行っています。



サテライト Satellite



●南紀熊野サテライト

Nanki Kumano Satellite

和歌山県と連携し、田辺市の和歌山県立情報交流センター「Big・U」内に平成17年4月に開設。和歌山大学および大学院授業を開講し、修士の学位取得をめざせるカリキュラムを編成。また、地域ニーズに対応した地域連携・産学活動も行っています。



●岸和田サテライト

Kishiwada Satellite

大阪府岸和田市と連携し、岸和田市立浪切ホール内に平成18年4月に開設。大学の知と地域の知のプラットフォームとして、地元のニーズに対応した高等教育、生涯学習機会の提供や産学官連携活動を通して、住民主体のまちづくりの発展を支援しています。

国際教育研究センター Center for International Education and Research



国際教育研究センターは、平成16年4月1日に設置されました。センターには、Section for International Education（日本語教育・海外研修）、Section for International Research（国際共同研究・国際シンポジウム）、Support Section（留学生支援・地域支援・渉外広報）の3つのセクションが配置されています。

国際交流にかかわる業務の窓口として、各セクションでは常に協力体制を保ちつつ仕事が進められています。

■学部別留学生数内訳数

The Number Items of Foreign Students According to Faculty

平成26年5月1日現在

As of May 1, 2014

区分 Classification	学部 Faculties							大学院 Graduate School							計 Total
	学生 Regular Students		研究生 Research Students		特別聴講生 Special Students		計 Total	学生 Regular Students		研究生 Research Students		特別聴講生 Special Students		計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female		男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female		
教育学部 Faculty of Education	8	11	1	3	4	18	45	6	13	1	1		1	22	67
経済学部 Faculty of Economics	6	12	1	3		1	23	21	35	1	2			59	82
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	8	2		1	1		12	11	4	1			2	18	30
観光学部 Faculty of Tourism		4	1	6			11	3	8		1			12	23
合計 Sum Total	22	29	3	13	5	19	91	41	60	3	4	2	1	111	202

■国別留学生数一覧

Foreign Student Enrollment by Nationalities

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

出身国 Country	教育学部 Faculty of Education		経済学部 Faculty of Economics		システム工学部 Faculty of Systems Engineering		観光学部 Faculty of Tourism		計 Total
	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	
アジア州 ASIA									
中華人民共和国 People's Republic of China	34	19	18	57	5	12	6	8	159
マレーシア Malaysia					6	1	1		8
大韓民国 Republic of Korea			1					2	3
ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam	4	1	1						6
インドネシア共和国 Republic of Indonesia	1								1
台湾 Republic of China				2			4		6
ラオス人民民主共和国 Lao People's Democratic Republic						3			3
イラン・イスラム共和国 Islamic Republic of Iran	1								1
トルコ共和国 Republic of Turkey	1								1
ヨーロッパ州 EUROPE									
フランス共和国 French Republic	1		1		1	2		1	6
ブルガリア共和国 Republic of Bulgaria			1						1
ベラルーシ共和国 Republic of Belarus			1						1
タジキスタン共和国 Republic of Tajikistan	1								1
北アメリカ州 NORTH AMERICA									
アメリカ合衆国 United States of America	2								2
エルサルバドル共和国 Republic of El Salvador		1							1
パナマ共和国 Republic of Panama		1							1
南アメリカ州 SOUTH AMERICA									
アルゼンチン共和国 Argentine Republic								1	1
計 Total	45	22	23	59	12	18	11	12	202

■短期留学推進制度による派遣留学生数一覧

The Number List of Dispatch Foreign Students by The Short-term Studying Abroad Promotion System

平成25年度
Fiscal Year 2013

派遣先大学名(国名) Dispatch place university name (name of a country)	教育学部 Faculty of Education		経済学部 Faculty of Economics		システム工学部 Faculty of Systems Engineering		観光学部 Faculty of Tourism	
	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate
首都師範大学 (中華人民共和国) Capital Normal University (CHN)			1				2	
山東大学(中華人民共和国) Shandong University (CHN)			2					
浙江師範大学 (中華人民共和国) Zhejiang Normal University (CHN)	1		1					
慶北大学校(大韓民国) Kyungpook National University (KOR)			1				3	
ホーチミン市師範大学 (ベトナム社会主義共和国) Ho Chi Minh City University of Pedagogy(VNM)					1		1	
カーティン大学 (オーストラリア連邦) Curtin University(AUS)							2	
パリ・デイドロ大学 (フランス共和国) University of Paris 7-Diderot (FRA)							1	
オーデンシアナント・マネジメントスクール (フランス共和国) AUDENCIA Nantes School of Management(FRA)							1	
サンカルロス大学 (グアテマラ共和国) University of San Carlos(GTM)							1	
計 Total	1		5		1		11	

■ 交流協定大学

Agreement of International Academic Exchange

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

国名 Country	大学名 University	締結年月日 Date of Agreement
大韓民国 Korea	慶北大学校人文大学 Kyungpook National University	2001.12.10 December 10.2001
中華人民共和国 People's Republic of China	東北財経大学 Dongbei University of Finance & Economics	2005. 3. 7 March 7.2005
	首都師範大学 Capital Normal University	2005.11. 9 November 9.2005
	浙江師範大学 Zhejiang Normal University	1998.12.16 December 16.1998
	山東師範大学 Shandong Normal University	1998.12. 2 December 2.1998
	山東大学 Shandong University	2000. 2.10 February 10.2000
	吉林大学 Jilin University	2003. 6.30 June 30.2003
	華東師範大学体育健康学部 East China Normal University	2007.12.11 December 11.2007
	上海市農業科学院 Shanghai Academy of Agricultural Sciences	2009. 7.28 July 28.2009
ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam	ホーチミン市師範大学 Ho Chi Minh City University of Pedagogy	2007. 3.26 March 26.2007
タイ王国 Kingdom of Thailand	カセサート大学 Kasetsart University	2013.12. 9 December 9.2013
インドネシア共和国 Republic of Indonesia	ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada	2014. 1.16 January 16.2014
フランス共和国 French Republic	トロワ工科大学 University of Technology of Troyes	1999.11.23 November 23.1999
	コンピエーニュ工科大学 University of Technology of Compiègne	
	ベルフォール・モンベリヤール工科大学 University of Technology of Belfort-Montbéliars	2006.12.19 December 19.2006
	ユーロメッド・マネジメント Euromed Management	
	パリ・ディドロ大学 University of Paris of Diderot	2008. 1.21 January 21.2008
	オーデンシア・ナント・マネジメントスクール AUDENCIA Nantes School of Management	2010. 8.23 August 23.2010
スペイン王国 Kingdom of Spain	サラゴッサ大学 University of Zaragoza	2005.12.23 December 23.2005
オーストリア共和国 Republic of Austria	ウィーン経済大学観光レジャー研究所 Vienna University of Economics and Business Institute for Tourism and Leisure Studies	2009. 9. 8 September 8.2009
アメリカ合衆国 United States of America	西フロリダ大学 University of West Florida	1999.10. 6 October 6.1999
	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 University of Wisconsin Milwaukee	1999.11. 3 November 3.1999
	ブリッジウォーター州立大学 Bridgewater State University	2005.10.21 October 21.2005
オーストラリア連邦 Australia	カーティン大学 Curtin University	1993. 3.18 March 18.1993
	カーティン・ビジネス・スクール Curtin Business School	
	カーティン言語・異文化教育スクール School of Language and Intercultural Education	
	デイキン大学 Deakin University	1999.10.21 October 21.1999
グアテマラ共和国 Republic of Guatemala	サンカルロス大学 University of San Carlos	1989. 3.30 March 30.1989



平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

計 26大学
Total 26 Universities

教育学部附属機関

附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training

教育実践総合センターは、教員と教育現場が抱える課題を解決へと導くため、「教師教育部門・授業研究部門・教育臨床部門」の3分野体制を主軸に各種の研究プロジェクトを立ちあげ、大学の教育研究資源と教育現場を結び、連携するための活動をおこなっています。教育実習の企画・立案や実習指導についても当センターが中心となって担うとともに、教員免許更新講習に関わる検証・評価等の対外的な活動や、教育研究のための情報機器の活用支援業務も実施しています。



附属小学校 Attached Primary School

附属小学校は、①先導的な教育の研究・実践（Leading）②教育実習の運営と指導（Teaching Practice）③地方教育への協力（Collaboration）という3つの使命（Mission）に日々取り組んでいます。先導的な教育の研究・実践の場としては、「教科・領域の研究」「ICT活用の研究」「複式教育の研究」などに力点を置き、その成果は、「教育研究発表会」を中心に各種研究会で発表しています。平成26年度の教育研究発表会は11月2日（日）に開催され、東京大学大学院教育学研究科教授・秋田喜代美先生、学習院大学文学部教授・佐藤学先生の講演があります。



附属中学校 Attached Junior High School

生徒一人一人の個性と可能性を最大限に伸ばすことをめざし、ICT機器の活用や協同学習、希望者への海外語学研修など、先進的な取り組みを実施しています。



附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education

小学部、中学部、高等部にわたって、児童生徒のニーズに応じた教育を行い、積極的に社会生活に参画できる人間の育成を目指しています。また、研究発表会や教育実習、地域連携等を通じ特別支援教育の推進を図っています。



附属農場 Laboratory Farm

自然環境と労働の尊さを学ぶ場として、附属農場での教育・研究活動を実施しています。農林科学・技術教育、生物学、障害児教育、家庭科・消費者教育などの実習・実験・講義をはじめ、課外活動にも活用されています。農業実習では、季節に応じた野菜・作物を栽培しており、その余剰生産物を販売しています。



経済学部附属機関

経済研究所 Institute of Economic Research

経済研究所は、経済研究及び調査を行うことを目的としています。教員・学生の経済研究及び調査の支援に加え、学外からの経済調査依頼にも対応しています。また、経済学部関係諸分野を中心に、教育・研究のための資料として、約 1,280 種類の大学紀要を含む約 2,180 種類の逐次刊行物ならびに約 6,500 冊の図書（辞書・事典を含む）を所蔵しており、その総数は 11 万冊以上を数えます。



経済計測研究所 Institute of Economics and Econometrics

経済計測研究所は、

- ・ 経済・経営・市場環境の各分野における計量的研究の推進とその支援
- ・ 社会の情報化に対応しうる人材育成のための教育環境の整備および支援

を目的としています。

教育および研究に必要な情報機器・ソフトウェア・データベースなどを利用者に提供することにより、高度な教育・研究環境の実現を目指しています。



観光学部附属機関

観光教育研究センター Center for Tourism Education and Research

『観光学』の編集・発行や LIP・GIP (Local & Global Internship Program) への対応、また大学院の実習施設としての役割を中心に、観光学部における教育研究活動全般を支援します。



○ 就職支援組織については
34ページにて詳しく記載

3 教職員数・活動体制

教育組織、教員の数等に関すること

■教職員数(常勤教職員数) Number of Staffs

平成 26 年 5 月 1 日現在
As of May 1, 2014

区分 Classification	学長 President		監事 Inspector		理事 Executive Director		教授 Professor		准教授 Associate Professors		講師 Lecturers		助教 Assistant Professors		助手 Assistants		附属学校教諭 Teachers in Attached Schools		事務職員・ 技術職員等 Administration Officers		計 Total		合計 Sum Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
役員会 Board of Directors	1				3	1															4	1	5
監事 Inspector			2																		2		2
監査室 Internal Audit Office																		1			1		1
教育学生支援機構 Institution of Education and Student Support													1								1		1
地域創造支援機構 Institution of Social Collaboration & Research Partnership							1						1								1	1	2
事務局 Administration Office																		80	58	80	58		138
教育学部 Faculty of Education							44	9	15	14	3									2	62	25	87
附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training							1	2													2	1	3
附属小学校 Attached Primary School																		19	11		19	11	30
附属中学校 Attached Junior High School																		16	8		16	8	24
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education																		15	17	1	15	18	33
経済学部 Faculty of Economics							27	2	22	8			3							1	49	14	63
システム工学部 Faculty of Systems Engineering							30	1	32	4	4		13	1				6			85	6	91
観光学部 Faculty of Tourism							10	4	6	2	1		2	1	2						18	10	28
附属図書館 University Library							1			1			1								2	1	3
「教養の森」センター Center for Human Enrichment							1			1											1	1	2
システム情報学センター Center for Information Science							1				1		1								3		3
地域連携・生涯学習センター Center for Community Cooperation and Lifelong Learning								1			1										1	1	2
産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development							2		1				1								4		4
防災研究教育センター Center for Research and Education of Disaster Reduction																							
保健センター Health Support Center							1		1									1	1	3	1		4
紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History									1												1		1
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching																							
宇宙教育研究所 Institute for Education on Space							1						1								1	1	2
国際教育研究センター Center for International Education and Research							1	1					1								2	1	3
サテライト Satellite																							
計 Total	1		2		3	1	118	20	81	30	10		19	7	1	2	50	36	88	63	373	159	
合計 Sum Total	1		2		4		138		111		10		26		3		86		151				532

※再雇用教職員を含む。

※外国人教師は教育学部・講師に計上。

※各学部及び附属学校の事務系職員の所属は総務課又は教務課とする。

※事務局には総務課、財務課、施設整備課、教育企画課、教務課、入試課、学生支援課、学術情報課、研究協力課、社会連携課を含む。

※短時間特任教職員は含まない。

※臨時的任用者(産休・育休代替)は含まない。

外国人教職員

平成 26 年 5 月 1 日現在
As of May 1, 2014

区分 Classification	学長 President		監事 Inspector		理事 Executive Director		教授 Professor		准教授 Associate Professors		講師 Lecturers		助教 Assistant Professors		助手 Assistants		附属学校教諭 Teachers in Attached Schools		事務職員・ 技術職員等 Administration Officers		計 Total		合計 Sum Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
外国の国籍を有する教職員							2	1	3		1									1	6	2	8

教職員の年代内訳

平成 26 年 5 月 1 日現在
As of May 1, 2014

区分 Classification	学長 President		監事 Inspector		理事 Executive Director		教授 Professor		准教授 Associate Professors		講師 Lecturers		助教 Assistant Professors		助手 Assistants		附属学校教諭 Teachers in Attached Schools		事務職員・ 技術職員等 Administration Officers		計 Total		合計 Sum Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
20歳代												2		1	1	7	6	11	12	21	19		40
30歳代							1		26	7	5		11	4			15	16	23	22	81	49	130
40歳代							21	6	41	19	4		5	2		1	21	12	32	22	124	62	186
50歳代			1		1		63	11	13	4	1		1	1			6	2	15	6	101	24	125
60歳代以上	1		1		2	1	33	3	1								1		7	1	46	5	51
計 Total	1		2		3	1	118	20	81	30	10		19	7	1	2	50	36	88	63	373	159	
合計 Sum Total	1		2		4		138		111		10		26		3		86		151				532



■ 役職員 Administrative Staff

平成 26 年 5 月 1 日現在
As of May 1, 2014

役員 Directors			
学長 President	山本 健 慈 Kenji Yamamoto	副学部長 Assistant Dean	高木 栄 一 Eiichi Takagi
理事 (教育学生支援担当) 副学長・教育学生支援機構長 Executive Director for Education & Student Support / Vice President / Director for Institution of Education & Student Support	池 際 博 行 Hiroyuki Ikegiwa	副学部長 Assistant Dean	富田 晃 彦 Akihiko Tomita
理事 (地域連携、研究支援担当) 副学長・地域創造支援機構長 Executive Director for Community Cooperation and Research Support / Vice President / Director for Institution of Social Collaboration & Research Partnership	平 田 健 正 Tatemasa Hirata	事務室長 Manager, Department Office	小田 明 広 Akihiro Oda
理事 (総務、財務、施設担当) 副学長 Executive Director for General Affairs, Financial Affairs and Facilities / Vice President	島 村 富 雄 Tomio Shimamura	附属教育実践総合センター長 Director, Center for Education Research and Training	久 保 富 三 夫 Fumio Kubo
理事 (国際交流、男女共同参画担当 / 非常勤) 副学長 Executive Director for International Exchange and Gender Equality / Vice President	帯 野 久 美 子 Kumiko Obino	附属小学校長 Principal, Attached Primary School	船 越 勝 Masaru Funagoshi
監事 (非常勤) Inspector	中 村 弘 Hiromu Nakamura	附属中学校長 Principal, Attached Junior High School	石 塚 亙 Wataru Ishizuka
監事 (非常勤) Inspector	田 中 祥 博 Yoshihiro Tanaka	附属特別支援学校長 Principal, Attached School of Special needs Education	赤 松 純 子 Junko Akamatsu
副学長 (教職大学院設置担当) Vice President for Establishment of Graduate School of Teacher Education	川 本 治 雄 Haruo Kawamoto	経済学部 Faculty of Economics	
副学長 (国際交流担当) Vice President for International Exchange	遠 藤 史 Fubito Endo	学部長 Dean	吉 村 典 久 Norihisa Yoshimura
副学長 (情報技術担当) Vice President for Information Technology	瀧 寛 和 Hirokazu Taki	副学部長 Assistant Dean	荒 井 信 幸 Nobuyuki Arai
副学長 (観光学研究科博士課程設置担当) Vice President for Establishment of Doctoral Program Graduate School of Tourism	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada	副学部長 Assistant Dean	辻 本 勝 久 Katsuhisa Tsujimoto
副学長 (教養教育担当) Vice President for Liberal Arts Education	天 野 雅 郎 Masao Amano	副学部長 Assistant Dean	藤 永 博 Hiroshi Fujinaga
副学長 (評価担当) Vice President for Evaluation Affairs	乗 杉 澄 夫 Sumio Norisugi	事務室長 Manager, Department Office	脇 田 淳 一 Junichi Wakita
学長補佐 (キャリア支援、男女共同参画担当) Assistant to the President for Career Support and Gender Equality	鯨 坂 恒 夫 Tsuneo Ajisaka	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	
学長補佐 (同窓会、後援会、基金担当) Assistant to the President for Alumni Association, Supporters Association and Fund	矢 野 勝 Suguru Yano	学部長 Dean	伊 東 千 尋 Chihiro Ito
学長補佐 (教育改革担当) Assistant to the President for Educational Reform	尾 久 土 正 己 Masami Okuyudo	副学部長 Assistant Dean	坂 本 英 文 Hidefumi Sakamoto
学長補佐 (アドミッションポリシー担当) Assistant to the President for Admission Policy	佐 藤 史 人 Fumito Sato	副学部長 Assistant Dean	野 村 孝 徳 Takanori Nomura
学長補佐 Assistant to the President for Joint Research and Development	多 昭 彦 Akihiko Ta	副学部長 Assistant Dean	吉 田 登 Noboru Yoshida
監査室 Internal Audit Office		事務室長 Manager, Department Office	青 木 稔 Minoru Aoki
監査室長 Head, Internal Audit Office	山 畑 一 男 Kazuo Yamahata	観光学部 Faculty of Tourism	
事務局 Administration Office		学部長 Dean	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada
企画調整役 Director for Planning and Coordination	多 昭 彦 Akihiko Ta	副学部長 Assistant Dean	田 中 豪 Takeshi Tanaka
参事役 (国際交流担当) Counselor for International Exchange	竹 内 智 子 Tomoko Takeuchi	副学部長 Assistant Dean	廣 岡 裕 一 Yuichi Hirooka
参事役 (大学改革推進事務室長) Counselor / Manager University Reform Promotion Office	南 方 伸 之 Nobuyuki Minakata	副学部長 Assistant Dean	藤 田 武 弘 Takehiro Fujita
総務課長 Head, General Affairs Division	池 下 和 美 Kazumi ikeshita	事務室長 Manager, Department Office	森 中 崇 文 Takafumi Morinaka
財務課長 Head, Finance Division	吉 井 淳 Atsushi Yoshii	大学院 Graduate School	
施設整備課長 Head, Facilities Division	清 水 滝 次 Takiji Shimizu	教育学研究科長 Dean, Graduate School of Education	永 井 邦 彦 Kunihiko Nagai
教育企画課長 Head, Academic Planning Division	山 田 博 文 Hiroyumi Yamada	経済学研究科長 Dean, Graduate School of Economics	吉 村 典 久 Norihisa Yoshimura
教務課長 Head, Academic Affairs Division	千 葉 清 行 Kiyoyuki Chiba	システム工学研究科長 Dean, Graduate School of Systems Engineering	伊 東 千 尋 Chihiro Ito
入試課長 Head, Admission Division	門 脇 弘 和 Hirokazu Kadowaki	観光学研究科長 Dean, Graduate School of Tourism	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada
学生支援課長 Head, Student Support Services Division	湯 浅 賢 一 Kenichi Yuasa	附属機関 Common Institutes for Education and Research	
学術情報課長 Head, Academic Information Division	山 中 節 子 Setsuko Yamanaka	附属図書館長 Head, University Library	渡 部 幹 雄 Mikio Watanabe
研究協力課長 Head, Research Cooperation Division	吉 井 淳 Atsushi Yoshii	「教養の森」センター長 Director, Center for Human Enrichment	天 野 雅 郎 Masao Amano
社会連携課長 Head, Regional Affairs Division	神 山 展 任 Nobuhide Kamiyama	システム情報学センター長 Director, Center for Information Science	瀧 寛 和 Hirokazu Taki
学系 Academic Groups		地域連携・生涯学習センター長 Director, Center for Community Cooperation and Lifelong Learning	村 田 和 子 Kazuko Murata
人文社会科学系長 Director, Academic Groups of Humanities and Social Sciences	遠 藤 史 Fubito Endo	産学連携・研究支援センター長 Director, Center for Joint Research and Development	橋 本 正 人 Masato Hashimoto
工学自然科学系長 Director, Academic Groups of Engineering and Natural Sciences	瀧 寛 和 Hirokazu Taki	防災研究教育センター長 Director, Center for Research and Education of Disaster Reduction	此 松 昌 彦 Masahiko Konomatsu
教育学部 Faculty of Education		保健センター長 Director, Health Support Center	別 所 寛 人 Hirotoshi Bessho
学部長 Dean	永 井 邦 彦 Kunihiko Nagai	紀州経済史文化史研究所長 Director, Institute of Kishu Economic and Cultural History	上 村 雅 洋 Masahiro Uemura
副学部長 Assistant Dean	片 岡 啓 Kei Kataoka	協働教育センター長 Director, Center for Collaborative Learning and Teaching	尾 久 土 正 己 Masami Okuyudo
		宇宙教育研究所長 Director, Institute for Education on Space	秋 山 演 亮 Hiroaki Akiyama
		国際教育研究センター長 Director, Center for International Education and Research	遠 藤 史 Fubito Endo
		南紀熊野サテライト長 Director, Nanki Kumano Satellite	大 西 敏 夫 Toshio Onishi
		岸和田サテライト長 Director, Kishiwada Satellite	藤 田 和 史 Kazufumi Fujita

役員会等 Board of Directors

役員会 Board of Directors

平成 26 年 5 月 1 日現在
As of May 1, 2014

学 長 President	山 本 健 慈 Kenji Yamamoto	理事（総務、財務、施設担当） 副学長 Executive Director for General Affairs, Financial Affairs and Facilities / Vice President	島 村 富 雄 Tomio Shimamura
理事（教育学生支援担当） 副学長・教育学生支援機構長 Executive Director for Education & Student Support / Vice President / Director for Institution of Education & Student Support	池 際 博 行 Hiroyuki Ikegiwa	理事（国際交流・男女共同参画担当 / 非常勤） 副学長 Executive Director for International Exchange and Gender Equality / Vice President	帯 野 久 美 子 Kumiko Obino
理事（地域連携、研究支援担当） 副学長・地域創造支援機構長 Executive Director for Community Cooperation and Research Support / Vice President / Director for Institution of Social Collaboration & Research Partnership	平 田 健 正 Tatemasa Hirata		

経営協議会委員 Administrative Council

平成 26 年 5 月 1 日現在
As of May 1, 2014

学 長 President	山 本 健 慈 Kenji Yamamoto	大阪外国語大学名誉教授	赤 木 攻 Osamu Akagi
理事（教育学生支援担当） 副学長・教育学生支援機構長 Executive Director for Education & Student Support / Vice President / Director for Institution of Education & Student Support	池 際 博 行 Hiroyuki Ikegiwa	株式会社南北代表取締役	榎 畑 直 尚 Naohisa Kashihata
理事（地域連携、研究支援担当） 副学長・地域創造支援機構長 Executive Director for Community Cooperation and Research Support / Vice President / Director for Institution of Social Collaboration & Research Partnership	平 田 健 正 Tatemasa Hirata	弁護士	松 原 敏 美 Toshimi Matsubara
理事（総務、財務、施設担当） 副学長 Executive Director for General Affairs, Financial Affairs and Facilities / Vice President	島 村 富 雄 Shimamura Tomio	大阪府立産業技術総合研究所所長	南 努 Tsutomu Minami
理事（国際交流、男女共同参画担当 / 非常勤） 副学長 Executive Director for International Exchange and Gender Equality / Vice President	帯 野 久 美 子 Kumiko Obino	株式会社テレビ和歌山取締役	柏 原 康 文 Yasufumi Kashihara

教育研究評議会 Education and Research Council

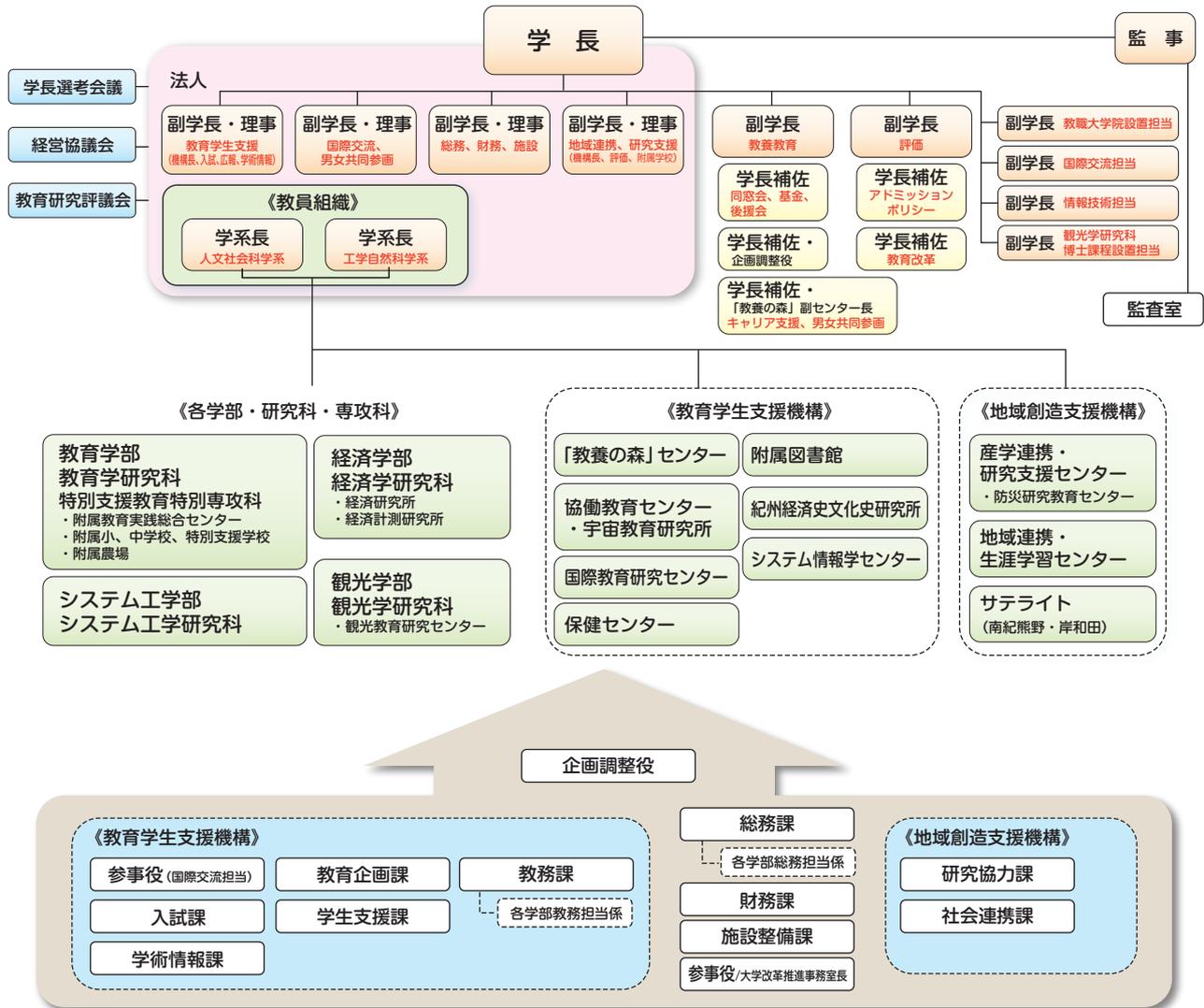
平成 26 年 5 月 1 日現在
As of May 1, 2014

学 長 President	山 本 健 慈 Kenji Yamamoto	システム工学部長 Dean Faculty of Systems Engineering	伊 東 千 尋 Chihiro Ito
理事（教育学生支援担当） 副学長・教育学生支援機構長 Executive Director for Education & Student Support / Vice President / Director for Institution of Education & Student Support	池 際 博 行 Hiroyuki Ikegiwa	観光学部長 Dean Faculty of Tourism	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada
理事（地域連携、研究支援担当） 副学長・地域創造支援機構長 Executive Director for Community Cooperation and Research Support / Vice President / Director for Institution of Social Collaboration & Research Partnership	平 田 健 正 Tatemasa Hirata	教 授 Professor	川 本 治 雄 Haruo Kawamoto
理事（総務、財務、施設担当） 副学長 Executive Director for General Affairs, Financial Affairs and Facilities / Vice President	島 村 富 雄 Tomio Shimamura	教 授 Professor	小 野 次 朗 Jiro Ono
理事（国際交流、男女共同参画担当 / 非常勤） 副学長 Executive Director for International Exchange and Gender Equality / Vice President	帯 野 久 美 子 Kumiko Obino	教 授 Professor	クパニ・ルンビディ Kupanhy Lumbidi
教育学部長 Dean Faculty of Education	永 井 邦 彦 Kunihiko Nagai	教 授 Professor	足 立 基 浩 Motohiro Adachi
経済学部長 Dean Faculty of Economics	吉 村 典 久 Norihisa Yoshimura	教 授 Professor	和 田 俊 和 Toshikazu Wada
		教 授 Professor	宗 森 純 Jun Munemori
		教 授 Professor	竹 鼻 圭 子 Keiko Takehana
		教 授 Professor	出 口 竜 也 Tatsuya Deguchi
		システム情報学センター長 Director, Center for Information Science	瀧 寛 和 Hirokazu Taki

■各組織間の連携を図る体制、委員会等

○和歌山大学組織機構図

(平成26年4月1日)



○会議・委員会・運営支援組織

人事委員会

財務・施設委員会

企画・評価委員会

広報・情報公開委員会

安全衛生委員会

研究倫理審査会

教務委員会

入学試験委員会

学生支援委員会

環境管理委員会

危機管理委員会

地域創造支援機構推進会議

教育学生支援機構推進会議

教員組織運営委員会

4 学生の受入・進路状況

入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

和歌山大学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針) Admission Policy

- (1) 学問への探究心にあふれ、課題解決のため意欲的に取り組むことのできる人
- (2) 明確な目的意識をもつ人
- (3) 新しいことに積極的に挑戦する意欲をもつ人

平成26年度入学志願者数及び入学者数

区分 Classification	入学定員 Admission Quotas	志願者数 Applicants			受験者数 Examinees			入学者数 Entrants				
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total		
学部 Faculties	教育学部 Faculty of Education	185	443	354	797	305	247	552	101	90	191	
	経済学部 Faculty of Economics	330	1,062	588	1,650	816	429	1,245	209	127	336	
	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	285	1,044	262	1,306	741	194	935	233	64	297	
	観光学部 Faculty of Tourism	110	202	378	580	156	278	434	31	86	117	
	計 Total	910	2,751	1,582	4,333	2,018	1,148	3,166	574	367	941	
3年次 編入学 選抜 Students Admitted in the Junior Year	経済学部 Faculty of Economics	10	33	11	44	31	9	40	16	0	16	
	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	20	54	10	64	52	10	62	16	5	21	
	計 Total	30	87	21	108	83	19	102	32	5	37	
大学院 Graduate Schools	教育学研究科 Graduate School of Education	修士課程 Master's Programs	45	29	27	56	24	27	51	16	23	39
	経済学研究科 Graduate School of Economics	修士課程 Master's Programs	38	44	31	75	42	28	70	21	19	40
	システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	博士前期課程 Master's Programs	129	153	27	180	147	24	171	116	17	133
		博士後期課程 Doctoral Programs	8	10	1	11	9	1	10	9	1	10
	観光学研究科 Graduate School of Tourism	博士前期課程 Master's Programs	9	11	23	34	11	23	34	3	6	9
		博士後期課程 Doctoral Programs	6	14	6	20	14	6	20	6	3	9
計 Total		235	261	115	376	247	109	356	171	69	240	
専攻科 Postgraduate Course	特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education		10	0	7	7	0	6	6	0	6	

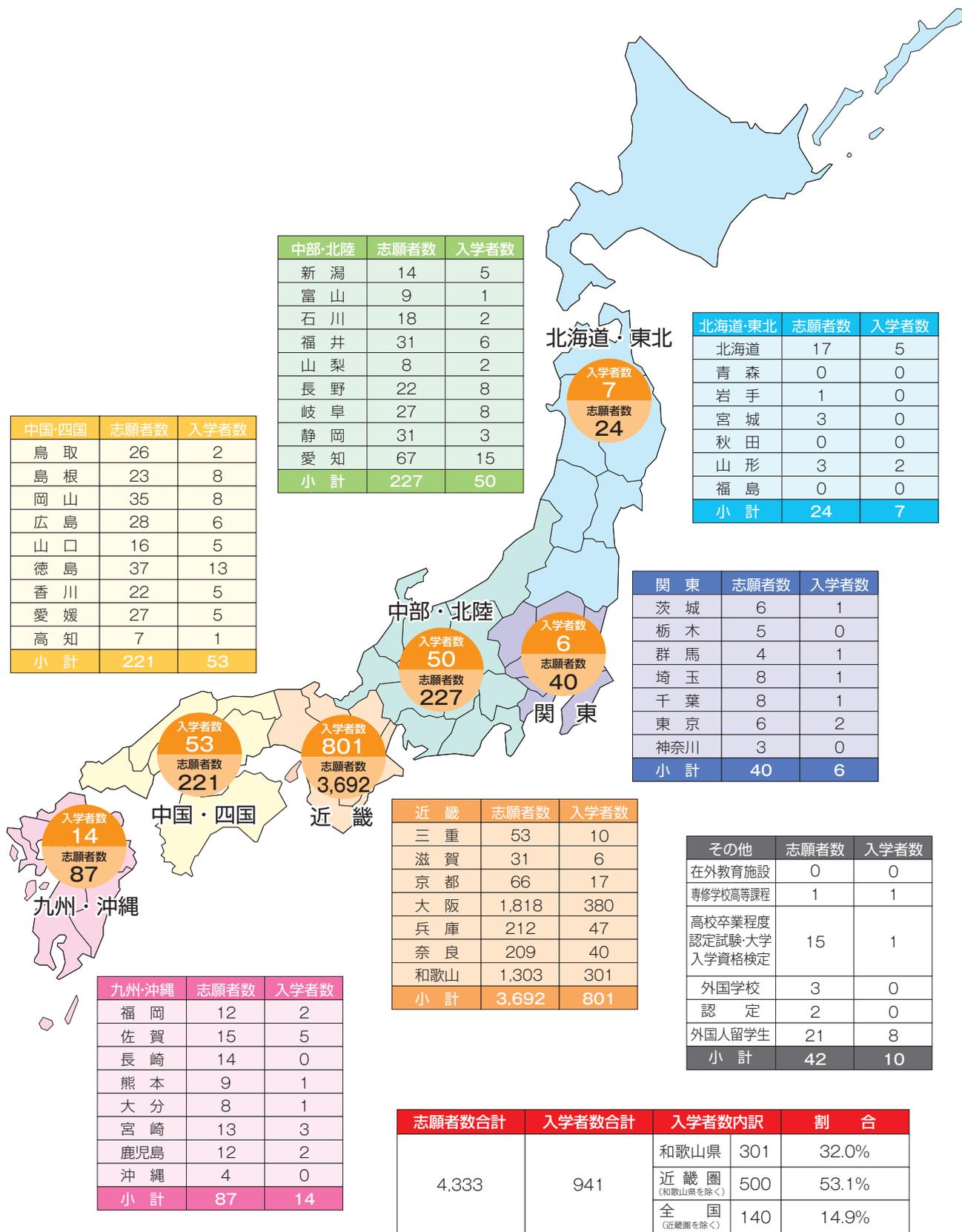
地域・都道府県別入学者数

平成26年度
Fiscal Year 2014

地域/都道府県 Region/ Prefecture	教育学部 Faculty of Education	経済学部 Faculty of Economics	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	観光学部 Faculty of Tourism	計 Total
北海道・東北 Hokkaido Tohoku	0	3	0	4	7
関東 Kanto	2	1	3	0	6
中部・北陸 Chubu Hokuriku	6	28	7	9	50
近畿 Kinki	173	272	271	85	801
(三重 Mie)	(1)	(6)	(0)	(3)	(10)
(滋賀 Shiga)	(1)	(2)	(2)	(1)	(6)
(京都 Kyoto)	(3)	(10)	(3)	(1)	(17)
(大阪 Osaka)	(53)	(112)	(175)	(40)	(380)
(兵庫 Hyogo)	(10)	(24)	(7)	(6)	(47)
(奈良 Nara)	(6)	(17)	(11)	(6)	(40)
(和歌山 Wakayama)	(99)	(101)	(73)	(28)	(301)
中国 Chugoku	3	16	4	6	29
四国 Shikoku	4	9	5	6	24
九州・沖縄 Kyushu Okinawa	0	4	4	6	14
その他(検定・外国) Others	3	3	3	1	10
合計 Total	191	336	297	117	941

都道府県別 学部入学者数

平成26年度
Fiscal Year 2014



※推薦入試の志願者数・入学者数を含む。

■ 学生数(現員) Number of Students

○ 学部 Faculty

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

区分 Classification	1年次 1st year			2年次 2nd year			3年次 3rd year			4年次 4th year			合計 Sum Total				
	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	計 Total	
教育学部 Faculty of Education	学校教育教員養成課程 Teacher Training	145	81	68	145	82	64	145	99 (2)	64 (1)	145	107 (1)	79 (1)	580	369 (3)	275 (2)	644 (5)
	国際文化課程 International Cultural Studies											1			1	0	1
	総合教育課程 Sythetic Studies	40	20 (1)	22 (2)	40	27 (2)	19 (2)	40	18	26 (4)	40	30 (2)	22 (1)	160	95 (5)	89 (9)	184 (14)
	計 Total	185	101 (1)	90 (2)	185	109 (2)	83 (2)	185	117 (2)	90 (5)	185	138 (3)	101 (2)	740	465 (8)	364 (11)	829 (19)
経済学部 Faculty of Economics	昼間主コース Day Course																
	経済学科 Department of Economics	110			110	69	41	114	77	40 (1)	114	86 (1)	39 (3)	448	232 (1)	120 (4)	352 (5)
	ビジネスマネジメント学科 Department of Business Management	110	209 (3)	127	110	73 (1)	39 (3)	114	81 (1)	31 (2)	114	88 (3)	34 (3)	448	242 (2)	104 (8)	346 (10)
	市場環境学科 Department of Market and Environment	110			110	72	49	112	77	46	112	98	60	444	247	155	402
	昼間主コース 小計 Day Course Total	330	209 (3)	127	330	214 (1)	129 (3)	340	235 (1)	117 (3)	340	272 (1)	133 (6)	1340	930 (6)	506 (12)	1,436 (18)
	夜間主コース Night Course																
	ビジネスマネジメント学科 Department of Business Management														0	0	0
	市場環境学科 Department of Market and Environment											1			1	0	1
	夜間主コース 小計 Night Course Total											1			1		1
	計 Total	330	209 (3)	127	330	214 (1)	129 (3)	340	235 (1)	117 (3)	340	273 (1)	133 (6)	1,340	931 (6)	506 (12)	1,437 (18)
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	情報通信システム学科 Department of Computer and Communication Sciences	57	53	6	57	52	5	57	59	6	57	76 (1)	7	228	240 (1)	24	264 (1)
	光メカトロニクス学科 Department of Opto-Mechatronics	57	55 (1)	3	57	60 (1)	4	57	65 (1)	2	57	82 (3)	2	228	262 (6)	11	273 (6)
	精密物質学科 Department of Material Science and Chemistry	57	37	24	57	44	18	57	53	10	57	60	13	228	194	65	259
	環境システム学科 Department of Environmental Systems	57	47	12	57	46	17 (1)	57	48	13	57	66 (1)	16	228	207 (1)	58 (1)	265 (2)
	デザイン情報学科 Department of Design and Information Sciences	57	41	19 (1)	57	39	21	57	43	22	57	64	21	228	187	83 (1)	270 (1)
	計 Total	285	233 (1)	64 (1)	285	241 (1)	65 (1)	305	268 (1)	53	305	348 (5)	59	1,180	1,090 (8)	241 (2)	1,331 (10)
観光学部 Faculty of Tourism	観光経営学科 Department of Tourism Management	60			60	23	37 (1)	60	24	40	60	21	54	240	68	131 (1)	199 (1)
	地域再生学科 Department of Regional Revitalisation	50	31	86	50	19	46 (3)	50	16	36	50	11	48	200	46	130 (3)	176 (3)
	計 Total	110	31	86	110	42	83 (4)	110	40	76	110	32	102	440	145	347 (4)	492 (4)
合計 Sum Total		910	574 (5)	367 (3)	910	606 (4)	360 (10)	940	660 (4)	336 (8)	940	791 (9)	395 (8)	3,700	2,631 (22)	1,458 (29)	4,089 (51)

()内は、外国人留学生数を内数で示す。

() show the number of foreign students.

経済学部・システム工学部の3年次及び4年次には編入学を含む。

○大学院 Graduate School

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

研究科 School	専攻 Course	課程 Course	1年次 1st year			2年次 2nd year			3年次 3rd year			合計 Sum Total			
			定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	計 Total
教育学研究科 Graduate School of Education	学校教育専攻 Course Specializing in General School Education	修士 Master's	12	5	8 (1)	12	16 (1)	17 (1)				24	21 (1)	25 (2)	46 (3)
		専攻 Master's	33	11 (2)	15 (8)	33	21 (3)	8 (3)				66	32 (5)	23 (11)	55 (16)
	計 Total	45	16 (2)	23 (9)	45	37 (4)	25 (4)				90	53 (6)	48 (13)	101 (19)	
経済学研究科 Graduate School of Economics	経済学専攻 Course Specializing in Economics	修士 Master's	15	5 (4)	9 (7)	19	6 (4)	10 (9)				34	11 (8)	19 (16)	30 (24)
		専攻 Master's	13	6 (4)	7 (7)	13	7 (5)	8 (7)				26	13 (9)	15 (14)	28 (23)
		専攻 Master's	10	10 (2)	3 (2)	10	10 (2)	4 (3)				20	20 (4)	7 (5)	27 (9)
	計 Total	38	21 (10)	19 (16)	42	23 (11)	22 (19)				80	44 (21)	41 (35)	85 (56)	
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering	博士前期 Master's Programs	129	116 (7)	17 (4)	129	130 (1)	16				258	246 (8)	33 (4)	279 (12)
		博士後期 Doctoral Programs	8	9 (3)	1	8	8		8	16	2	24	33 (3)	3	36 (3)
	計 Total	137	125 (10)	18 (4)	137	138 (1)	16	8	16	2	282	279 (11)	36 (4)	315 (15)	
観光学研究科 Graduate School of Tourism	観光学専攻 Course Specializing in Tourism	修士 Master's 博士前期 Master's Programs	9	3 (2)	6 (2)	5	4 (1)	7 (5)				14	7 (3)	13 (7)	20 (10)
		博士後期 Doctoral Programs	6	6	3 (1)							6	6	3 (1)	9 (1)
	計 Total	15	9 (2)	9 (3)	5	4 (1)	7 (5)				20	13 (3)	16 (8)	29 (11)	
合計 Sum Total			235	171 (24)	69 (32)	229	202 (17)	70 (28)	8	16	2	472	389 (41)	141 (60)	530 (101)

()内は、外国人留学生数を内数で示す。
() show the number of foreign students.

○専攻科 Postgraduate Course

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

専攻科 Postgraduate Course	専攻 Course	合計 Sum Total			
		定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	計 Total
特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education	発達障害教育専攻 Developmental Disorders	10		6	6

○専任教員1人あたりの学生数

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

	学部学生数	専任教員数	専任教員1人あたり 学生数
教育学部 Faculty of Education	829	85	9.75
経済学部 Faculty of Economics	1,437	62	23.18
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	1,331	85	15.66
観光学部 Faculty of Tourism	492	28	17.57
合計 Sum Total	4,089	260	15.73

※教育学部については附属小・中・特別支援学校を除いた教員数。

○教育学部附属学校の定員・児童生徒数等

Number of Students, Attached Schools of Faculty of Education 平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

学校 School	学年別入学定員・児童生徒数 Number of Students												合計 Sum Total	
	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment
附属小学校 Primary School	1 学年 1st Year		2 学年 2nd Year		3 学年 3rd Year		4 学年 4th Year		5 学年 5th Year		6 学年 6th Year		630	522
	90	90	90	90	90	85	120	88	120	85	120	84		
	複式学級 Combined Class	1・2 学年 1st and 2nd Year			3・4 学年 3rd and 4th Year			5・6 学年 5th and 6th Year			48	47		
附属中学校 Junior High School	1 学年 1st Year		2 学年 2nd Year		3 学年 3rd Year								440	437
	140	140	140	139	160	158								
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education	小学部 Primary Section	低学年 1st Level		中学年 2nd Level		高学年 3rd Level						18	16	
		6	5	6	6	6	5							
	中学部 Intermediate Section	1 学年 1st Year		2 学年 2nd Year		3 学年 3rd Year						18	16	
		6	5	6	5	6	6							
	高等部 Advanced Section	1 学年 1st Year		2 学年 2nd Year		3 学年 3rd Year						24	30	
		8	10	8	10	8	10							
合計 Sum Total												1,178	1,068	

■卒業生・修了者数 Number of Graduates

○平成25年度 Fiscal Year 2013

区分 Classification	専攻・課程・学科 Course・Department	男 Male	女 Female	計 Total	累計 Aggregate	
学部 Faculties	教育学部 Faculty of Education	学校教育教員養成課程 Teacher Training	66	65 (1)	131 (1)	13,923
		国際文化課程 International Cultural Studies				
		総合教育課程 Synthetic Studies	13	29	42	
		小計 Total	79	94 (1)	173 (1)	
	経済学部 Faculty of Economics	経済学科 Department of Economics	85	42 (1)	127 (1)	18,291
		ビジネスマネジメント学科 Department of Business Management	72	48 (1)	120 (1)	
		市場環境学科 Department of Market and Environment	62	36	98	
		小計 Total	219	126 (2)	345 (2)	
	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	情報通信システム学科 Department of Computer and Communication Sciences	51 (1)	4 (1)	55 (2)	4,358
		光メカトロニクス学科 Department of Opto-Mechatronics	61 (1)	3	64 (1)	
		精密物質学科 Department of Material Science and Chemistry	43	13	56	
		環境システム学科 Department of Environmental Systems	55	15	70	
		デザイン情報学科 Department of Design and Information Science	35	15	50	
		小計 Total	245 (2)	50 (1)	295 (3)	
	観光学部 Faculty of Tourism	観光経営学科 Department of Tourism Management	14	51	65	400
		地域再生学科 Department of Regional Revitalisation	8	44	52	
		小計 Total	22	95	117	
	計 Total		565 (2)	365 (4)	930 (6)	36,972
	大学院 Graduate Schools	教育学研究科 Graduate School of Education	学校教育専攻 Course Specializing in General School Education	8	9 (3)	17 (3)
教科教育専攻 Course Specializing in Individual Subject Education			18 (2)	19 (4)	37 (6)	
小計 Total			26 (2)	28 (7)	54 (9)	
経済学研究科 Graduate School of Economics		経済学専攻 Course Specializing in Economics	6 (2)	7 (5)	13 (7)	780
		経営学専攻 Course Specializing in Business Administration	5 (4)	8 (6)	13 (10)	
		市場環境学専攻 Course Specializing in Market and Environment	7 (2)	8 (4)	15 (6)	
		小計 Total	18 (8)	23 (15)	41 (23)	
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering		システム工学専攻(博士前期課程) Course Specializing in Systems Engineering(Master's Programs)	115 (5)	13	128 (5)	1,638
		システム工学専攻(博士後期課程) Course Specializing in Systems Engineering(Doctoral Programs)	4	1	5	69
		小計 Total	119 (5)	14	133 (5)	1,707
観光学研究科 Graduate School of Tourism	観光学専攻 Course Specializing in Tourism	3 (2)	3 (1)	6 (3)	11	
	小計 Total	3 (2)	3 (1)	6 (3)		
計 Total		166 (17)	68 (23)	234 (40)	3,262	
専攻科 Postgraduate Course	特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education	3	8	11	161	
	計 Total	3	8	11	171	
合計 Sum Total		734 (19)	441 (27)	1,175 (46)	40,405	

1. ()内は、外国人留学生を内数で示す。 () show the number of foreign students.
 2. 前期卒業生・修了者を含む。 Including the number of 1st term graduates.
 3. 累計は、当初からの卒業生・修了者数を示す。 The aggregate shows the number of graduates from the beginning.
 4. 博士後期課程については、単位取得退学後の学位取得修了者を含む。

平成25年度 進路状況 Course Graduation Statistics

○学部卒業生 Graduates

学部名 Faculties	卒業生数 Number of Graduates	進学者数 Entrants to Graduate Schools (Master's Programs)	就職者数 Employment					小計 Subtotal	その他 Others	合計 Total
			民間企業等 Private Industry	教員 Teachers		公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others			
				教諭 Full-time teachers	講師 Part-time teachers					
教育学部 Faculty of Education	173	20	24	46	51	8	1	130	23	173
経済学部 Faculty of Economics	345	6	259			25	3	287	52	345
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	295	138	122		1	18	3	144	13	295
観光学部 Faculty of Tourism	117	2	103			9		112	3	117
計 Total	930	166	508	46	52	60	7	673	91	930

1. 経済学部には、夜間主コースの学生を含む。
The number of students at night course is included at faculty of economics.
2. 「進学者」は上位の課程に進んだ者、「就職者」は学校基本調査の就職者をいう。(以下、同じ)

○大学院修士課程修了者及び博士前期課程修了者 A Person who Finished a Master Degree

研究科名 Graduate Schools	修了者数 Number of Graduates from the Graduate Schools	進学者数 Entrants to Graduate Schools (Doctoral Programs)	就職者数 Employment					小計 Subtotal	その他 Others	合計 Total
			民間企業等 Private Industry	教員 Teachers		公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others			
				教諭 Full-time teachers	講師 Part-time teachers					
教育学研究科 Graduate School of Education	54	2	8	20	9	2	1	40	12	54
経済学研究科 Graduate School of Economics	41	1	15			3		18	22	41
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	128	6	114			3		117	5	128
観光学研究科 Graduate School of Tourism	6	1	2					2	3	6
計 Total	229	10	139	20	9	8	1	177	42	229

○大学院博士後期課程修了者及び単位取得退学者 A Person who Completed a Ph.D or Early Leaver who has Earned Credits

システム工学研究科 博士後期課程 Graduate School of Systems Engineering Doctoral Programs	修了者数 Number of Graduates from the Graduate Schools	進学者数 Entrants to Graduate Schools (Master's Programs)	就職者数 Employment					小計 Subtotal	その他 Others	合計 Total
			民間企業等 Private Industry	教員 Teachers		公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others			
				教諭 Full-time teachers	講師 Part-time teachers					
修了者 Graduates	3		2			1		3		3
単位取得退学者 Early Leaver who Has Earned Credits	4		4					4		4
計 Total	7	0	6	0	0	1	0	7	0	7

修了者には単位取得退学後の学位取得修了者を含めない。

○進路状況 Course Graduation Statistics

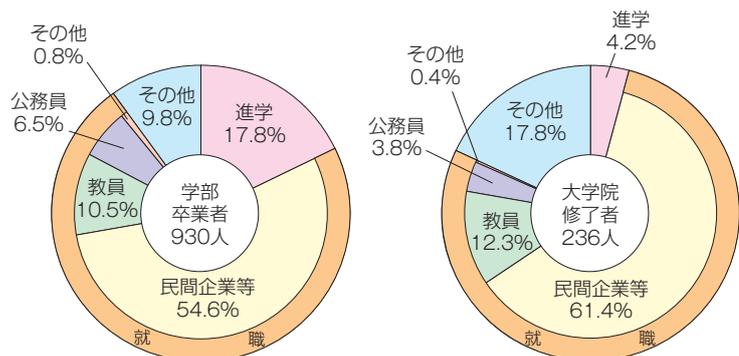
学部

進学 Entrants to Graduate Schools (Master's programs)	就職 Employment				その他 Others
	民間企業等 Private Industry	教員 Teachers	公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others	
166	508	98	60	7	91

大学院

進学 Entrants to Graduate Schools (Doctoral programs)	就職 Employment				その他 Others
	民間企業等 Private Industry	教員 Teachers	公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others	
10	145	29	9	1	42

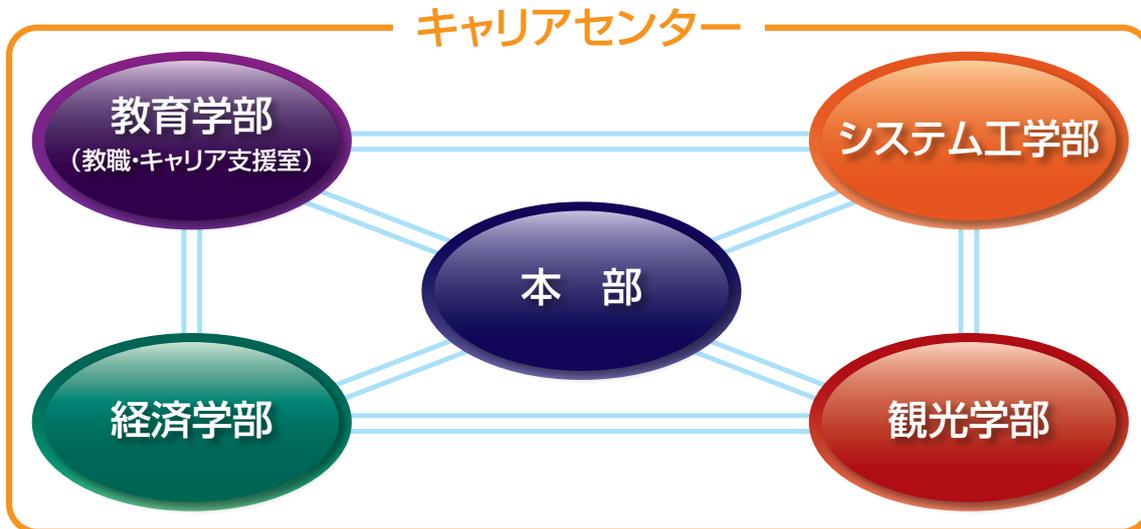
大学院修了者には、単位取得退学者を含み、単位取得退学後の学位取得修了者を含めない。



■キャリア教育・就職支援体制 Career Support

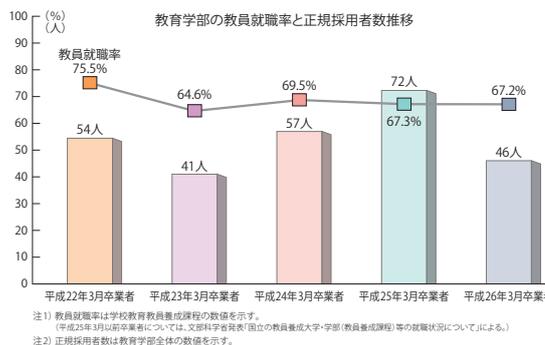
学生満足度の向上を目標に掲げる和歌山大学では、学生が希望の進路を実現できるように充実した就職サポート体制を整えております。

キャリアセンターは、全学の学生を対象にしたキャリア支援事業や、求人情報検索システムによる情報提供、学内での合同企業説明会の開催、インターンシップなどの計画・実施、外国人留学生向けの就職での相談や情報提供をする本部のほか、各学部でも学生一人ひとりのニーズにあわせた相談等を行っております。



○教育学部の就職支援状況

「キャリアセンター教育学部（教職・キャリア支援室）」では、学生一人ひとりの志望に合わせた採用試験対策と、教職全般にわたるきめ細かなアドバイスを行っています。担当の7名の大学教員に加えて豊富な教職経験を持った4名の客員教授が常駐し、3回生の10月に学生全員と個別面談を実施し、採用試験まで継続して面接や小論文指導などを行っています。また教職経験を持つ本学部のOB・OGの協力による「模擬面接」や「教員採用試験対策講座」もあり、教員をめざす学生をトータルにサポートします。民間企業あるいは一般公務員などへの就職を目指す学生に対しては、キャリアセンター本部と連携して支援を行っており、昨年度は民間・官公庁において86.8%と高い就職率になっています。

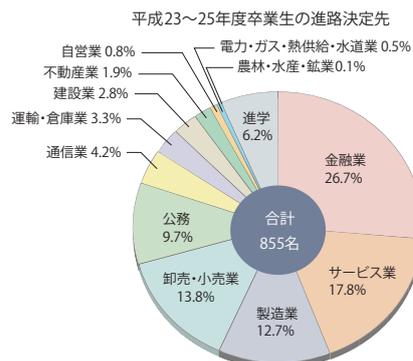


主たる進路 [平成23~25年度実績]

[就職先] 和歌山県内公立学校、大阪府内公立学校、紀陽銀行、大和証券、日本経済新聞社、日本マクドナルド、労働基準監督署、和歌山市役所
 [進学先] 和歌山大学大学院教育学研究科、大阪市立大学大学院文学研究科

○経済学部の就職支援状況

「キャリアセンター経済学部」では、学生の相談に専門のキャリアカウンセラーが応じています。また、専門科目の中で「キャリア・デザイン」、「社会人基礎力」のキャリア教育科目を開講。各々、自分は何をしたいのか、それをどうやって実現していくのか等、考える機会を提供しています。人的な連携強化にも取り組んでおり、進路が決定した上級生が下級生を支援する「スチューデントリンク」の取組や和歌山大学経済学部同窓会「柑芦会(こうろかい)」とも積極的に交流。OB・OGとも連携し支援を行っていることも大きな強みです。このように経済学部では、学生一人ひとりが自分の可能性を最大限に活かし満足度の高い進路が実現できるよう、指導教員とキャリアカウンセラーが中心となり学部をあげてサポートしています。



主たる進路 [平成23~25年度実績]

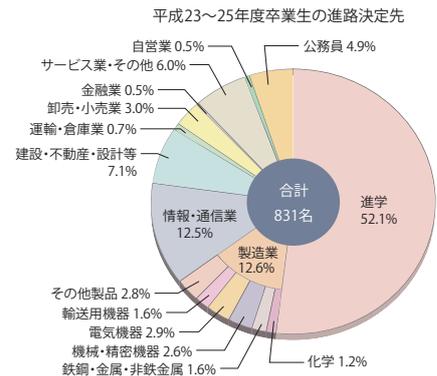
[就職先] みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、りそな銀行、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫、紀陽銀行、関西アーバン銀行、野村證券、日本生命保険、損害保険ジャパン、三井住友海上火災保険、東京海上日動火災保険、三井住友カード、日本郵政、積水ハウス、大和ハウス工業、LIXIL、カネテツデリカフーズ、J-オイルミルズ、フジッコ、ブルボン、山崎製パン、凸版印刷、日本たばこ産業、資生堂、武田薬品工業、グラクソ・スミスクライン、島精機製作所、シャープ、パナソニック、スズキ、住友金属工業、椿本興業、プラザ販売、関西電力、全日本空輸(ANA)、近畿日本鉄道、東海旅客鉄道(JR東海)、南海電気鉄道、西日本旅客鉄道(JR西日本)、日本通運、ヤマト運輸、丸紅、阪急阪神ホテルズ、ロイヤルホテル、ファミリーマート、大広、パナソ、吉本興業、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、大阪国税局(国税専門官)、和歌山県庁、愛媛県庁、島根県庁、鳥取県庁、大阪府庁、京都府庁、奈良県庁、東京都庁、長野県庁、和歌山市役所、岩出市役所、田辺市役所、大阪府役所、堺市役所、岸和田市役所、神戸市役所、西宮市役所、那智勝浦町役場、大阪府警察本部、他

[進学先] 和歌山大学大学院経済学研究科、和歌山大学大学院教育学研究科、京都大学大学院経済学研究科、大阪大学大学院経済学研究科、神戸大学大学院経済学研究科、神戸大学大学院経営学研究科、兵庫県立大学大学院会計研究科、甲南大学会計大学院ビジネス研究科、鳴門教育大学大学院学校教育研究科、他

○システム工学部の就職支援状況

「キャリアセンターシステム工学部」では、就職担当教員とともに、各学科の専門分野に応じた進路支援を行っています。システム工学部の半数以上の学生は大学院博士前期課程に進学しますので、学部生だけではなく、より高度な専門性を有する大学院生の就職についても、それぞれの分野に応じた支援をしています。

また、大学全体の求人情報検索システム以外にも、システム工学部の進路支援システムにて、学部・学科に届いた学校推薦等の求人票・会社案内、先輩の就職活動体験記などの情報提供を行っています。



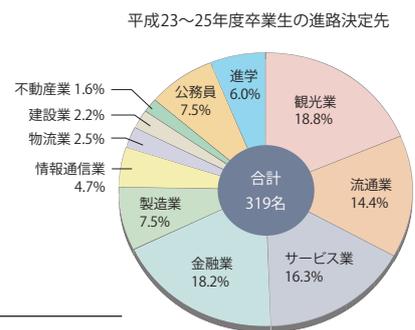
主たる進路 [平成23~25年度実績]

[就職先] IDEC、旭化成ホームズ、アストラゼネカ、岩谷産業、NTTファシリティーズ、大阪ガス、オービス総研、大林組、オービック、小野薬品工業、オムロン、川崎重工業、キヤノン、紀陽情報システム、KDDI、堺化学工業、ジェイテクト、島精機製作所、新日鉄住金ソリューションズ、スズキ、住友林業、セイコーエプソン、積水ハウス、ソフトバンクグループ、ダイキン工業、大和ハウス工業、タカラスタンダード、タダノ、椿本チエイン、デンソー、凸版印刷、ナリス化粧品、ニコン、西日本旅客鉄道(JR西日本)、日鉄住金プラント、日東紡績、日本テレビ放送網、日本総合研究所、任天堂、長谷工コーポレーション、パナソニック、パナホーム、浜松ホトニクス、日立システムズ、日立ソリューションズ、富士ゼロックス、ホシデン、本田技研工業、前田建設工業、三菱自動車工業、三菱電機エンジニアリング、ユニチカ、淀川製鋼所、LIXIL、YKKAP、国土交通省近畿地方整備局、近畿管区警察、和歌山県庁、京都府庁、広島県庁、和歌山市役所、岩出市役所、海南市役所、堺市役所、八尾市役所、岸和田市役所、京都市役所、有田川町役場、他

[進学先] 和歌山大学大学院システム工学研究科、和歌山大学大学院教育学研究科、東京大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、奈良女子大学大学院、大阪市立大学大学院、他

○観光学部の就職支援状況

「キャリアセンター観光学部」では、少人数教育を特徴とする各ゼミナール担当教員と連携したきめ細やかなサポートで、学生をよりよい進路へ導きます。進路や就職についての相談に個別に対応するほか、授業の一環として、学生の就職に対する意識を高めることを目的としたキャリア教育科目を各年次に開設しています(「観光キャリア・デザインⅠ、Ⅱ」など)。また、インターンシップについても、観光学部の長を活かした独自のプログラムを開発し、社会参画に対する学生の問題意識を高める取り組みが成果を挙げています。



主たる進路 [平成23~25年度実績]

[就職先] 三菱東京UFJ銀行、紀陽銀行、関西アーバン銀行、京都銀行、中国銀行、十八銀行、清水銀行、宮崎銀行、あおぞら銀行、きのくに信用金庫、大阪シティ信用金庫、近畿産業信用組合、兵庫信用金庫、野村證券、アコム、住友生命、日本生命、明治安田生命、岡山放送、鹿島建設、全日本空輸、JR東日本、JR西日本、南海電鉄、近畿日本鉄道、WILLER ALLIANCE、NSD、ビジネスブレイン太田昭和、サイバーリンクス、補助、理想科学工業、メニコン、オーエ、日本無線、井関農機、大鉄工業、関包スチール、鴻池運輸、南海エクスプレス、上新電機、パナソニックロジスティクス、岩谷産業、大鉄産業、トヨタ部品大阪共販、サンブラザ、万代、ファーストリテイリング、インテリジェンス、日本旅行、JTB関西、阪急交通社、星野リゾート、阪急阪神ホテルズ、藤田観光、ホテルオークラ京都、リゾートトラスト、ホテルニューアワジ、有馬グランドホテル、アドベンチャーワールド、日本郵便、JA和歌山県信連、JAいすみの、JA兵庫六甲、JA若狭、大阪警察病院、和歌山県国民健康保険団体連合会、三重県文化振興事業団、国土交通省近畿運輸局、防衛省海上自衛隊、防衛省航空自衛隊、大阪府庁、北海道庁、浜松市役所、西宮市役所、東大阪市役所、岸和田市役所、田尻町役場、摂津市役所、和歌山市役所、岩出市役所、田辺市役所、新宮市役所、有田川町役場、紀美野町役場、大阪市立大学、和歌山県警察、他

[進学先] 和歌山大学大学院観光学研究科、和歌山大学大学院教育学研究科、大阪教育大学大学院教育学研究科、奈良教育大学大学院教育学研究科、奈良女子大学大学院人間文化研究科

5 授業科目・計画

科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

教育学部カリキュラム Curriculum / Faculty of Education

学校教育教員養成課程

●教科共通科目

小学校

国語A・B/社会/算数A・B/理科/生活/音楽/図画工作/体育/家庭

中学校

[中学校国語]	国語学概説A・B/国語表現法A・B/国文学概説A・B/国文学史A・B/漢文和訓/書道
[中学校社会]	日本史概説A・B/世界史A・B/地理学概説/地誌学/政治学/社会学/哲学概説/倫理学概説/宗教学概説
[中学校数学]	線形代数I・II/初等整数論/多次元の数学/微積分I・II/複素数の世界/様々な関数/確率・統計/統計の見方・考え方/コンピュータ
[中学校理科]	物理学概説A・B/物理学実験A・B/化学概説A・B/化学実験A・B/生物学概説A・B/生物学実験A・B/地学概説A・B/地学実験
[中学校音楽]	ソルフェージュ基礎論/声楽概論/合唱基礎演奏法/器楽概論/鍵盤楽器伴奏法/合奏法/邦楽演習/指揮法/音楽史概論/民族音楽学/音楽素材の理論
[中学校美術]	絵画演習/絵画素材演習/彫刻演習/彫刻素材演習/デザイン演習/デザイン素材演習/平面素材研究/工芸演習/工芸素材演習/立体素材研究 造形教育学特講/美術鑑賞演習/芸術教育基礎論/美術史概論
[中学校保健体育]	個人種目A/対人種目A/集団種目A/水泳I/体育学入門/スポーツ哲学入門/スポーツマネジメント/運動学入門/スポーツ解剖学/運動生理学/健康管理学/学校保健
[中学校技術]	材料利用学/材料利用実習/材料加工利用実習/機械工学基礎/機械工学実験実習/電気・電子一般/電気・電子実験実習/農業実習/情報技術/情報技術実習
[中学校家庭]	生活経営学/家族関係学/被服学/被服構成学実習/食物学/調理学実習I/住居学/住居設計製図/保育学概論/保育学演習
[中学校英語]	英語学概論/英語史概説/英文法/英米文学概説/英文学史A・B/米文学史A・B/CALL演習/英会話A・B/英作文A・B/英米文化

●教職共通科目

教育実習入門I・II/教育実習事前・事後指導/教育実習事前・事後指導[前]/教育実習(幼稚園)・(幼稚園)[前]・(幼稚園)[後]/教育実習A(小学校)・A(小学校)[前]・B(小学校)・B(小学校)[前]・B(小学校)[後]/教育実習A(中学校)・A(中学校)[前]・B(中学校)・B(中学校)[前]・B(中学校)[後]/教育実習H(へき地・小学校)/応用実習(小学校)応用実習(中学校)/教職実践演習(幼・小・中・高)

現代教職論A・B/教育学概説A・B/発達心理学/教育心理学/教育行政学A・B/教師のための社会教育特講/教育方法概説/視聴覚教育/教育評価研究/教育の方法・技術
初等国語科教育法A・B/初等社会科教育法/初等算数科教育法A・B/初等理科教育法/初等生活科教育法/初等音楽科教育法/初等図画工作科教育法/初等体育科教育法
初等家庭科教育法/道徳教育論A・B/生活指導論A/教育実践研究論/生徒の理解と指導A・B/教育相談の心理学A・B/中等国語科教育法A・B・C/中等社会科教育法
社会・地歴科教育法/社会・公民科教育法/中等数学科教育法A・B・C/中等理科教育法A・B・C/中等音楽科教育法A・B・C/中等美術科教育法A・B・C
中等保健体育科教育法A・B・C/中等技術科教育法A・B・C/中等家庭科教育法A・B・C/中等英語科教育法A・B・C

●特別支援教育科目

特別支援教育総論/障害児教育の進歩/特別支援教育心理学I・II/特別支援教育医学I・II/特別支援教育臨床学I・II/障害児指導法I・II A・II B/特別支援教育実践研究
視覚障害児の教育/聴覚障害児の教育/特別支援教育実習

総合教育課程

●総合教育課程/課程基礎科目

総合教育基礎ゼミナール/イメージ文化論入門/環境と生物・人間/共生社会論/総合教育論(文化と環境)/身体文化論入門/環境変遷史
言語表現基礎演習I(独語・仏語・中国語・ハングル)/言語文化論入門/芸術文化論/現代社会論/食生活と環境/異文化間コミュニケーション/芸術人類学/地域文化事業論

●文化研究プログラム/専門基礎科目

文化研究基礎理論/東アジアの言語文化/音楽表現基礎論/身体文化基礎論/文化研究プレゼミナール/イメージ文化基礎論/言語表現演習(英語A・B)/ヨーロッパの諸言語
言語表現基礎演習II(独語A・B・仏語A・B・中国語A・B)/カルチュラルスタディーズ入門/外国語としての日本語

●文化研究プログラム/専門科目

文化研究総合演習I A・I B・II A・II B/物語文化論A・B/女と男の文化論A・B/アメリカ文化論/中国の言語と文化A・B/対照言語学(日本語とハングル)/比較思想
フランス語表現法/実用ドイツ語/現代文化論/ファッション文化論A・B/フランスの文化と社会/中国の思想/日本語の歴史/日本思想/実用フランス語/大衆文化論
生と死の文化論A・B/映像文化論A・B/ドイツの文化と社会A・B/日本語の文体・文章/現代思想/言語表現実践演習(フランス語A・B・ドイツ語A・B)/ドイツ語表現法
演劇文化論/音楽文化論/ヨーロッパ史研究A・B/ヨーロッパの文化と社会

● 専攻専門科目

■ 教育科学コース(例示)	
【教育学専攻】	学校臨床のフィールドワーク/生活指導実践論/学校外教育論/人権教育実践論/教育臨床実地研究/教育政策論/教育法学/社会教育概説Ⅰ・Ⅱ 人間形成論/教育学演習A~F/教育思想・教育哲学/小学校授業づくり実践論
【心理学専攻】	人間科学の動向/心理学研究法/人間理解の方法(実験法・観察法)/行動科学分析法/心理学統計法/人間理解の方法(検査法・面接法)/学習心理学研究 認知心理学研究/教育臨床心理学研究/行動計量学研究
【特別支援教育学専攻】	特別支援教育上級演習A~E/発達障害児の教育/特別支援教育コーディネーター総合課題研究/障害児のための芸術教育基礎論 児童発達支援特別演習Ⅰ~Ⅵ/応用実習(特別支援学校)
【教育実践学専攻】	教育実践学基礎演習/教育調査論/学校教育研究論/教師のためのICT活用/マルチメディア表現/デジタル教材研究/教育実践学演習A・B・C
■ 教科教育コース(例示)	
【国語専攻】	日本語の歴史A・B/日本語の音韻・文字/日本語の語彙・文法/日本近代文学/日本古典文学A・B/中国の文学と芸能A/国文学基礎講義Ⅰ・Ⅱ
【社会専攻】	日本家族史/戦争と平和の歴史学/埋蔵文化財論/近現代の世界史/歴史資料・文化遺産演習A・B/世界史研究入門A・B/社会地理学/近現代の世界史 都市形成論/自然地理学/環境社会学/現代社会論/比較思想/宗教思想/国際政治論/社会科教育実践研究
【数学専攻】	自然に現れる対称性/数世界の数構造/距離と位相/空間の幾何学構造A・B/複素数の関数/微分方程式/離散数学/応用代数学 自然界の基礎方程式Ⅰ
【理科専攻】	力学/量子論/環境物質の変化(物理化学Ⅰ)/無機環境物質(無機化学)/有機環境物質(有機化学Ⅰ)/無機物理化学演習A・B/化学外書講読演習 保全生物学/動物生態学/臨海実習/環境変遷史/地球環境と気象/天文学演習/理科実験実習(物理A・B、化学、生物、地学) 理科教育ゼミナール(物理・化学/植物生態学ゼミナール/動物生理学ゼミナール/動物生態学ゼミナール)
【音楽専攻】	バロック及び古典派の鍵盤音楽演奏法/ロマン派及び近代の鍵盤音楽演奏法A・B/初級・中級和声学/初級・中級対位法/声楽基礎歌唱法 西洋歌曲演奏法A・B/管楽器演奏法Ⅰ・Ⅱ/音楽学ゼミナールA・B/音楽教育学ゼミナールA・B/音楽教育学研究A・B
【美術専攻】	素描A・B/絵画技法研究/絵画制作A・B/彫刻技法研究/彫刻制作A・B/デザイン技法研究/デザイン制作A・B/工芸技法研究A・B/工芸制作A・B 比較美術史/美術史特講/デザイン・工芸理論/芸術教育学演習A・B
【保健体育専攻】	コンディショニング論/バイオメカニクス/コーチングのためのスポーツ心理学/体育史/トレーニング論/野外実習キャンプ/野外実習スキー 野外実習遠泳/スポーツ福祉論/集団種目B~E/個人種目C~E/対人種目B~C
【技術専攻】	計測と制御/回路とシステム/図学/応用材料利用実習/森林資源利用学/地域社会と教育/低投入持続農業技術/農学実験Ⅰ・Ⅱ/農林科学ゼミナールA・B
【家庭専攻】	生活工学/衣生活健康論/教師のための被服学/生活工芸/住まいの計画/消費生活論/グリーンコンシューマー実習/生活福祉論 家政教育演習Ⅰ・Ⅱ(被服学/住居学/家族関係学/保育学/食物学/家庭科教育/家庭科教育・調理学)/家政総合ゼミ
【英語専攻】	英米言語文化基礎演習A・B/英米言語文化演習A1~B2/英語科教育演習A1~B2/英語教育研究/教師のための英語A・B 英語プレゼンテーション/英語学演習A1~B2
■ 児童教育コース(例示)	
小学校カリキュラム構成論/幼稚園教育課程総論/幼児の理解と支援/児童教育基礎演習Ⅰ・Ⅱ/児童教育実践演習Ⅰ・Ⅱ/初等社会認識教育論/防災教育論/学びと遊び支援の心理学 初等英語教育論/初等キャリア教育論/小学校授業づくり実践論/保育内容(健康)/保育内容(人間関係)/保育内容(社会環境)/保育内容(自然環境)/保育内容(音楽・身体総合表現) 保育内容(造形表現)/保育内容(言葉)/幼児教育の方法と技術	

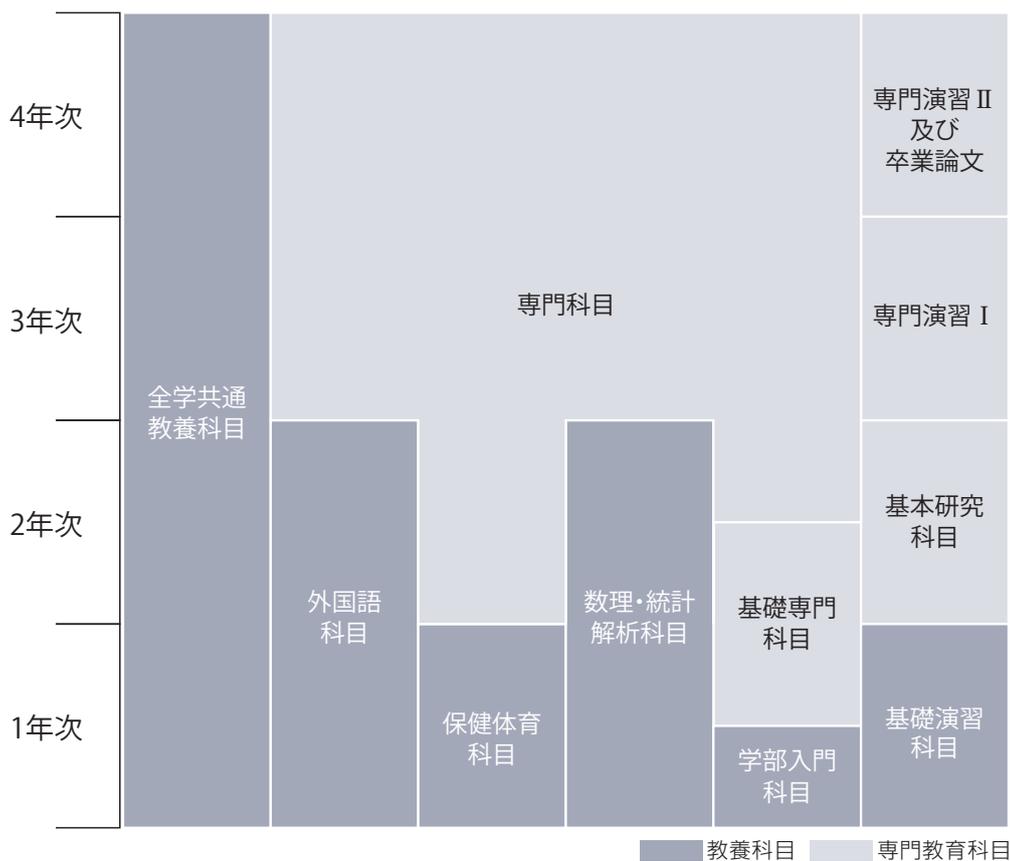
● 環境教育プログラム/専門基礎科目

総合環境基礎論/コミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ/環境教育入門演習/環境教育考察/環境教育総合演習/地域コミュニケーション論

● 環境教育プログラム/専門科目

【社会系】	地域環境論/文化財調査・保存実習/環境文化論演習A・B/環境と観光/環境と文学/人間と環境/地域環境論実習Ⅰ・Ⅱ/地理学野外実習/国際社会と環境問題 社会教育計画論/歴史環境論演習A・B/途上国の政治と環境問題/地域環境論演習A・B/国際関係論演習A・B/英米環境論演習A・B
【自然系】	保全生物学/地球環境科学実習A/和歌山の自然/地球環境の進化/地殻変動と地震/防災教育論/里山の保護と保全/堆積物による過去の環境の推定 環境生理学/バイオリテラシーⅠ・Ⅱ/環境教育演習(植物生態学/動物生理学/動物生態学/地質/古環境)
【生活・産業系】	衣服環境学実験/食品機能学/地域農学/衣服環境論/生活調査法/生活調査演習/住生活論/栽培環境学/食品栄養学実習/生活環境学演習 環境情報技術/環境教育演習(生活・産業/消費生活/材料利用/産業モデル/衣生活/生物生産/住生活/家族関係/食生活)

経済学部カリキュラム Curriculum / Faculty of Economics



● 教養科目

教養科目には、経済に限らない幅広い分野の教養を高める全学共通科目、外国語科目、保健体育科目と、本学部の専門教育科目を学ぶ前提として必要な基礎科目の、以下の4つが含まれます。

- ◎全学共通教養科目 ◎外国語科目 ◎保健体育科目 ◎基礎科目

本学部の専門教育科目を学ぶ前提として必要な科目で、以下の3つが含まれます。

○基礎演習科目

入学したばかりの1年生を対象とし大学の先生と身近に接する少人数編成のクラスです。「大学」での勉強に慣れてもらうことを目的として、図書館の利用の仕方や読み書き技術のトレーニングを行う基礎演習と、電子メールの送受信・電子ドキュメントの作成手法・インターネットを介した様々な情報へのアクセス手法などを学ぶ情報基礎演習とが含まれます。いずれの演習も4年間の勉強の総まとめとして4年生で仕上げる卒業論文を作成するための入り口になります。

○学部入門科目

「社会経済学入門」、「ミクロ・マクロ経済学入門」、「経営学」、「簿記原理」、「法律学概論」、「市場環境学概論」は学部入門科目と位置づけ、1年次前期に履修します。学部入門科目を学習することで、経済学部4年間で学ぶ内容の全体像を理解し、どの学科に所属するかを選択します。

○数理・統計解析科目

「経済数学(線形代数)」、「統計学Ⅰ」、「統計学Ⅱ」があります。これらの科目は経済学部の専門的な科目を学ぶにあたって必要な基礎学力を養うツール・方法論を学ぶ科目です。

● 専門教育科目

本学部では、学科ごとに専門的な勉強を体系的に進めていくため、さらに細かく以下のような3つの科目群に分類し、科目群ごとに履修モデルを示して、授業科目の関連を明確にしています。他方で、多様な知識・能力を身につけるため、所属する学科の専門教育科目だけでなく、他学科の専門教育科目も、自由かつ主体的に組み合わせて受講することができます。

経済学科	ビジネスマネジメント学科	市場環境学科
経済社会理論科目群	マネジメント科目群	流通システム科目群
政策科学科目群	会計科目群	経済環境科目群
応用社会分析科目群	情報科目群	法律科目群

◎基礎専門科目

各学科への所属が決まった直後の1年次後期から2年次前期にかけて、学科での本格的な専門教育科目を学んでいくための基礎・中核となる科目です。

○基礎専門科目

経済学科
経済史総論／市場経済論／ミクロ経済学／経済原論／経済政策総論／マクロ経済学／経済数学Ⅰ／経済統計学Ⅰ
ビジネスマネジメント学科
経営学総論Ⅰ／経営学総論Ⅱ／経営史／情報処理論／簿記処理論／工業簿記
市場環境学科
マネーの経済学／ワールドエコノミー／人権保障システム法総論／民法〔総則〕／グローバルエコノミクス／交通システム論／商法〔会社法Ⅰ〕／マーケティング論

◎基本研究科目

2年次生を対象とし、3・4年次の研究にスムーズに移行できるように準備するための科目です。授業は、少人数で行なわれ、専門分野への入り口へ導くことを目的とします。学問の特性や学生のニーズに応じるため、問題演習、フィールドワーク、基本文献研究、外国書講読など、多様な形式での双方向型の授業メニューが用意されています。

◎学科開設専門科目

○経済学科

経済社会理論科目群
経済思想史／現代経済論／国際経済学／ゲーム理論／経済学史／国際貿易論 など
政策科学科目群
食料経済／中心市街地活性化論／労働経済論／社会政策／経済地誌／国際関係論／政策統計解析／地域政策／都市産業論／労使関係論／労働史(戦後期) など
応用社会分析科目群
Foundations of Finance／金融論Ⅰ／財政学／地方財政論／財政政策各論／財政政策総論／ファイナンスⅠ／ファイナンスⅡ／金融論Ⅱ／Japanese Finance and Economy International Financial Markets／エコノメトリクスⅠ／エコノメトリクスⅡ／コーポレート・ファイナンス／国際経済史 など

○ビジネスマネジメント学科

マネジメント科目群
意思決定論／Project Management／企業倫理論／グローバル・マネジメント／経営行動／日本の・リーン生産システム論／日本の経営論／リーダーシップ論／ヒューマンサービスマネジメント ホスピタリティマネジメント／スポーツマネジメント／プロフェッショナル・スポーツマネジメント／企業戦略論／競争戦略論／経営管理論／人的資源管理論Ⅰ／中小企業論／比較経営論 など
会計科目群
会計学原理／管理会計論／財務会計論Ⅰ／商業簿記Ⅰ／商業簿記Ⅱ／原価計算論／国際会計論入門／財務諸表論／財務分析／連結会計論 など
情報科目群
応用プログラミング／経営データ解析／経営データベース／情報ネットワーク論／プログラミング基礎／基礎データ解析／データ分析とシミュレーション／経営情報システム など

○市場環境学科

流通システム科目群
広告実務論／国際物流論／自然エネルギー戦略／消費者心理学／地域産業論／マーケティング戦略論／流通システム論／ブランド論／国際金融論／マーケティング・リサーチ 外国為替論／交通政策／中山間地域再生論 など
経済環境科目群
開発経済学／経済情報処理／経済情報論／EU経済論／比較経済体制論／社会ネットワーク分析／グローバルツーリズム／きのくに地域学／地域経済論／東アジア経済発展論 日中関係史 など
法律科目群
行政作用法／行政紛争処理法／行政法総論／雇用関係法／租税法概論／人権保障システム法各論／所得税法／消費税法／法人税法／社会福祉関係法／金融商品取引法 雇用政策法／社会保障法総論／商法〔会社法Ⅲ〕／商法〔会社法Ⅳ〕／商法〔総則・商行為〕／租税法実務／地方自治関係法／民法〔親族・相続〕／民法〔物権〕 など

◎学科共通専門科目

英語ワークショップ／キャリア・デザイン／クリティカルリーディング(英語)／時事英語／社会人基礎力／経済学部自主演習／資本市場の役割と証券投資 国際コミュニケーション論(中国語)Ⅰ／国際コミュニケーション論(中国語)Ⅱ／インターンシップ事前指導／夏季インターンシップと事後指導 現代経営実践論－企業・職種研究－／現代社会実践論－キャリアと公務－／EC地域調査演習
--

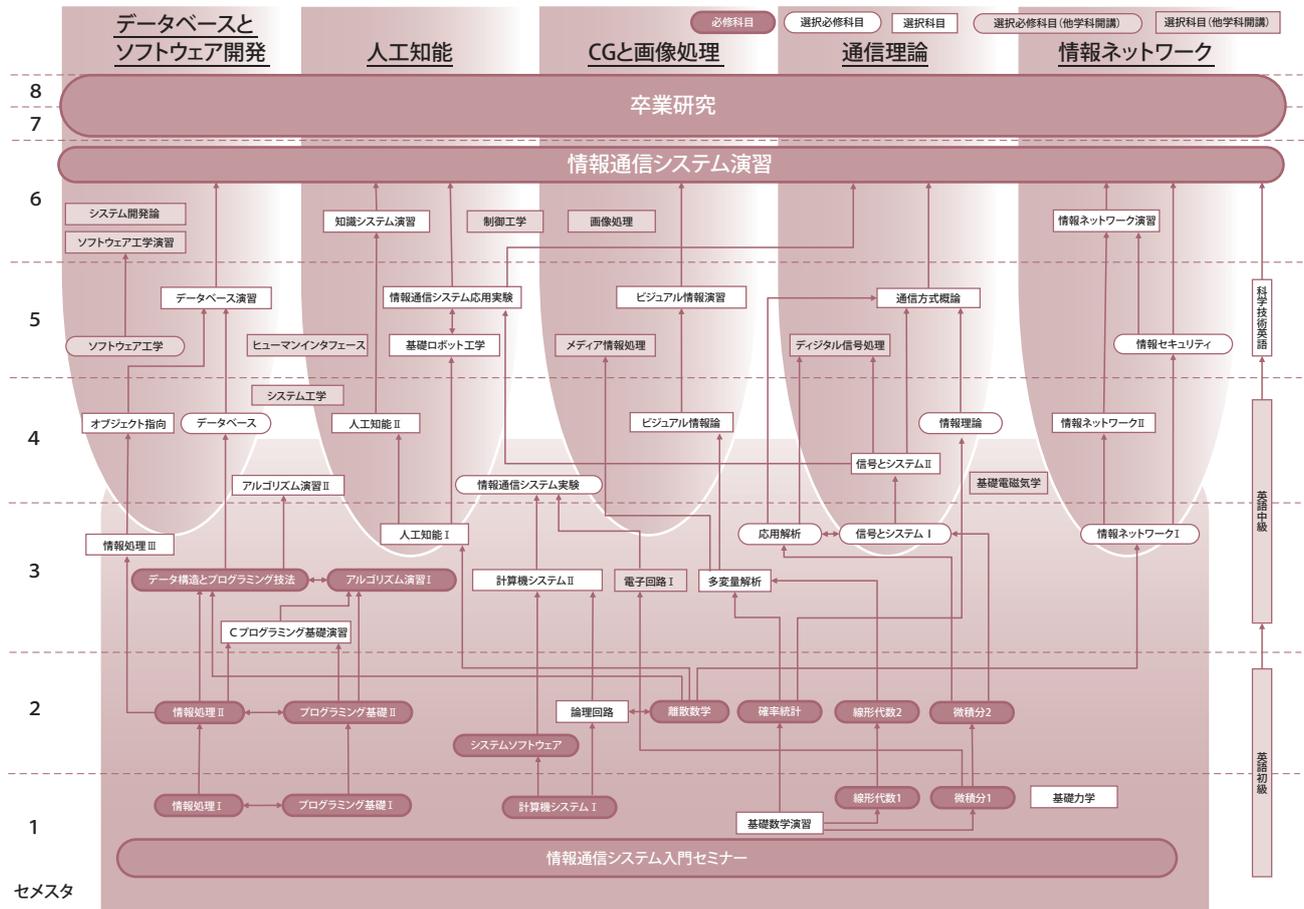
◎専門演習と卒業論文

3年次、4年次と2年間連続で履修し、それぞれが興味のある分野について、より深い勉強をしていきます。指導教員のもと、10名以内の少人数で専門分野に関する学習、研究、討論などを行い、また、卒業論文の作成も専門演習がベースになります。ゼミを単位にした行事も多く、ゼミは大学生活の中心的存在のひとつです。

システム工学部カリキュラム Curriculum / Faculty of Systems Engineering

○情報通信学科 Department of Computer and Communication Sciences

カリキュラム



●専門教育科目

区分	履修年次等		履修科目群	卒業必要単位
	履修セメスタ	年次		
専門科目	1	1年次	★情報処理I ★微積分1 ★線形代数1 ★情報通信システム入門セミナー ★プログラミング基礎I ★計算機システムI 基礎力学 基礎数学演習	80
	2		★情報処理II ★確率統計 ★微積分1 ★微積分2 ★線形代数1 ★線形代数2 ★プログラミング基礎II ★離散数学 ★システムソフトウェア 論理回路	
	3	2年次	★データ構造とプログラミング技法 ★アルゴリズム演習I ☆応用解析 ☆情報ネットワークI ☆信号とシステムI 情報処理III 多変量解析 人工知能I 電子回路I Cプログラミング基礎演習 計算機システムII	
	4		☆情報通信システム実験 ☆データベース ☆情報理論 基礎電磁気学 システム工学 ビジュアル情報論 信号とシステムII 情報ネットワークII アルゴリズム演習II 人工知能II オブジェクト指向	
	5	3年次	☆情報通信システム実験 ☆情報セキュリティ ☆ソフトウェア工学 デジタル信号処理 ヒューマンインタフェース メディア情報処理 通信方式概論 ビジュアル情報演習 データベース演習 科学技術英語 基礎ロボット工学	
	6		★情報通信システム演習 制御工学 情報通信システム応用実験 知識システム演習 画像処理 システム開発論 情報ネットワーク演習 ソフトウェア工学演習	

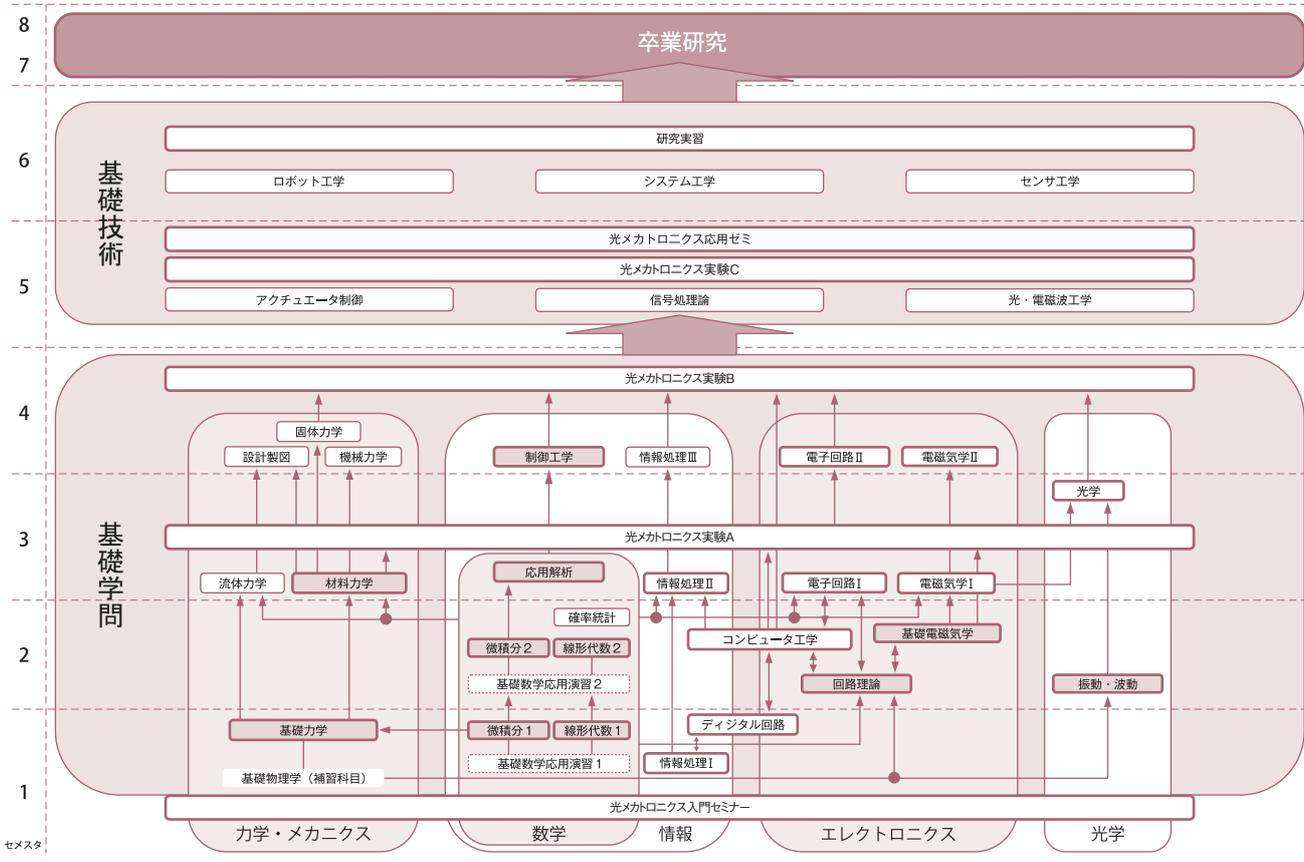
★：必修科目 ☆：選択必修科目 無印：選択科目

「情報通信システム演習」履修条件

○履修者は学部3年次後期開始時に決定する。本科目を履修するためには、3年次前期終了時点で、80単位以上を取得していることが必要である。

カリキュラム

演習付き必修科目 選択必修科目
 必修科目 選択科目



●専門教育科目

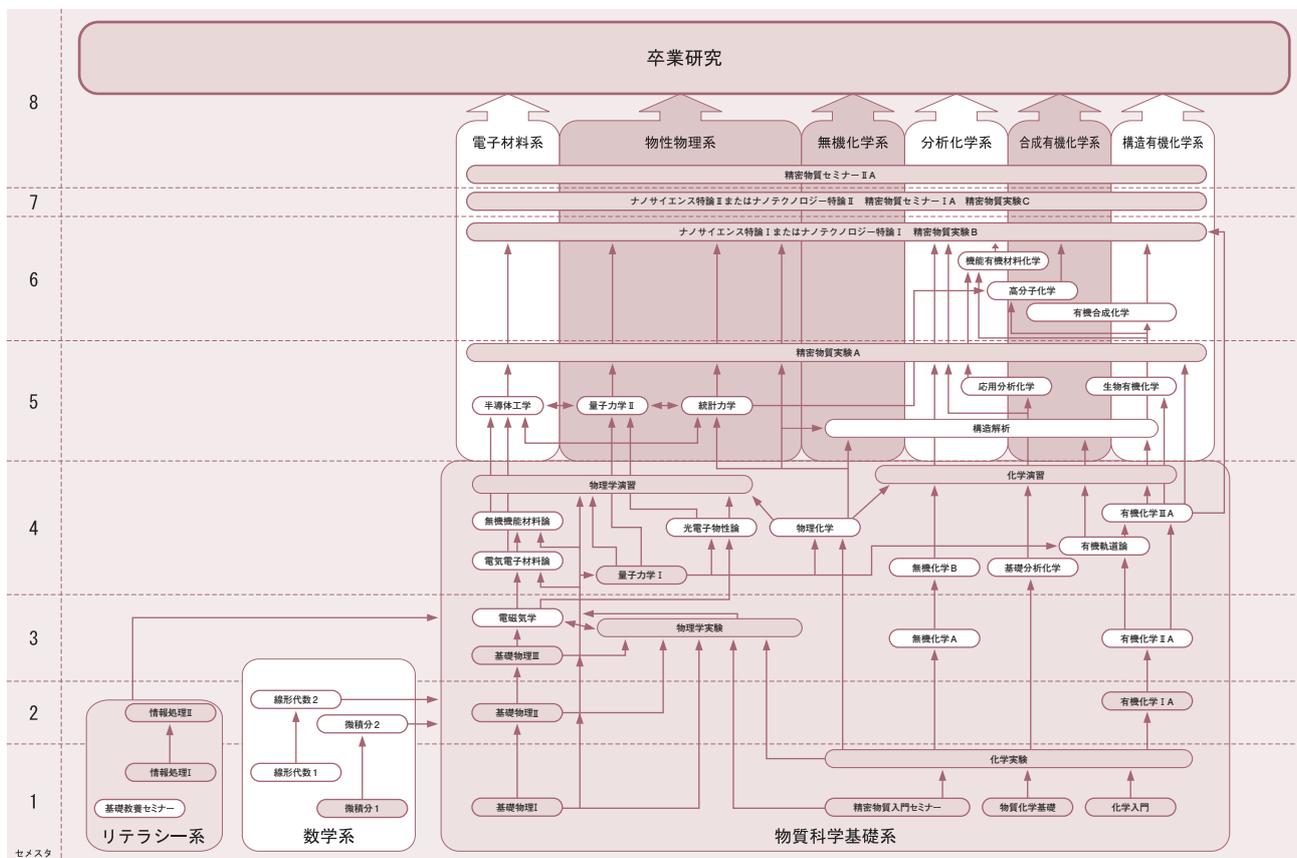
区分	履修年次等		履修科目群	卒業必要単位	
	履修セメスタ	年次			
専門科目	1	1年次	★情報処理I ★基礎力学 ★微積分1 ★線形代数1 ★光メカトロニクス入門セミナー ★デジタル回路 基礎数学応用演習1 基礎力学応用演習	83	
	2		★基礎電磁気学 ★微積分1 ★微積分2 ★線形代数1 ★線形代数2 ★振動・波動 ★回路理論 ★コンピュータ工学 ☆確率統計 基礎有機化学 基礎数学応用演習2 回路理論応用演習 基礎電磁気学応用演習 振動・波動応用演習		
	3	2年次	★情報処理II ★応用解析 ★電磁気学I ★材料力学 ★電子回路I ★光メカトロニクス実験A ☆流体力学 材料力学応用演習 応用解析応用演習		
	4		★光学 ★制御工学 ★電磁気学II ★電子回路II ★光メカトロニクス実験B ☆情報処理III ☆設計製図 ☆機械力学 ☆固体力学 基礎無機化学 制御工学応用演習		
		5	3年次		★光メカトロニクス実験C ★光メカトロニクス応用ゼミ ☆アクチュエータ制御 ☆信号処理論 ☆光・電磁波工学 通信方式概論 人工知能I
		6			★研究実習 ☆センサ工学 ☆システム工学 ☆ロボット工学 人間工学
科補習	1	1年次	基礎物理学		

★…必修科目 ☆…選択必修科目 無印…選択科目
 ☆選択必修に指定された12科目のうちから16単位以上取得することが必須である。

○精密物質学科 Department of Material Science and Chemistry

カリキュラム

選択科目
必修科目・選択必修科目



●専門教育科目

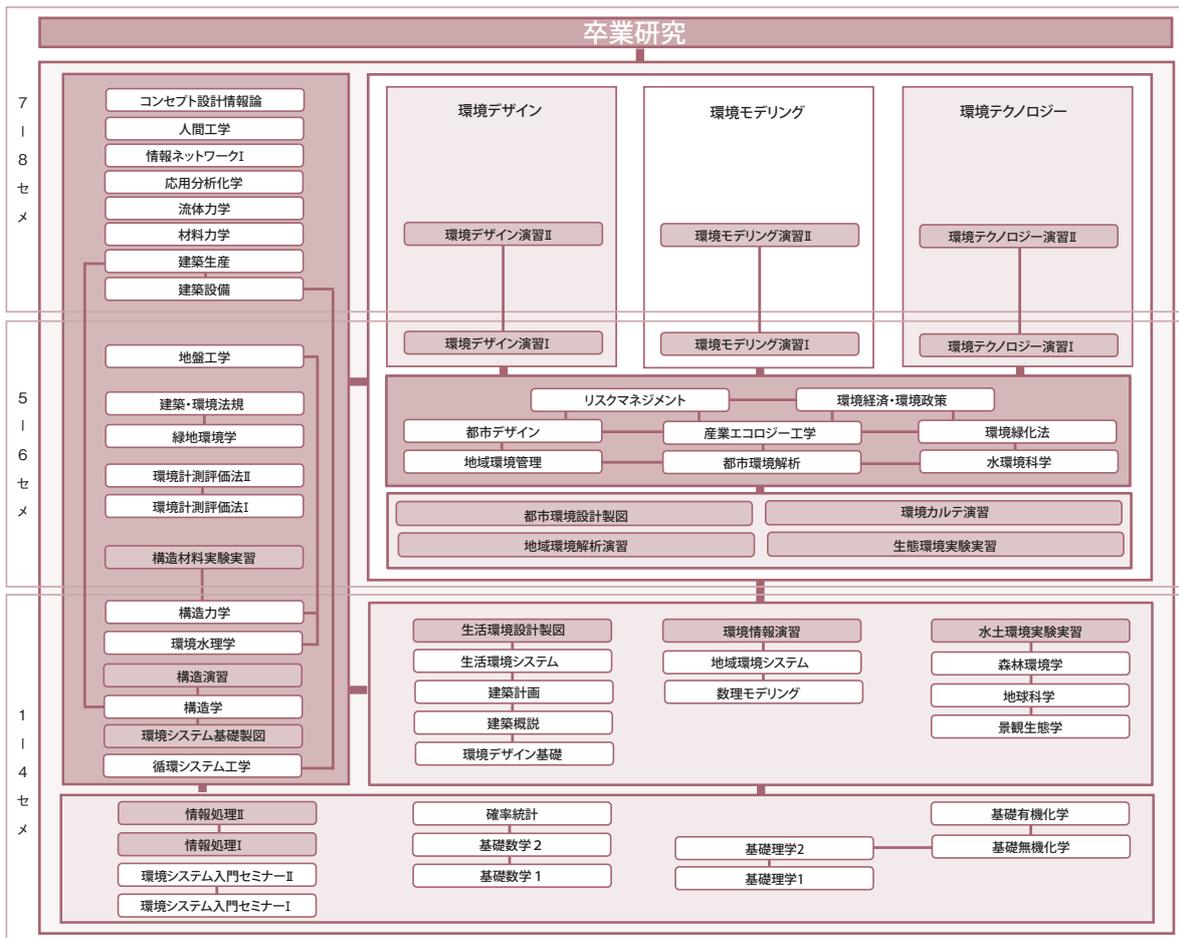
履修年次等		履修科目群	卒業必要 単位
履修セメスタ	年次		
1	1年次	★微積分1 ★物理化学基礎 ★情報処理I ★化学入門 ★精密物質入門セミナー ★化学実験 ★基礎物理I 線形代数1	80
2	2年次	★有機化学I A ★情報処理II ★基礎物理II 微積分2 線形代数2	
3	2年次	★物理学実験 ★基礎物理III 無機化学A 有機化学II A 電磁気学	
4	2年次	★量子力学I ★化学演習 ★物理学演習 物理化学 無機化学B 有機化学III A 基礎分析化学 電気電子材料論 有機軌道論 光電子物性論 無機機能材料論	
5	3年次	★精密物質実験A 量子力学II 統計力学 半導体工学 構造解析 応用分析化学 生物有機化学	
6	3年次	★精密物質実験B ☆ナノサイエンス特論I ☆ナノテクノロジー特論I 機能有機材料化学 有機合成化学 高分子化学	
7	4年次	★精密物質セミナーI A ★精密物質実験C ☆ナノサイエンス特論II ☆ナノテクノロジー特論II	
8	4年次	★精密物質セミナーII A	

★…必修科目 ☆…選択必修科目 無印…選択科目

☆選択必修に指定された科目の履修

グループ	科目	卒業要件
A群	ナノサイエンス特論I ナノテクノロジー特論I	いずれか1科目
B群	ナノサイエンス特論II ナノテクノロジー特論II	いずれか1科目

カリキュラム



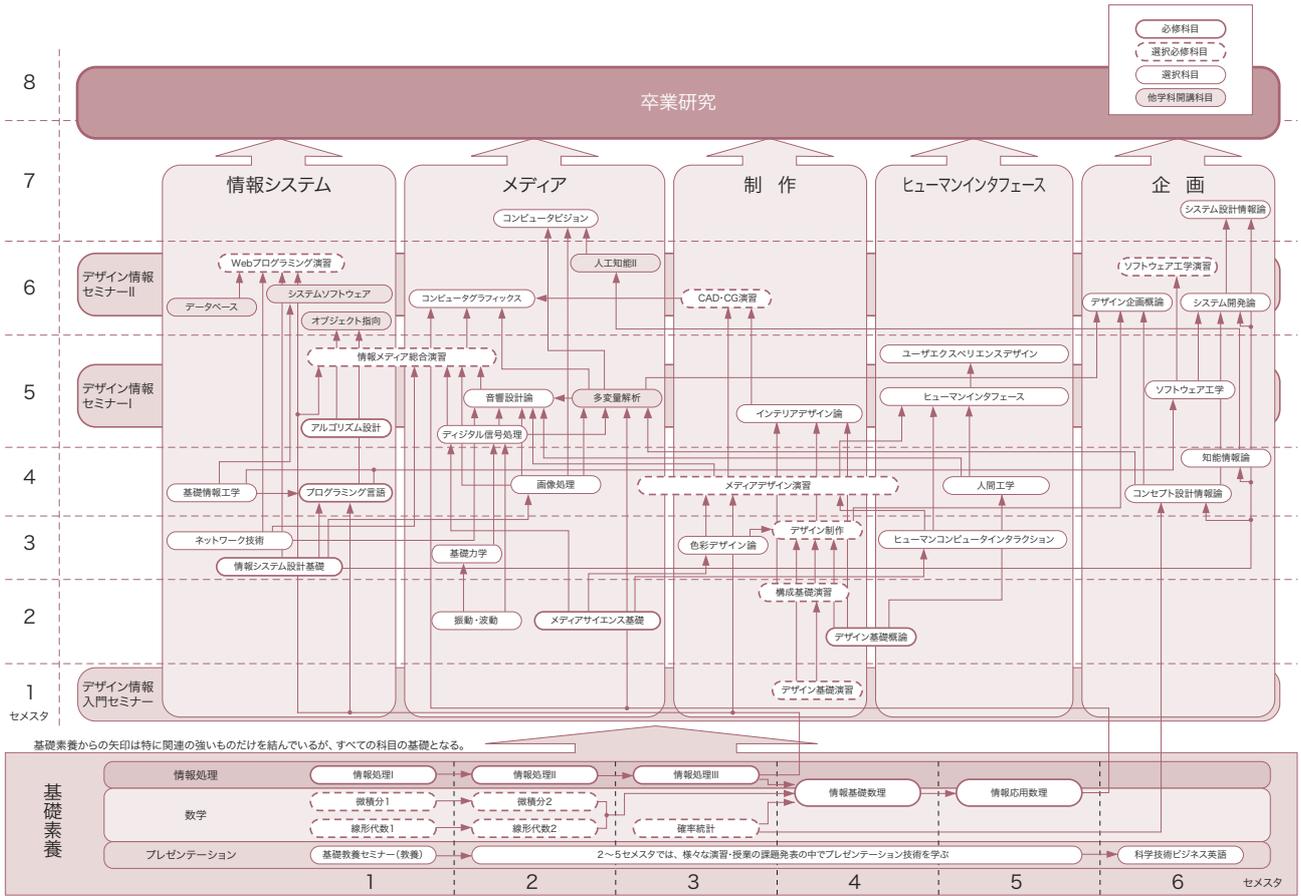
●専門教育科目

区分	履修年次等		履修科目群	卒業必要単位
	履修セメスタ	年次		
専門科目	1	1年次	★情報処理Ⅰ ★基礎理学Ⅰ ★基礎数学Ⅰ ★環境システム入門セミナーⅠ	76
	2		★情報処理Ⅱ ★基礎理学Ⅱ ★基礎数学Ⅱ 基礎無機化学 環境システム入門セミナーⅡ	
	3	2年次	★確率統計 ★建築概説 ★環境システム基礎製図 ★構造力学 ☆水土環境実験実習 地球科学 環境デザイン基礎 景観生態学 数理モデリング	
	4		★環境水理学 ☆環境情報演習 ☆生活環境設計製図 基礎有機化学 建築計画 森林環境学 生活環境システム 地域環境システム 循環システム工学 構造学 構造演習	
	5	3年次	★緑地環境学 ☆環境カルテ演習 ☆生態環境実験実習 ☆地域環境解析演習 ☆都市環境設計製図 環境計測評価Ⅰ 地域環境管理 水環境科学 産業エコロジー工学	
	6		★構造材料実験実習 環境計測評価Ⅱ 環境緑化法 地盤工学 建築・環境法規 都市環境解析 リスクマネジメント 都市デザイン 環境テクノロジー演習Ⅰ 環境モデリング演習Ⅰ 環境デザイン演習Ⅰ 環境経済・環境政策	
	7	4年次	流体力学 材料力学 情報ネットワークⅠ 環境テクノロジー演習Ⅱ 環境モデリング演習Ⅱ 環境デザイン演習Ⅱ 建築設備 建築生産 応用分析化学	
	8		人間工学 コンセプト設計情報論	
研卒業	4年次	★卒業研究		

★…必修科目 ☆…選択必修科目 無印…選択科目
☆選択必修に指定された7科目のうちから6単位以上取得することが必須である。

○デザイン情報学科 Department of Design and Information Sciences

カリキュラム



●専門教育科目

履修年次等		履修科目群	卒業必要 単位
履修セメスタ	年次		
1	1年次	★情報処理I ★デザイン情報入門セミナー ☆微積分1 ☆線形代数1 ☆デザイン基礎演習	80
2		★情報処理II ★デザイン基礎概論 ★メディアサイエンス基礎 ☆微積分2 ☆線形代数2 ☆構成基礎演習 振動・波動	
3	2年次	★情報処理III ★情報システム設計基礎 ☆確率統計 ☆デザイン制作 基礎力学 色彩デザイン論 ネットワーク技術 ヒューマンコンピュータインタラクション	
4		★情報基礎数理 ★プログラミング言語 ☆メディアデザイン演習 人間工学 コンセプト設計情報論 基礎情報工学 画像処理 知能情報論	
5	3年次	★アルゴリズム設計 ★情報応用数理 ★デザイン情報セミナーI ☆情報メディア総合演習 ヒューマンインタフェース インテリアデザイン論 ユーザエクスペリエンスデザイン ソフトウェア工学 多変量解析 デジタル信号処理 音響設計論	
6		★デザイン情報セミナーII ☆Webプログラミング演習 ☆ソフトウェア工学演習 コンピュータグラフィックス 科学技術ビジネス英語 システム開発論 デザイン企画概論 人工知能II データベース システムソフトウェア ☆CAD-CG演習 オブジェクト指向	
7	4年次	システム設計情報論 コンピュータビジョン	

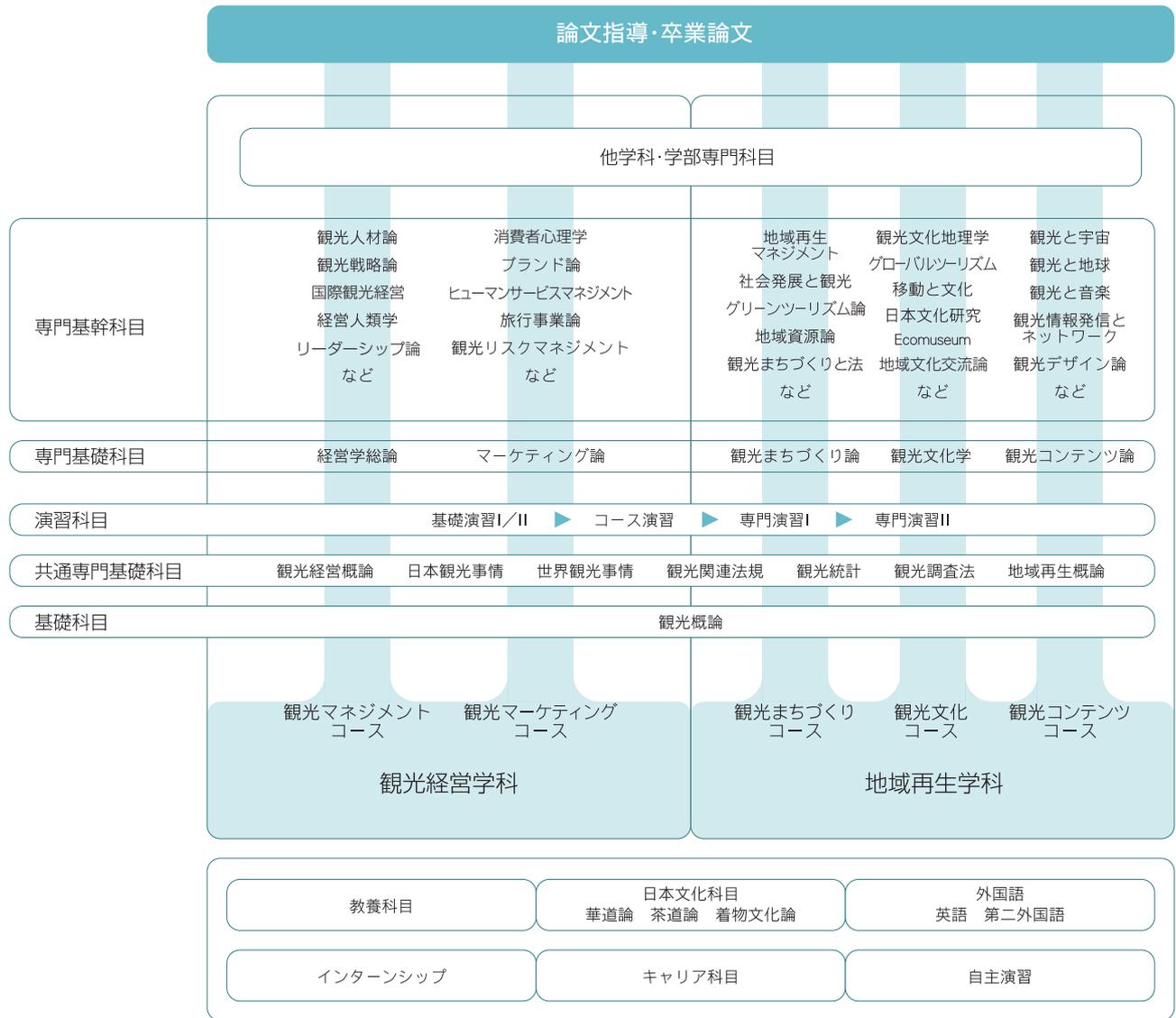
★…必修科目 ☆…選択必修科目 無印…選択科目

☆選択必修に指定された科目の履修

グループ	科目	卒業要件
A群	微積分1 線形代数1 微積分2 線形代数2 確率統計	4科目以上
B群	デザイン基礎演習 構成基礎演習 デザイン制作 メディアデザイン演習 情報メディア総合演習 Webプログラミング演習 CAD-CG演習 ソフトウェア工学演習	6単位以上



■観光学部カリキュラム Curriculum / Faculty of Tourism



●コース専門科目

●観光経営学科	
観光マネジメントコース	観光人材論/観光地マネジメント論/観光戦略論/リーダーシップ論/意思決定論/経営人類学/国際観光経営 観光行動論/企業税務/アカウントティング/航空産業論/宿泊産業概論/外国語文献講読 他
観光マーケティングコース	消費者心理学/ブランド論/ホスピタリティマネジメント/ヒューマンサービスマネジメント/観光と医療/旅行事業論 民法/観光リスクマネジメント/観光経済学/マーケティング・リサーチ/外国語文献講読 他
●地域再生学科	
観光まちづくりコース	地域再生マネジメント/アーバンツーリズム論/社会発展と観光/景観形成論/グリーンツーリズム論/中山間地域再生論 スローフード論/森林レクリエーション論/地域資源論/行政法/観光まちづくりと法/景観まちなみ保全論/外国語文献講読 他
観光文化コース	レジャー空間文化論/観光文化地理学/グローバルツーリズム/日本文化研究/移動と文化/Intercultural Communication Ecomuseum/Environmental Ethics/Pilgrimage/地域文化交流論/外国語文献講読 他
観光コンテンツコース	観光と宇宙/ミュージアムマネジメント/ビジュアルコミュニケーション/観光と地球/科学コミュニケーション論 観光のための数的推理/観光デザイン論/観光グラフィックデザイン/地域観光情報論/観光情報発信とネットワーク 観光と音楽/音楽プロデュースによる地域再生/外国語文献講読 他

人材育成モデル

観光エグゼクティブ

新たな観光ビジネスを斬新な構想のもとに企画し、その実現をプロデュースできる人材。具体的には、観光の諸問題、宿泊、移動（輸送）、物産、観光地管理、広報、マーケティング等をマネジメントできる多様な能力を有し、観光事業等の諸分野のリーダーとなるコア的人材を育成します。

観光・地域プランナー

行政（公務員）、観光産業、各種団体やNPOにおいて 観光資源の開発および現資源の再構築等をはかり、観光行政、観光事業の発展を担う人材。地域再生を企画・実行できる人材として地域に密着し、地域の現況を理解し、地域資源の開発に資する能力を兼備した人材を育成します。

●ひろがる進路の可能性

旅行関連産業	旅行会社スタッフ/ツアー・コンダクター/ホテルスタッフ/運輸関連会社スタッフ/キャビンアテンダント/グランドスタッフ/通訳者 観光関連施設スタッフ/フード・サービススタッフ/観光関連プランナー/観光企業経営者・役員
国際機関・企業	国際機関スタッフ/NGO・NPOスタッフ/企業の国際交流スタッフ/ホテルスタッフ/観光コンサルタント/観光ジャーナリスト
ベンチャー企業の創設	観光実務や地域マネジメントを具体的な事例に基づいて学ぶケーススタディや、観光の新たな取り組みについて実践的に学ぶフィールドワークなど、本学科での学びを通じて起業家に求められる実践力を培います。
行政や地域づくり団体など	国家公務員/地方公務員/観光協会スタッフ/NPOスタッフ/観光振興のコンサルタント・プログラム開発者/研究者

特色あるカリキュラム

●日本文化を学ぶカリキュラム●

日本文化への理解を深め、「日本」を伝える力を養成。

毎年、多くの外国人観光客が日本を訪れています。観光学部では、こうした観光客に日本文化を伝えていくため、高度な外国語運用能力とともに日本文化に関する幅広い教養を身につけるカリキュラムを設定。日本の伝統文化の代表格である茶道、華道、着物文化などについてそれぞれの分野の専門家が授業を行います。外国人への文化紹介を想定し、英語を交えた授業も展開。高度なコミュニケーション能力を培います。



●総合英語プログラム (IEP) ●

英語を総合的、多角的に学習。

語学としての英語、英語で開講される科目、英文専門書の講読など、英語を、そして広く英語で学習します。時事英語、ツーリズム・イングリッシュ、リーディング、ライティング、プレゼンテーションで、英語をブラッシュアップし、英語で、観光、環境、地域再生、経済、経営などの専門分野を学びます。グローバルに活躍するツールとしての英語力を目指します。

●幅広い教養教育●

リベラルアーツを重視した、教養教育を展開。

観光学部では、観光という「人と人のふれあい」が必須となる産業分野で活躍する人材を育成するために、リベラルアーツを重視した教養教育を展開します。文理総合の国立大学ならではの幅広い教養科目を用意しています。

●高度なIT教育●

観光分野に求められる高度なITスキルを培う。

観光分野において、顧客が求める情報の量・質・スピードはより高度なものになっています。そこで観光学部では情報処理能力の習得を最重要課題のひとつと位置づけ、システム工学部を中心とするこれまでの教育・研究実績に基づくIT教育を実施しています。

●インターンシップ・実習●

全学生が国内外でのインターンシップを体験。

観光系企業や自治体などのインターンシップは、重要なキャリア形成の場であり、観光を担うリーダーを育む上で欠かせないものです。本学部では、国内、海外および、短期、中期のいずれかのインターンシップを全学生が体験することを推奨し、多様なプログラムを設けています。

6 卒業・修了評価基準

学修の成果にかかる評価及び卒業または修了の認定に当たっての基準に関すること

■各学部の単位認定・成績評価基準

	単位認定	成績評価
教育学部 Faculty of Education	試験及び平素の学習成績の考査による。ただし、担当教員が特に認めた場合には、試験又は平素の学習成績の考査のいずれかによることができる。（教育学部規則 第8条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、「優」「良」「可」の評価区分が困難な科目で別に定めるものについては、「合」の評価を示し単位認定をすることができる。 (1) 優 (80点以上) 合格 (2) 良 (70点以上) 合格 (3) 可 (60点以上) 合格 (4) (60点未満) 不合格 (教育学部規則 第11条)
経済学部 Faculty of Economics	授業科目の単位は、試験又は授業中の評価等によって認定する。（経済学部規則 第10条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、評価をすることが困難な科目については、評価を「合」と表示し、単位を認定することができる。 (1) 80点以上 A 合格 (2) 70点以上 B 合格 (3) 60点以上 C 合格 (4) 60点未満 不合格 (経済学部規則 第11条)
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	一の授業科目を履修した学生に対し、当該授業科目の担当教員が試験の上、単位を与えるものとする。（システム工学部規則 第9条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。 (1) 80点以上 優 合格 (2) 70点以上 良 合格 (3) 60点以上 可 合格 (4) 60点未満 不合格 卒業研究の授業科目については、合格・不合格をもつて評価する。 (システム工学部規則 第10条)
観光学部 Faculty of Tourism	授業科目の単位は、試験又は授業中の評価等によって認定する。（観光学部規則 第9条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、評価をすることが困難な科目については、評価を「合」と表示し、単位を認定することができる。 (1) 90点以上 A+ 合格 (2) 80点以上 A 合格 (3) 70点以上 B 合格 (4) 60点以上 C 合格 (5) 60点未満 F 不合格 (観光学部規則 第10条)

■大学院各研究科の単位認定・成績評価基準

	単位認定	成績評価
教育学研究科 Graduate School of Education	各授業科目の単位の認定は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が行う。（大学院教育学研究科規則 第10条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。 (1) 優 (80点以上) 合格 (2) 良 (70点以上) 合格 (3) 可 (60点以上) 合格 (4) 不可 (60点未満) 不合格 (大学院教育学研究科規則 第13条)
経済学研究科 Graduate School of Economics	履修した各授業科目の合否は、試験又は研究報告等によって認定する。（大学院経済学研究科規則 第8条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、評価をすることが困難な科目については、評価を「合」と表示し、単位を認定することができる。 (1) 80点以上 A 合格 (2) 70点以上 B 合格 (3) 60点以上 C 合格 (4) 60点未満 不合格 合格した授業科目については、所定の単位を与える。（大学院経済学研究科規則 第9条）
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	授業科目の単位の認定は、試験又は研究報告等により、各授業科目担当教員が行う。（大学院システム工学研究科規則 第8条）	履修した授業科目の成績は、優・良・可・不可の評語で表し、優・良・可を合格、不可は不合格とする。（大学院システム工学研究科規則 第9条）
観光学研究科 Graduate School of Tourism	履修した各授業科目の合否は、試験又は研究報告等によって認定する。（大学院観光学研究科規則 第13条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、評価をすることが困難な科目については、評価を「合」と表示し、単位を認定することができる。 (1) 90点以上 A+ 合格 (2) 80点以上 A 合格 (3) 70点以上 B 合格 (4) 60点以上 C 合格 (5) 60点未満 不合格 (大学院観光学研究科規則 第14条)

■各学部の卒業要件・判定基準

	卒業要件・卒業判定
教育学部 Faculty of Education	各課程及びコースにおける履修方法並びに卒業に要する最低履修単位数は、別表第1のとおりとする。(教育学部規則 第6条) <別表1> http://www.wakayama-u.ac.jp/file/credit_edu.pdf <最低履修単位数>132単位
経済学部 Faculty of Economics	学生は、卒業するためには、学則第33条の規定に基づき4年以上在学し、学部教務細則に定める履修方法により、124単位以上を修得しなければならない。 第3年次に編入学した学生は、卒業するためには、学則第33条の規定に基づき2年以上在学し、学部教務細則に定める履修方法により、84単位以上を修得しなければならない。(経済学部規則 第7条) 卒業の判定は、教授会の議を経て、学長が認定する。(経済学部規則 第12条)
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	学生は、別に定める履修方法により、次に定める以上の単位を修得しなければならない。 情報通信システム学科 132単位 光メカトロニクス学科 128単位 精密物質学科 128単位 環境システム学科 128単位 デザイン情報学科 132単位 編入学等を許可された者の履修方法等については、別に定める。(システム工学部規則 第7条) 学生が本学部に所定の年限以上在学し、各学科所定の授業科目を履修し、所定の単位以上を修得した場合は、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。(システム工学部規則 第12条)
観光学部 Faculty of Tourism	学生は、卒業するためには、学則第33条の規定に基づき4年以上在学し、別に定める履修方法により、124単位以上を修得しなければならない。(観光学部規則 第7条) 卒業の判定は、教授会の議を経て学長が認定する。(観光学部規則 第11条)

■大学院各研究科の修了要件・認定基準

	修了要件・修了認定
教育学研究科 Graduate School of Education	学生は、指導教員の指導のもとに、別表に定める各専攻別の履修方法により30単位以上を修得しなければならない。(大学院教育学研究科規則 第6条) 最終試験は、所定の単位を修得し、かつ、修士論文を提出した者につき、当該修士論文を中心として筆記又は口述により行う。(大学院教育学研究科規則 第15条) 課程修了の認定は、研究科会議が行う。(大学院教育学研究科規則 第16条)
経済学研究科 Graduate School of Economics	学生は、研究科修士課程(以下「課程」という。)を修了するためには、学則第56条に規定された標準修業年限以上在学し、研究科教務細則に定める履修方法により、30単位以上を修得しなければならない。(大学院経済学研究科規則 第6条) 学位規程第8条及び第9条に基づいて行われる修士論文の審査及び最終試験に関する事項は、研究科教務細則に定める。(大学院経済学研究科規則 第11条) 課程修了の認定は、研究科会議の議を経て研究科長が認定する。(大学院経済学研究科規則 第12条)
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	学生は、指導教員の指示によって授業科目を履修し、必要な研究指導を受けるものとする。 博士前期課程においては、授業科目を30単位以上履修しなければならない。 博士後期課程においては、授業科目を10単位履修しなければならない。(大学院システム工学研究科規則 第5条) 課程修了の認定は、研究科会議の議を経て研究科長が行う。(大学院システム工学研究科規則 第11条)
観光学研究科 Graduate School of Tourism	学生は、授業科目を履修し、必要な研究指導を受けるものとする。 博士前期課程においては、研究科会議が別に定める履修方法により授業科目を30単位以上修得しなければならない。 博士後期課程においては、研究科会議が別に定める履修方法により授業科目を14単位修得しなければならない。(大学院観光学研究科規則第7条) 課程修了の認定は、研究科会議の議を経て研究科長が行う。(大学院観光学研究科規則 第17条)

7 キャンパス・教育研究施設

校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

■ キャンパスマップ Campus Map

○ 栄谷団地 Sakaedani Campus

- 1 本部共通棟
(事務局・保健センター)
University Administration Building
(Administration Office, Health Support Center)
- 2 経済学部南棟
Faculty of Economics South Building
- 3 経済学部講義棟
Faculty of Economics Classroom Building
- 4 経済学部本館
Faculty of Economics Main Building
- 5 観光学部棟
Faculty of Tourism Building
- 6 附属図書館・「教養の森」センター
学生センター・紀州経済史文化史研究所
(Café Pitter-Patter)
University Library, Center for Human Enrichment, Student Center
Institute of Kisyu Economic and Cultural History
- 7 システム情報学センター
Center for Information Science
- 8 ふれあい会館(GENKI食堂・フルール)
Fureai Hall
- 9 システム工学部A棟
Faculty of Systems Engineering A Building
- 10 総合研究棟・協働教育センター(クリエ)・
宇宙教育研究所
Integrated Research Building,
Center for Collaborative Learning and Teaching,
Institute for Education on Space
- 11 システム工学部B棟
Faculty of Systems Engineering B Building
- 12 産学連携・研究支援センター
防災研究教育センター
Center for Joint Research and Development Building,
Center for Research and Education of Disaster Reduction
- 13 教育学部音・美・技棟
Faculty of Education Music, Art, Performance Building
- 14 附属教育実践総合センター
Center for Education Research and Training Building
- 15 教育学部本館
Faculty of Education Main Building
- 16 教育学部講義棟
Faculty of Education Classroom Building
- 17 基礎教育棟・国際教育研究センター
(講義室・キャリアセンター)
General Education Building,
Center for International Education and Research
- 18 大学会館
(第一食堂・第二食堂(レストラン)・焼きたてパン工房・売店・ATM)
University Hall
- 19 栄谷会館
Sakaedani Hall
- 20 小運動場
Small Playing Ground
- 21 球技コート
Courts
- 22 弓道場
Archery Range
- 23 サークル棟
Extra-Curricular Activities Building
- 24 テニスコート
Tennis Courts
- 25 体育館(武道場)
Gymnasium(Martial Arts Hall)
- 26 野球場(多目的グラウンド)
Multi-Purpose Ground
- 27 サークル棟
Extra-Curricular Activities Building
- 28 実験農場
Laboratory Farm
- 29 電波観測通信施設
Facility of Radio Observation and Communication
- 30 陸上競技場
Athletic Field
- 31 サークル・合宿研修棟
Extra-Curricular Activities Building
- 32 プール
Swimming Pool
- 33 学生寮(男子)
Dormitories(Male)
- 34 学生寮(女子)
Dormitories(Female)

📍 AED(自動体外除細動器)設置場所

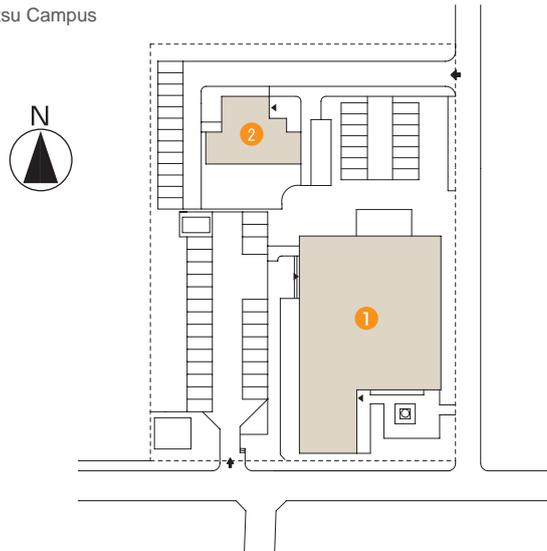
📶 ソフトバンク Wi-Fiスポット

- 附属図書館棟1F:PCコーナー・カフェ
- 附属図書館棟1F:学生センター前ロビー
- 大学会館:第一食堂



○西高松団地(松下会館、国際交流会館)

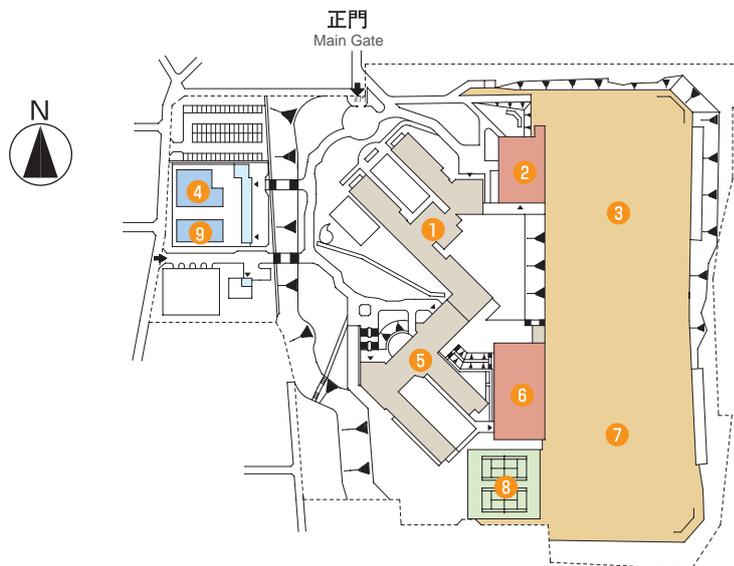
Nishitakamatsu Campus



1. 松下会館(地域連携・生涯学習センター)
Matsushita Memorial Hall
(Center for Community Cooperation and Lifelong Learning)
2. 国際交流会館
International House

○吹上団地(附属小学校・中学校)

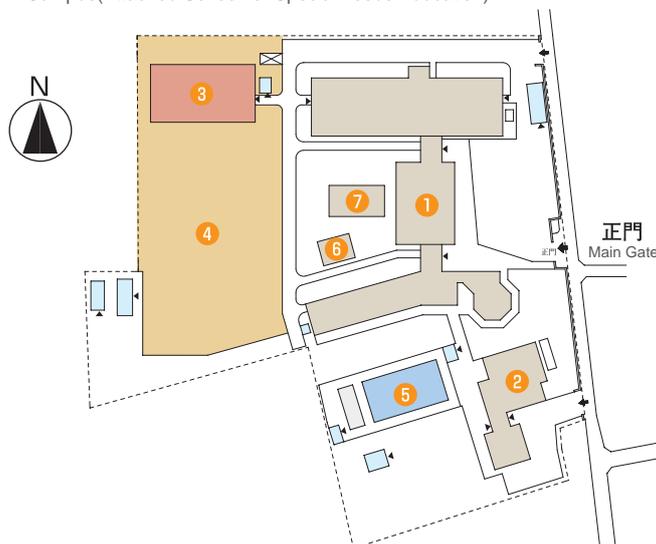
Fukiage Campus(Attached Primary School and Junior High School)



1. 附属小学校
Attached Primary School
2. 体育館(小学校)
Gymnasium(Primary School)
3. 運動場(小学校)
Playground(Primary School)
4. プール(小学校)
Swimming Pool(Primary School)
5. 附属中学校
Attached Junior High School
6. 体育館(中学校)
Gymnasium(Junior High School)
7. 運動場(中学校)
Playground(Junior High School)
8. テニスコート(中学校)
Tennis Courts(Junior High School)
9. プール(中学校)
Swimming Pool(Junior High School)

○西小二里団地(附属特別支援学校)

Nishikoniri Campus(Attached School for Special needs Education)



1. 附属特別支援学校
Attached School for Special needs Education
2. 日常生活学習棟
Living Skills Training House
3. 体育館
Gymnasium
4. 運動場
Playground
5. プール
Swimming Pool
6. 作業実習室
Job Practice Room
7. 金工・木工室
Metal and Wood Workshop

■学生支援施設

○学生寮

学生に勉学と生活の場を提供し、そこにおける共同生活を通じて、学生の自主性と社会性を養い社会人としての人間形成に寄与することを目的としています。学寮の管理運営については学生寮規則に従って行われますが、学生の関与する寮務は、寮委員会があたり、寮生の総意に基づいて、寮生親睦会・文化活動・スポーツ・保健衛生などを行っています。

○室数・収容人員

区分 Classification	室数 No. of Rooms	収容人員 Capacity
男子寮 Dormitory(Male)	120	120
女子寮 Dormitory(Female)	50	50

※費用については 56 ページに記載



○国際交流会館(留学生寮)

この会館は、本学と外国の大学等との教育、学術及び文化の交流の推進に寄与するため、外国人留学生及び外国人研究者の住居、その他国際交流に関する事業の用に供することを目的として設置されたものです。

- ・ 入居期間：原則として 1 年間
- ・ 設 備：ベッド、テーブル、机、ロッカー、靴箱、ミニキッチン、ユニットバストイレ、空調機、インターネット
- ・ 所 在 地：和歌山市西高松（和歌山市の中心付近）

※費用については 56 ページに記載



○室数・収容人員

室数 No. of Rooms	収容人員 Capacity
24	24

■体育施設

○屋内体育施設

体育館〔武道場〕 (柔道場、剣道場、卓球場、アリーナ) Gymnasium(Martial Arts Hall)	1
トレーニングルーム Training Room	1



○屋外体育施設

弓道場 Archery Range	1
テニスコート Tennis Courts	10 面
球技コート Courts	4 面
陸上競技場 Athletic Field	1
小運動場 Small Playing Ground	1
野球場 (多目的グラウンド) Multi-Purpose Ground	1
プール Swimming Pool	1

■課外活動施設

施設名	戸数等
課外活動施設Ⅰ Extra-Curricular Activities Building (Ⅰ)	31 (おもに部室 30 団体が利用)
課外活動施設Ⅱ Extra-Curricular Activities Building (Ⅱ)	9 (自治会室・部室等と合宿研修施設)
課外活動施設Ⅲ Extra-Curricular Activities Building (Ⅲ)	5 (文化系クラブ練習室)
課外活動施設Ⅳ Extra-Curricular Activities Building (Ⅳ)	3 (部室 3 団体が利用)
課外活動施設Ⅴ Extra-Curricular Activities Building (Ⅴ)	1 (部室 1 団体が利用)
大学会館2F University Hall 2F	8 (文化系クラブ練習室)
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching	3 (各プロジェクトが利用)

■学生団体

学生主組織協議会

- 学生自治会
- 新聞会
- 体育会
- 文化部連合会
- 大学祭実行委員会
- 生協学生委員会

体育系クラブ

- 陸上競技部
- 水泳部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- 硬式庭球部
- ソフトテニス部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 男子サッカー部

- 女子サッカー部
- ラグビー部
- 卓球部
- バドミントン部
- 男子ハンドボール部
- 女子ハンドボール部
- 柔道部
- 剣道部
- 弓道部
- 空手道部
- 男子合気道部

- 女子合気道部
- 少林寺拳法部
- 陸上ホッケー部
- 自動車部
- ヨット部
- サイクリング部
- アメリカンフットボール部
- 競技スキー部
- フライングディスク部

文化系クラブ

- ESS
- 会計学研究会
- 混声合唱団
- 交響楽団
- 吹奏楽団
- マンドリンクラブ

- 軽音楽部
- 流行音楽倶楽部
- 絵画部
- 文芸部
- STEP(知的障害児余暇活動支援)
- mycom

- こんばす(東洋思想研究)
- プラトホーム(不登校支援)
- 将棋部
- BOX(CG制作)
- 写真部
- 演劇部

- 邦楽部
- ESA
- 茶道部
- アカペラ・アンサンブル

サークル

- アドベンチャー(バレーボール)
- ライムライト(硬式テニス)
- ファインプレー(軟式野球)
- 硬式テニス同好会 オレンジ
- 女子バレーボールサークル ハッスル
- テニスサークル らけっと
- NEW JACK(ダンス)
- ブルードロップス(スキューバ)
- ラテンアメリカ研究会(グアテマラ支援)
- 老麺愛好会 ぱりあぶるこんでんさ

- すいすい(知的障害者余暇活動支援)
- ソフトボール同好会
- 坐禅サークル 清凜会
- プザービーター(バスケットボール)
- ねこねここねこ
- FC Nova(フットサル)
- マジシャンずサークル
- 和(バレーボール)
- JOY4(サッカー)
- ピース・メッセンジャー(社会情勢・歴史学習)

- アウトドアサークル 山田
- よさこいサークル「和歌乱」
- Free Style(バスケットボール)
- exdream(同人誌・ゲーム)
- 国際交流委員会 IEC
- バドミントンサークル うめっしゅ
- ダブルマリガン(カードゲーム)
- agrico.(農山村支援)
- 祭礼同好会 4183
- カヌー部

- Hustler(ビリヤード)
- アカペラサークル和音-kazune-
- Sound Energy(軽音楽)
- パタースコッチ 夜空を見上げる会
- フェンシングサークル
- ジャズ研究会 Uncle Jam
- 映像研究会 四畳半
- わ in the earth

■休息のとれる施設など

施設名		席数等
大学会館 University Hall	第一食堂	380席
	第二食堂 (レストラン)	100席
	焼きたてパン工房	35席
	生協購買店	—
	ラウンジ	40席
ふれあい会館 Fureai Hall	GENK I 食堂	150席
	フルール	60席
教育学部本館棟 Faculty of Education Main Building	学生ロビー	ソファー・テーブルセット
経済学部講義棟 Faculty of Economics Classroom Building	ラウンジ	ソファー・テーブルセット
システム工学部A棟 Faculty of Systems Engineering A Building	リフレッシュラウンジ (3～8階)	240席
システム工学部B棟 Faculty of Systems Engineering B Building	リフレッシュラウンジ (1～6階)	160席
観光学部本館棟 Faculty of Tourism Main Building	多目的スペース	テーブルセット
附属図書館 University Library	カフェ ピッタパッタ	60席

■土地・建物 Land and Buildings

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

区分 Classification		土地 Land	建物 Building
栄谷団地 Sakaedani Campus		414,588㎡	84,924㎡
本部共通棟(保健センター)	University Administration Building(Health Support Center)		2,675
設備棟	Facilities Building		800
特高受変電施設	High-Voltage Institution Specially		291
教育学部本館棟	Faculty of Education Main Building		10,814
講義棟	Classroom Building		1,351
音・美・技棟	Music, Art, Performance Building		2,080
附属教育実践総合センター棟	Center for Educational and Training Building		539
経済学部本館棟	Faculty of Economics Main Building		4,087
講義棟	Classroom Building		3,090
南棟	South Building		1,125
システム工学部A棟	Faculty of Systems Engineering A Building		13,754
B棟	B Building		8,975
総合研究棟	Integrated Research Building		4,423
観光学部本館棟	Faculty of Tourism Main Building		668
観光学部研究棟	Faculty of Tourism Research Building		1,000
観光ドーム・スタジオ棟	Faculty of Tourism Dome&Studio Building		125
基礎教育棟	General Education Building		4,699
図書館棟	University Library Building		8,389
システム情報学センター棟	Center for Information Science Building		2,235
産学連携・研究支援センター棟	Center for Joint Research and Development Building		1,150
大学会館	University Hall		2,632
ふれあい会館	Fureai Hall		574
体育館(武道場)	Gymnasium(Martial Arts Hall)		2,814
弓道場	Archery Range		188
課外活動施設Ⅰ	Extra-Curricular Activities Building (Ⅰ)		801
課外活動施設Ⅱ	Extra-Curricular Activities Building (Ⅱ)		493
課外活動施設Ⅲ	Extra-Curricular Activities Building (Ⅲ)		312
課外活動施設Ⅳ	Extra-Curricular Activities Building (Ⅳ)		99
課外活動施設Ⅴ	Extra-Curricular Activities Building (Ⅴ)		16
学生寄宿舍(男子)	Dormitories(Male)		2,208
学生寄宿舍(女子)	Dormitories(Female)		996
栄谷会館	Sakaedani Hall		436
その他	Miscellaneous Buildings		1,085
西高松団地 Nishitakamatsu Campus		5,000㎡	2,366㎡
松下会館(地域連携・生涯学習センター)	Matsushita Memorial Hall(Center for Community Cooperation and Lifelong Learning)		1,686
国際交流会館	International House		680
吹上団地 Fukiage Campus		64,696㎡	16,059㎡
附属小学校・附属中学校	Attached Primary School・Attached Junior High School		16,059
西小二里団地 Nishikoniri Campus		12,141㎡	3,793㎡
附属特別支援学校	Attached School for Special needs Education		3,793
その他 Other Buildings		1,113(371)㎡	277㎡
関戸宿舎跡地	Former Sekido Residences	1,113	—
艇庫	Boat House	(371)	277
職員宿舎 Staff's Residence		13,862㎡	7,439㎡
外国人宿舎	Foreign Instructors' Residence	555	94
海南宿舎	Kainan Residences	7,386	3,562
西高松合同宿舎	Nishitakamatsu Residences	4,432	2,636
紀伊合同宿舎	Kii Residences	1,489	1,147
合計 Sum Total		511,400(371)㎡	114,858㎡

()内は、外数で借地を示す。
() show the area of leased land.



観光学部本館棟



観光学部研究棟

8 授業料・入学料

授業料、入学料、その他の大学が徴収する費用に関すること

■検定料・入学料・授業料

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

	授業料	入学料	検定料
学部 Faculty	年額 535,800 円	282,000 円	17,000 円
大学院 Graduate Schools	年額 535,800 円	282,000 円	30,000 円

■学生寮、下宿等の費用

平成26年5月1日現在
As of May 1, 2014

○学生寮

寮費（部屋代）月額 4,300 円 ※光熱水料別途必要

○国際交流会館（留学生寮）

宿舍費：月額 9,500 円
〔賃料 5,900 円＋共益費 3,600 円（水道料含む）〕

○下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート等の標準的な間取りは洋室・キッチンでバス・トイレ・給湯シャワーは標準設備。
大学周辺の平均的な家賃は 35,000 円程度。 ※契約時に保証金等が必要

9 学生の修学及び生活支援

大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

■授業料免除

経済的な理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀な学生に対し授業料を免除することにより修学を容易にする制度です。

■平成25年度 授業料免除及び奨学金貸与実績

授業料免除者(前期・後期の延べ人数)	1,224 人
奨学金貸与者(平成26年1月時点での第一種・第二種の延べ人数)	1,927 人

■奨学金

奨学金は、以下の日本学生支援機構の奨学金、地方公共団体等の奨学金、和歌山大学家計急変奨学金に区分されます。

○日本学生支援機構の奨学金

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学資として奨学金を日本学生支援機構が貸与する制度です。奨学金には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があり、本人の申請に基づき、本学が家計や学力等の申込基準を満たしている者の中から選考の上、同機構へ推薦し、採用者が決定されます。なお、申込基準を満たしていても、予算の都合で採用されない場合があります。

このほか、家計急変等で緊急に奨学金の貸与を希望する場合にも、申請の上、奨学金の貸与が受けられる制度があります。

○地方公共団体等の奨学金

地方公共団体や各種企業団体などが扱っている育英奨学金制度です。本学に直接募集のないものもありますので、各団体、出身の都道府県等に直接、問い合わせるようにしてください。

○和歌山大学家計急変奨学金

学資負担者の失職、死亡等により家計が急変し、経済的理由により修学の継続が困難となった者でかつ他の経済的支援を受けられない者、および地震や風水害等の被害を受けたことにより、家計が急変した者等を対象に、本学が奨学金を貸与する制度です。奨学金は、一時金（無利子・貸与制で10万円、20万円、30万円の中から申請者が選択）とし、本人の申請に基づき、本学で選考のうえ、決定します。

■教育サポートシステム(LiveCampus)

大学生活において必要な情報を管理している web システムのことです。インターネットが利用できる学内・学外のコンピューターを使って、時間割の確認、履修登録・修正、成績の閲覧、休講や教室変更の確認、学生呼出しの確認、スケジュールの管理などができます。

■キャリア教育・就職支援体制

学生満足度の向上を目標に掲げる和歌山大学では、学生が希望の進路を実現できるように充実した就職サポート体制を整えております。

キャリアセンターは、全学の学生を対象にしたキャリア支援事業や、求人情報「求人 NAVI」サイト管理、学内での「合同企業説明会」の開催、インターンシップなどの計画・実施、海外からの留学生向けの就職での相談や情報提供をする本部のほか、各学部でも学生一人ひとりのニーズにあわせた相談等を行っております。（詳しくは32ページに記載）

■障がい学生支援

障がいがあるなどの理由により、修学上様々な悩みや相談ごとをかかえる学生への支援を行うため、障がい学生支援室を設置しています。

■各種支援窓口

支援分類	窓 口	対応時間 (土・日・祝日・年末年始を除く)
学生生活支援	学生なんでも相談室 (学生センター)	平日の9:00～17:15
修学相談	各学部教務係	平日の9:00～17:00
就職支援	キャリアセンター	平日の10:00～17:00
留学生支援	国際教育研究センター (IER)	平日の9:00～17:00
学生の心身の健康管理支援	保健センター	平日の9:00～17:00
ハラスメント相談窓口	各学部・事務局の担当教職員 (※詳しくは和歌山大学 HP を参照下さい)	平日の9:00～16:30
障がい学生支援	障がい学生支援室	平日の9:00～17:00

10 各種資料

■国等の採択プログラム及びプロジェクト一覧 －大学の特色ある取組など－

- 1 産業界のニーズに対応した教育改善、充実体制整備事業
「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」（平成24年度採択）
- 2 大学生の就業力育成支援事業
「学生の人生の支援と自立・自律プロジェクト」（平成22年度採択）
- 3 文部科学省戦略的大学連携支援事業
「観光を主軸とした知の拠点形成のための大学連携和歌山」（平成20年度採択）
- 4 現代的教育ニーズ取組支援プログラム
「紀ノ川流域をフィールドとする自主演習－地域のシニアアドバイザーと学生のコラボレーションによる地域の活性化－」（平成19年度採択）
- 5 大学・大学院における教員養成推進プログラム
「県教委と大学によるジョイント・カレッジ」（平成17年度採択）

■地域貢献

○公開講座 Open Lectures

平成25年度実施状況 Open Lectures (Fiscal Year 2013)

講座名 Titles	開設期間 Period	募集人員 Student Number	対象者 Audience	備考 Other
2013年度土曜講座（全12回）	通年	100	一般市民	地域連携・生涯学習センターによる実施
地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー（全2回）	2月15日、2月22日	100	一般市民	地域連携・生涯学習センターによる実施
研修員特別企画公開講座（全2回）	1月13日、1月25日	100	一般市民	地域連携・生涯学習センターによる実施
ジオカフェ（全2回）	6月8日、7月20日	30	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
デジカフェ	6月18日	30	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
宇宙バー	7月26日	30	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
平成25年度公開講座	8月25日	50	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
南紀熊野観光塾	9月6日～1月21日	30	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
南紀熊野サテライトキャンパスオープンセミナー	2月16日	100	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
わだい浪切サロン（全10回）	通年	50	一般市民	岸和田サテライトによる実施
ミドル期からのライフデザインセミナーⅡ	2月2日、2月9日	250	一般市民	岸和田サテライトによる実施
まちかど土曜楽交（全26回）	通年	25	小中学生	和歌山市、和歌山大学地域連携推進協議会主催 和歌山市、和歌山大学共催
まちかど楽交（科学教室）（全6回）	通年	20	小学生～	和歌山市、和歌山大学地域連携推進協議会主催 和歌山市、和歌山大学共催
宇宙カフェ（全11回）	通年	20	中学生～一般	和歌山市、和歌山大学地域連携推進協議会主催 和歌山市、和歌山大学共催
歴史かふえ（全5回）	通年	20	中学生～一般	和歌山市、和歌山大学地域連携推進協議会主催 和歌山市、和歌山大学共催
公開研究会「近世初期の紀州藩儒学とその特徴をめぐって」	11月23日	50	一般市民・大学生	和歌山大学紀州経済史文化史研究所主催
公開シンポジウム「絵葉書—そのメディア性と記録性—」	11月24日	50	一般市民・大学生	和歌山大学紀州経済史文化史研究所主催
缶サット甲子園和歌山大会	7月15日	制限無し	高校生	宇宙教育研究所による実施
ロケットガール&ボーイ養成講座	1月5日～3月28日	20	高校生	宇宙教育研究所による実施
加太宇宙イベント	3月26日～3月28日	制限無し	高校生～一般	宇宙教育研究所による実施
加太共同実験イベント	通年（全5回）	制限無し	大学生、一般	宇宙教育研究所による実施
コスミックカレッジ	2月15日	20	小学生、中学生	宇宙教育研究所による実施
観光カリスマ講座（全7回）	10月10日～3月6日	150	大学生、一般	和歌山大学観光学部、和歌山県主催 公益社団法人和歌山県観光連盟、和島興産株式会社後援
地域活性化システム論	11月30日	45	大学生、一般	和歌山大学観光学部による実施
英語と日本語による和歌山大学経済学部 Agribusiness事業（全3回+合宿研修）	2月14日～3月9日	制限無し	大学生、一般、 国際交流基金 研修生	和歌山大学Agribusiness推進室による実施

1. 平成25年度貸借対照表 Balance Sheet (Fiscal Year 2013)

(単位:千円)

資産 Assets	固定 Fixed	有形 Tangible	28,828,246	負債・ 純資産 Liabilities・ Equity	負債 Liabilities	固定 Fixed	5,337,583
			無形 Intangible			115,649	
		その他 Others	33,130			計 Total	7,256,440
		計 Total	28,977,025		資本 Equity	資本金 Capital Stock	27,301,279
流動 Current		現金・預金 Cash and Deposit	1,526,316			資本剰余金 Capital Surplus	△ 4,075,683
		その他 Others	65,668			利益剰余金 Earned Surplus	86,973
	計 Total	1,591,984		計 Total		23,312,570	
計 Total		30,569,010		計 Total		30,569,010	

2. 平成25年度損益計算書 Profit and Loss Statement (Fiscal Year 2013)

(単位:千円)

経常費用 Ordinary Expenses	7,238,734	経常収益 Ordinary Revenues	7,271,410
臨時損失 Extraordinary Expenses	1,885	臨時利益 Extraordinary Revenues	1,885
当期総利益 Current Gross Income	34,309	目的積立金取崩額 Reversal of Target Reserve	1,633
計 Total	7,274,928	計 Total	7,274,928

3. 平成25年度 キャッシュ・フロー計算書 Cash Flow Statement (Fiscal Year 2013)

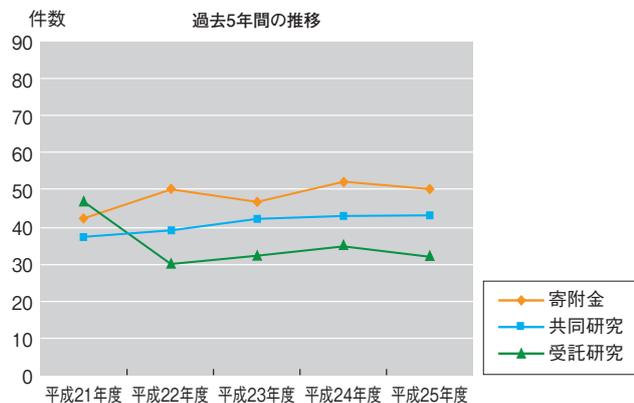
(単位:千円)

業務活動 Operating Activities	支出 Disbursement	△ 6,189,769
	収入 Receipt	6,920,009
	計 Total	730,239
投資活動 Investing Activities	支出 Disbursement	△ 1,008,047
	収入 Receipt	694,500
	計 Total	△ 313,547
財務活動 Financing Activities	支出 Disbursement	△ 110,372
	収入 Receipt	0
	計 Total	△ 110,372
資金増加額 Net Increase	306,320	
資金期首残高 Cash and Cash Equivalent at the Beginning	1,199,996	
資金期末残高 Cash and Cash Equivalent at the End	1,506,316	

注) 上記1~3表の金額の端数処理は、各項目ごとに千円未満の四捨五入を行っているため、合計額と合致しないことがあります。

4. 平成25年度 外部資金受入状況 Private Research Grants (Fiscal Year 2013)

区分 Classification	件数 Number	金額(千円) Amount(Thousand Yen)
寄附金 Scholarship	50	60,394
共同研究 Community Cooperative Research	43	31,598
受託研究 Research Funds	32	91,223
計 Total	125	183,215



■学歌・校章

University Anthem and Emblem

■学歌

University Song

岩崎真澄 作詞
片山 颯太郎 作曲

1. なみ山脈の つらなる果てに
くろしお黒潮は 岸辺を洗う
わかうど若人は 夢はるけし
希望 大学 われら
2. 綿雲の 空はさやけく
みづか自らを 治めてあゆむ
若人は 誓かたし
自由 大学 われら
3. めじ目路はるか まこと真理への道
ひたぶるに 求めてすすむ
若人は 誇たかし
理想 大学 われら

■第二学歌

University Song II

「ぼくらのWADAI CAMPUS」

宝子 作詞／作曲

キャンパスへの長い階段を 駆け上がると
いつもの仲間がいる 僕らのUNIVERSE
あふれる緑と さわやかな風に吹かれ
今日も一日 ここから始まる

僕らのWADAI CAMPUS さあ自由に描こう
君のCOLOR 僕のCOLOR 新しいページへ

青春なんて言葉は 照れくさいけど
君と笑い 学びあう 僕らのUNIVERSE
今の時代の風を抱きしめて
明日はいつも ここから始まる

僕らのORANGE FLAG さあはためかそう
君のWIND 僕のWIND
未来へと羽ばたけ

いつの時代も変わらない 夢はいつもここから始まる

僕らのWADAI CAMPUS 声高く歌おう
君のPHRASE 僕のPHRASE
明日へと

僕らのWADAI CAMPUS 声高く歌おう
君のPHRASE 僕のPHRASE
明日へと響け

■校章

University Emblem



和歌山大学校章

黒地は、紀州の象徴である黒潮を、白地はその波頭を表しています。

■シンボルマーク

Symbol Mark



和歌山大学シンボルマーク

「自然」「活気がある」「地域密着」「グローバル」の4つのキーワードをもとに、これまで使用されてきた校章と併せたコミュニケーションマークとして新たにシンボルマークを制定しました。

沿革 History

明治8年5月 (1875)	教育学部の前身となる和歌山県師範学校が設立される	平成9年4月 (1997)	特殊教育特別専攻科・発達障害教育専攻を設置
大正11年10月 (1922)	経済学部の前身となる和歌山高等商業学校が設立される		[平成19年4月特別支援教育特別専攻科に名称変更]
昭和24年5月 (1949)	国立学校設置法(昭和24年法律第150号)により、和歌山師範学校、和歌山青年師範学校、和歌山経済専門学校を包括して、学芸学部、経済学部の2学部を設置	平成10年4月 (1998)	生涯学習教育研究センターを設置
昭和26年4月 (1951)	附属小学校及び附属中学校を設置	平成11年4月 (1999)	教育学部に学校教育教員養成課程、国際文化課程、自然環境教育課程、生涯学習課程を設置(国際文化課程、自然環境教育課程、生涯学習課程は平成20年度から募集停止)
昭和29年4月 (1954)	経済学部に商業教員養成課程を設置(平成12年3月廃止) 経済短期大学部を併設(平成8年9月廃止)		大学院経済学研究科に市場環境学専攻を設置
昭和31年 (1956)	学芸学部中学(2年)課程を廃止		地域共同研究センターを設置
昭和32年4月 (1957)	経済学専攻科経理経営専攻を設置(昭和41年3月廃止)	平成12年4月 (2000)	大学院システム工学研究科修士課程システム工学専攻を設置
昭和35年 (1960)	学芸学部小学(2年)課程を廃止	平成13年4月 (2001)	学生自主創造科学センターを設置
昭和38年 (1963)	学芸学部文理課程を廃止	平成14年4月 (2002)	大学院システム工学研究科博士課程システム工学専攻を設置
昭和39年4月 (1964)	経済学部に経済学科及び経営学科(平成11年3月廃止)を設置	平成16年4月 (2004)	国立大学法人化 国際教育研究センターを設置
昭和40年4月 (1965)	学芸学部小学校教員養成課程(平成19年度3月廃止)及び 中学校教員養成課程を設置(平成17年3月廃止) 経済学部に産業工学科を設置(平成12年3月廃止)	平成17年4月 (2005)	紀南サテライト部を設置(平成19年10月サテライト部に包括)
昭和41年4月 (1966)	学芸学部を教育学部に名称変更 教育学部に特別教科(理科)教員養成課程を設置(平成元年3月廃止) 大学院経済学研究科修士課程理論経済学経済史専攻を設置(昭和45年3月廃止)	平成18年4月 (2006)	岸和田サテライトを設置(平成19年10月サテライト部に包括)
昭和42年4月 (1967)	教育学部に養護学校教員養成課程を設置(平成17年9月廃止)	平成19年4月 (2007)	経済学部に観光学科を設置(平成20年度から募集停止)
昭和43年4月 (1968)	大学院経済学研究科修士課程に経済学専攻及び経営学専攻を設置	平成19年10月 (2007)	サテライト部(紀南サテライト、岸和田サテライト)を設置
昭和45年4月 (1970)	経済学専攻科・産業工学専攻を設置(平成11年3月廃止)	平成20年4月 (2008)	観光学部(観光経営学科、地域再生学科)を設置 教育学部を改組し、学校教育教員養成課程(教育科学コース、教科教育コース、児童教育コース)と総合教育課程(文化研究プログラム、環境教育プログラム)の二課程とする
昭和51年4月 (1976)	附属養護学校を設置[平成19年4月附属特別支援学校に名称変更]	平成20年6月 (2008)	サテライト部に和歌山大学サテライトを開設
昭和60年9月 (1985)	教育学部 栄谷キャンパスに移転	平成22年4月 (2010)	防災研究教育センターを設置
昭和62年9月 (1987)	経済学部 栄谷キャンパスに移転		宇宙教育研究所を設置
平成元年4月 (1989)	教育学部に文化社会課程(平成15年3月廃止)及び生産科学課程を設置(平成15年3月廃止)	平成22年7月 (2010)	産学連携・社会連携活動を総括する運営支援組織として 地域創造支援機構を設置 地域共同研究センターを産学連携・研究支援センターに名称変更 生涯学習教育研究センターを地域連携・生涯学習センターに名称変更 紀南サテライトを南紀熊野サテライトに名称変更 和歌山大学サテライトを和歌山大学まちかどサテライトに名称変更 教育・入試・学生支援を担当する運営支援組織として 教育学生支援機構を設置
平成3年4月 (1991)	附属教育実践研究指導センターを設置 (平成13年4月附属教育実践総合センターに名称変更)	平成23年4月 (2011)	大学院観光学研究科修士課程観光学専攻を設置
平成4年10月 (1992)	経済学部に昼間主コース・夜間主コース(平成19年度から募集停止)を設置 経済学部にビジネスマネジメント学科(経営学科を改組)及び 社会システム設計学科(平成14年9月廃止)を設置	平成24年10月 (2012)	「教養の森」センターを設置
平成5年4月 (1993)	大学院教育学研究科修士課程学校教育専攻及び教科教育専攻を設置	平成26年4月 (2014)	大学院観光学研究科博士課程観光学専攻を設置 保健管理センターを保健センターに名称変更 学生自主創造科学センターを協働教育センターに名称変更
平成6年4月 (1994)	教育学部に臨時教員養成課程(1年課程)・発達障害教育教員養成課程を設置(平成9年3月廃止)		
平成7年10月 (1995)	システム工学部(情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科の5学科)を設置		
平成8年4月 (1996)	教育学部に総合科学課程を設置(平成15年3月廃止) 経済学部に市場環境学科を設置		

歴代学長 Presidents

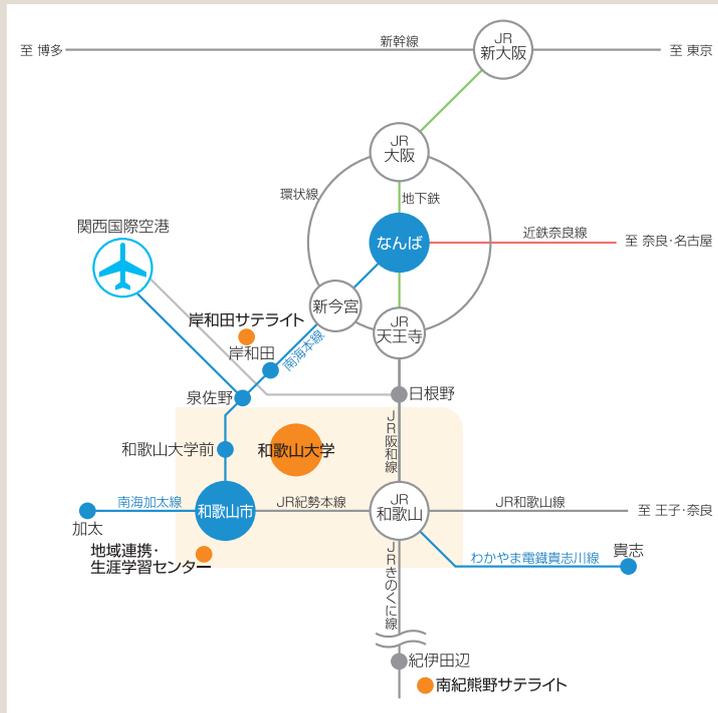
氏名 Name	就任期間 Period of Take Office	氏名 Name	就任期間 Period of Take Office	氏名 Name	就任期間 Period of Take Office
糸魚川 祐三郎 Yuzaburo Itoigawa	1949. 5.31~1955. 3.30	香山 時彦 Tokihiko Kayama	1972. 4.22~1975. 4.21	小野 朝男 Asao Ono	1987. 8. 1~1993. 7.31
岩崎 真澄 Masumi Iwasaki	1955. 3.31~1961. 3.30	角山 榮 Sakae Tsunoyama	1975. 4.22~1975. 7.31	浅野 敞 Sho Asano	1993. 8. 1~1996. 7.31
後藤 清 Kiyoshi Goto	1961. 3.31~1964. 3.30	神野 璋一郎 Shoichiro Kono	1975. 8. 1~1978. 7.31	守屋 駿二 Shunji Moriya	1996. 8. 1~2002. 7.31
齋藤 利三郎 Risaburo Saito	1964. 3.31~1969. 4.21	筒井 信定 Nobusada Tsutsui	1978. 8. 1~1981. 7.31	小田 章 Akira Oda	2002. 8. 1~2009. 7.31
廣橋 次郎 Jiro Hirohashi	1969. 4.22~1972. 4.21	池田 芳次 Yoshitsugu Ikeda	1981. 8. 1~1987. 7.31	山本 健慈 Kenji Yamamoto	2009. 8. 1~

■部局等所在地 Addresses and Telephone Numbers

名称 Name	郵便番号 Zip Code	所在地 Address	電話番号 Telephone
事務局 Administration Office	640-8510	和歌山市栄谷 930 930, Sakaedani, Wakayama City	073-457-7007
大学会館 University Hall	//	//	——
学生寮 (男子) Dormitories(Male)	//	//	——
学生寮 (女子) Dormitories(Female)	//	//	——
国際交流会館 International House	641-0051	和歌山市西高松 1 丁目 7-20 1-7-20, Nishitakamatsu, Wakayama City	——
教育学部 Faculty of Education	640-8510	和歌山市栄谷 930 930, Sakaedani, Wakayama City	073-457-7206
附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training	//	//	073-457-7537
附属農場 Laboratory Farm	//	//	073-457-7397
附属小学校 Attached Primary School	640-8137	和歌山市吹上 1 丁目 4-1 1-4-1, Fukiage, Wakayama City	073-422-6104
附属中学校 Attached Junior High School	//	//	073-425-4558
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education	641-0031	和歌山市西小二里 2 丁目 5-18 2-5-18, Nishikoniri, Wakayama City	073-444-1080
経済学部 Faculty of Economics	640-8510	和歌山市栄谷 930 930, Sakaedani, Wakayama City	073-457-7607
経済研究所 Institute of Economic Research	//	//	073-457-7633
経済計測研究所 Institute of Economics and Econometrics	//	//	073-457-7641
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	//	//	073-457-8005
観光学部 Faculty of Tourism	//	//	073-457-8547
観光教育研究センター Center for Tourism Education and Research	//	//	073-457-8553
附属図書館 University Library	//	//	073-457-7905
「教養の森」センター Center for Human Enrichment	//	//	073-457-7130
システム情報学センター Center for Information Science	//	//	073-457-7177
地域連携・生涯学習センター (松下会館) Center for Community Cooperation and Lifelong Learning (Matsushita Memorial Hall)	641-0051	和歌山市西高松 1 丁目 7-20 1-7-20, Nishitakamatsu, Wakayama City	073-427-4623
産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development	640-8510	和歌山市栄谷 930 930, Sakaedani, Wakayama City	073-457-7575
防災研究教育センター Center for Research and Education of Disaster Reduction	//	//	073-457-7558
保健センター Health Support Center	//	//	073-457-7965
紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History	//	//	073-457-7891
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching	//	//	073-457-8504
宇宙教育研究所 Institute for Education on Space	//	//	073-457-8503
国際教育研究センター Center for International Education & Research	//	//	073-457-7524
サテライト Satellite			
南紀熊野サテライト Nanki Kumano Satellite	646-0011	田辺市新庄町 3353-9 3353-9 Shinjyoucho, Tanabe City	0739-23-3977
岸和田サテライト Kishiwada Satellite	596-0014	岸和田市港緑町 1-1 1-1, Minatomidorimachi, Kishiwada City	072-433-0875

Access Map

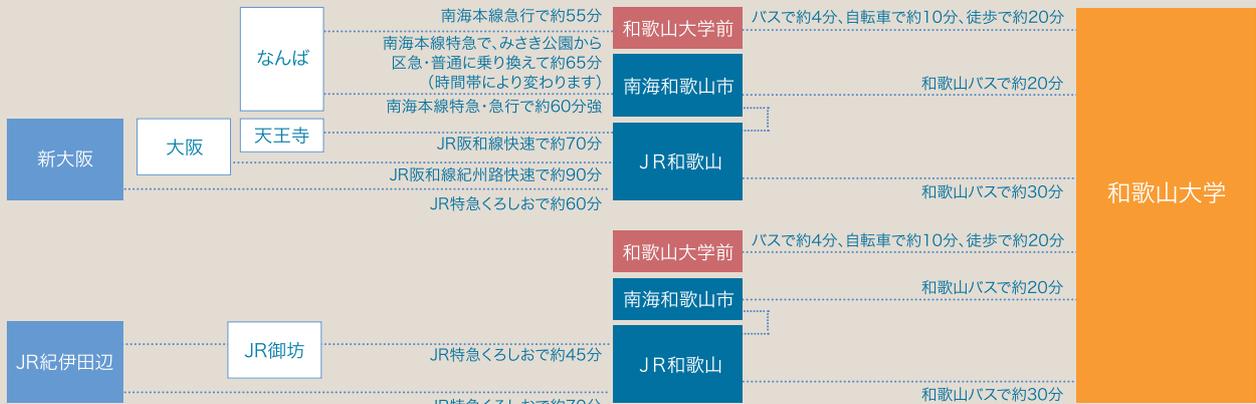
● 電車でのアクセスマップ



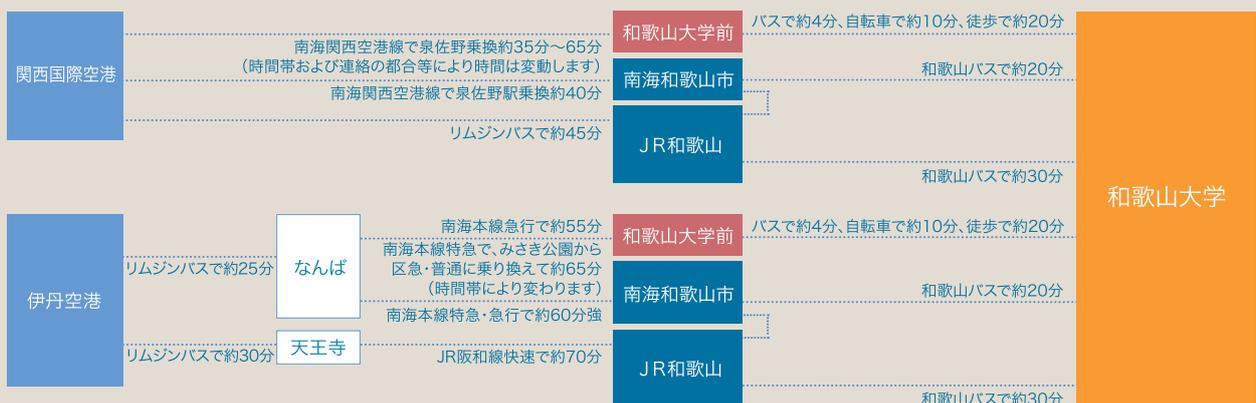
● アクセスマップ



● 電車でのアクセス



● 空港からのアクセス





和歌山大学概要

outline of wakayama univ.

■発行： 2014年8月
published : August, 2014

■編集： 和歌山大学広報室
edited by
public relations office
wakayama univ.